厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）

地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究

令和４年度 総括・分担研究報告書

令和5(2023)年3月31日

研究代表者　樽井 正義

地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト
https://www.chiiki-shien.jp/

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）

地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究 (21HB1004)

令和４年度 総括・分担研究報告書

令和5(2023)年3月31日

研究代表者　樽井 正義

もくじ

令和４年度　総括研究報告書　……　1
研究代表者：樽井 正義

(1)ＭＳＭを対象としたメンタルヘルスと性行動に関するWEB調査　……　9
研究分担者：生島 嗣

(2)ゲイコミュニティにおける性行動および
予防啓発に関する動向の把握と効果評価　……　47
研究分担者：塩野 徳史

(3)ＭＳＭを対象とした健康のための
コミュニケーション支援ツールの開発と評価　……　83
研究分担者：野坂 祐子

(4)薬物使用の問題を抱えるHIV陽性者への支援のための
精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討　……　87
研究分担者：大木 幸子

(5)ＨＩＶ陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討　……　95
研究分担者：樽井 正義

研究成果の刊行に関する一覧表　……　101

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）

地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究

（21HB1004）

令和４年度　総括研究報告書

研究代表者：樽井 正義（特定非営利活動法人ぷれいす東京 理事）

令和5（2023）年3月31日

研究代表者：**樽井 正義**（特定非営利活動法人ぷれいす東京 理事）
研究分担者：**生島 嗣**（特定非営利活動法人ぷれいす東京 代表）
大木 幸子（杏林大学保健学部看護学科 教授）
塩野 徳史（大阪青山大学健康科学部看護学科 准教授）
野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科 教授）

研究要旨

「MSM を対象としたメンタルヘルスと性行動に関する web 調査」では、ウエブによる自己回答式アンケートに、複数の GPS 機能付き出会い系アプリと SNS を通じて参加者を募集し、性行動、予防行動（コンドーム使用と検査受検）、HIV の知識と意識、メンタルヘルス、飲酒と薬物使用等について質問をした（2016 年に次ぐ 2 回目の LASH 調査）。6,701 人からの回答を単純集計し、幼少期の逆境体験やソーシャルサポートとの関連について解析を行う準備を整えた。

「ゲイコミュニティにおける性行動および予防啓発に関する動向の把握と効果評価」では、昨年度のコミュニティセンターを起点とする調査に次いで、今年度はアンケートモニター登録の成人男性から 2 段層化抽出した 94,011 人にスクリーニング調査を行い、MSM の 5,010 人を対象に本調査を実施した。昨年度は 20 ～ 30 代が回答者の 60% 弱に対して今年度は 40 ～ 50 代が 60% 強、コンドーム常用率は約 20% と 30%、検査受検経験は約 70% と 30% だった。

「MSM を対象とした健康のためのコミュニケーション支援ツールの開発と評価」では、コミュニケーションスキルの向上をはかる 4 つの動画教材と解説の冊子を作成してその評価を行った。個人使用に加えてワークショップ等での活用可能性が示唆され、支援者向けの解説の開発が課題とされた。

「薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援のための精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討」では、精神保健福祉センターの相談と回復プログラムの利用経験がある HIV 陽性の MSM にインタビュー調査を行い、利用の経緯、利用継続の理由、自身のセクシュアリティと HIV ステイタス開示の意向、回復にとっての意義等に関する概念を抽出した。これらの概念と、昨年度に相談担当者への面接調査から得られた支援の姿勢、方法、継続における配慮点との対応を検討した。

「HIV 陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討」では、薬物使用と感染症罹患とを予防する情報を提供する対象集団は、その必要性と実施可能性とを考慮して薬物事犯保護観察対象者とし、感染症、感染予防、検査の基礎情報および相談と支援の窓口情報を内容とするパンフレットを作成した。

A 研究目的

MSM の HIV 感染・薬物使用の予防と支援を目的に 5 つの研究を行う。

(1) MSM を対象としたメンタルヘルスと性行動に関する web 調査(生島嗣)

2016 年実施の LASH 調査を拡充してウェブによる質問紙調査を行い、メンタルヘルス、薬物使用、性行動等、各地域の現状を把握する基礎データを得る。10 ～ 20 代の出会い手段利用の現状を把握し、有効な情報発信のあり方を探る。また、薬物使用、コンドーム不使用の背景にある、他者依存のコミュニケーション、逆境経験等を把握する。

(2)ゲイコミュニティにおける性行動および予防啓発に関する動向の把握と効果評価(塩野徳史)

全国 6 カ所のコミュニティセンターにおける HIV 感染予防啓発活動(対面、印刷物、web 等)利用者の予防意識・行動について質問紙調査を行い、その活動の効果を、センターのない地域と比較して評価する。都市部のセンターで若年層と薬物使用者に対面による感染・薬物使用予防介入を行い、効果を評価する。

(3) MSM を対象とした健康のためのコミュニケーション支援ツールの開発と評価(野坂祐子)

MSM の HIV 感染と薬物使用を予防する上で、リスク行動を避け健康に生活するコミュニケーションスキルの向上が求められるが、とくにトラウマや逆境体験の影響により、感情の表出や調整、安定した対人関係構築が苦手な傾向をもつ若年 MSM に考慮した支援を行う必要がある。そこで、安全で健康的な関係性に必要な内容を含む、オンラインでセルフスタディが可能な支援ツールを開発し、その評価を行う。

(4)薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援のための精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討(大木幸子)

全国の精神保健福祉センター職員調査では、陽性者からの相談経験は少なく、陽性者、性的少数者への対応への抵抗感も見られたが、経験のある担当者には、異性愛者の薬物相談との共通点も多いとの見方が認められた。そこで、共通点と相違点を明らかにし、薬物使用の問題を抱える HIV 陽性者への支援にあたって、HIV 診療機関や陽性者支援組織と精神保健福祉センターとの連携モデルを検討する。

(5) HIV 陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討(樽井正義)

HIV 陽性者と薬物使用者の概数と所在を文献調査により推定し、生活上医療上の課題、薬物使用と感染(HIV、HBV、HCV)の予防に必要な情報を、当事者と支援者(拠点病院医療者、陽性者支援と依存回復支援の施設職員)への面接調査により明らかにする。情報を整理した資料を作成し、その提供方法を支援者の協力を得て検討し実施する。

B 研究方法

(1)ウェブによる自己回答式アンケート、第 2 回 LASH (Love Life and Sexual Health) 調査は、2016 年に実施した MSM 対象の調査を踏まえ、インフルエンサーからの聴取と予備調査を経て改訂した質問紙を用いて、2022 年 11 月から 2023 年 1 月に行った。参加者は、前回は GPS 機能付き出会い系アプリの一つを通じて募集したが、今回は MSM が利用する媒体の多様化に配慮し、複数のアプリおよび SNS に広告を出して、調査の説明を行うための限定公開ページに誘導し、匿名かつ自由意志による同意を得てアンケートを表示した。基礎情報の無記入、生まれた時の性別と現在の性自認が「女性」、重複回答、明らかに矛盾する回答等を除き、6,071 人からの回答をデータ解析の対象とした。

(2)コミュニティセンターによる啓発活動の評価のために、本年度はインターネットによるアンケートモニターに登録している成人男性から 2 段層化抽出法(都道府県、年齢)により 94,011 人にスクリーニング調査を行い、このうち同性と性交経験のある男性 5,459 人(5.8%)を対象として本調査を行った。質問項目は昨年度と同様、HIV や性感染症に関する知識と意識、過去 6 ヶ月間の HIV やエイズに関する対話経験、検査行動、性感染症既往歴、性行動等とした。調査期間は 2023 年 1 月。5,010 人のデータを分析

した。統計的有意差にはカイ 2 乗検定を用い、有意水準を 5%未満とした。データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 23(Windows)を用いた。

(3) MSM のコミュニケーションタイプの自覚(self-awareness)を高める自己学習ツールを開発するために、1 年目に実施した「アサーション・トレーニング」「ストレス・マネジメント講座」から抽出されたコミュニケーション上の課題に基づき、自己学習ツール動画をさらに 2 本作成し、【1】コミュニケーションのタイプ、【2】感情の理解、【3】境界線、【4】アサーションをテーマとする全 4 本のシリーズとした。本動画を教材としたオンライン講座を実施し、参加者(のべ 25 名)の反応を分析し、動画の効果や課題を明らかにした。また、コミュニティ支援者(計 12 名)を対象としたフォーカス・グループ・インタビューを実施し、現場のニーズと課題を把握した。

(4)精神保健福祉センターにおいて薬物使用に関する相談の利用と、SMARPP(薬物依存症者に対する集団認知行動療法プログラム)への参加の経験がある、4 名の HIV 陽性の MSM に個別にインタビューを実施した(対面とオンライン各 2 名)。その音声データの逐語録を質的に分析し、精神保健福祉センターにおける相談およびプログラムの利用の経緯、利用継続の理由、自身のセクシュアリティと HIV ステイタス開示の意向、回復にとっての意義等に関する概念を抽出した。これら概念と、センターにおける相談担当者に昨年度行ったインタビュー調査から抽出された支援の姿勢、方法、継続における配慮点との対応を検討した。

(5)薬物使用者と HIV 陽性者の現状を把握するために昨年度実施した文献調査と面接調査を踏まえて、薬物使用と感染症罹患とを予防する情報の提供がとくに必要とされる対象集団を特定し、情報の伝達方法を検討した。また、薬物使用に関連して注意すべき感染症とその予防策、使用に起因するさまざまな思いや問題を安心して相談できる窓口について、必要とされる情報を整理し、パンフレットを作成した。次年度には、対象集団にパンフレットを配布し、対象者とその支援者への面接調査を通じて情報提供の有効性について検証する。

(倫理面への配慮)

各研究分担者の所属機関の IRB に研究計画の審査を申請した。質問紙調査は無記名であり、回答をもって参加への同意とみなした。面接調査に際しては、説明の上同意を取得した。

C 研究結果

(1)出会い系アプリを通じた調査では、回答者の年齢は 20 ～ 30 代が 57.2%、40 ～ 50 代が 37.3%だった。性行為に関しては、過去 6 か月間、アナルセックスの経験があったのは 67.0%、そのうちでコンドームを「必ず使った」回答者は 20.5%、「全く使わなかった」は 20.7% だった。HIV 抗体検査については、受検経験がある回答者は 65.5%、うち 50.7% は過去 1 年以内に受けていた。メンタルヘルスに関しては、問題飲酒者として指導を行う目安である AUDIT-C のスコア 6 点以上の回答者が 32.7%、精神科・心療内科の受診経験がある回答者は 34.7% だった。今までにドラッグ・薬物を使った経験のある回答者は 20.1%、セックス時の使用経験はそのうちの 89.9% だった。最も使用経験の割合が高い薬物はラッシュで回答者全体の 17.4%、大麻は 5.0%、覚醒剤は 3.5% だった。18 歳までの体験に関する質問では、セクシュアリティやジェンダーに関連したいじめを受けたことがある回答者は 50.2% だが、「家族に気持ちを打ち明けることができた」のは 35.6% だった。

(2)一般住民調査では、回答者の年齢は 20 ～ 30 代が 37.2%、40 ～ 50 代が 62.7% で、全国 6 カ所のコミュニティセンターのいずれかに行ったことがある人は全体では 18.1% だった。HIV 抗体検査の受検経験がある人は 30.7%、過去 1 年間では 8.5%、受検場所は病院・クリニックが 12.1%、保健所 16.8%、郵送検査 4.6% だった。過去 6 ヵ月間に男性とセックスした人の割合は 24.4%、コンドーム使用については、彼氏や恋人等の特定の相手との間では常用している人は 35.1%、友達やセクフレなどの相手では 29.4%、その場かぎりの相手との間では 34.7% だった。PrEP については、よく知っている人は 11.5%、聞いたことがあるは 31.8%、過去 6 ヵ月間に服薬経験がある人は 3.6% だった。

(3)ウェブ上で視聴できる 4 本の動画を作成し、各動画の内容の解説や自己学習用ワークが掲載されている冊子(ダウンロード可)と視聴者向けアンケートを添付した。昨年度調査で、「他者からの依頼を断れない」「自分の意見をうまく伝えられずに相手に押し付けてしまう」といった自他の境界線にまつわる課題が多く挙げられ、トラウマや逆境も安全や尊重という「自分の大切な領域」を揺るがすものであることから、【3】(境界線)では、自他の心理的、物理的、社会的境界線の具体例を挙げ、【1】(コミュニケーションのタイプ)との関連性を示した。【4】(アサーション)では、他者を非難する「You メッセージ」ではなく、自分の考えや気持ちを相手を慮りつつ率直に伝える「I(アイ) メッセージ」を紹介し、【2】(感情の理解)、【3】との関連を示した。

(4) 精神保健福祉センターの薬物相談と回復プログラムを利用している HIV 陽性の MSM への面接調査から、①利用の動機、②利用を継続する理由、③継続のストラテジー、④回復にあたっての課題の 4 つについて、①公的機関(守秘、無料)、通報されない、専門機能への期待、ゲイネットワーク外(知り合いに会わない)であるゆえの安心、②他の利用者との課題の共通性(生きづらさ)、プログラムのなじみやすさ、個別相談の提供(伴走支援)という概念が抽出された。またゲイで HIV 陽性であることは薬物使用と密接に関連するので、③相談担当者には初回に開示したが、グループでは安心できる場合に暗示するにとどめた、④性行動と使用欲求を話すには、同じセクシュアリティのグループが求められることが指摘された。これらの概念に、昨年度に相談担当者への面接調査から得られた支援の姿勢、方法、連携、継続における配慮点は対応していることが示された。

(5) 薬物使用と感染症罹患とを予防する情報を提供する対象集団は、その必要性と可能性を考慮して、薬物事犯保護観察対象者とした。その転帰を精神保健福祉センターを通じて定期的に調査して地域資源への連携促進プログラムの構築を目指す「声の架け橋プロジェクト(Voice Bridges Project)」(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部)の協力を得て、保護観察所におけるプロジェクトへの参加者募集の際に、本研究で作成する情報パンフレットの配布を依頼した。パンフレットの内容は、HIV 感染症、B 型肝炎、C 型肝炎について、感染経路、予防法、検査機関、治療の現状、情報ウエブサイト、そして相談と支援の窓口として、NGO による相談窓口、自助グループ NA、回復支援施設ダルク、行政による相談窓口(精神保健福祉センター)、薬物使用に関わる支援情報のウエブサイトを紹介した。

D 考察

(0) MSM の HIV 感染予防を促進するためにその行動と意識の現状を知る数千人規模のウエブ質問紙調査が、2 つの分担研究において昨年度と今年度、計 3 つ実施されたが、それらは直接の目的と、したがって方法と対象集団とに異同がある。全国 6 カ所のコミュニティセンターによる予防啓発活動の評価を目的とする分担研究 2 では、昨年度はセンター利用者と設置されていない地域の MSM とを比較する調査を行った。今年度はモニター登録者から 2 段層化抽出された MSM を対象に日本の MSM 全体の概観を試みた。またメンタルヘルスに注目する分担研究 1 では、2017 年調査を踏まえ、出会い系アプリ利用者という性的にアクティブな集団を対象に調査した。結果として注目される一つは、十数年前には 50-60% 台であったコンドーム着用率の低下だが、昨年度のコミュニティセンター調査と今年度の出会い系アプリ利用者調査では 20% 台、今年度のモニター登録者の MSM 調査では 30% 台だった。低下の要因、そして 3 つの調査間の着用率の相違は検討されなくてはならないが、20% 台と 30% 台の違いは、一つには回答者の年齢によると思われる。20% 台のコミュニティセンター調査の回答者は 20 ～ 30 代と 40 ～ 50 代が 60% 弱と 40% 弱、出会い系アプリ調査ではいずれも 40% 後半であるのに対し、モニター登録者調査では 40% 弱と 60% 強と年齢が高い。年齢は HIV 抗体検査に関しても影響しているように思われる。モニター登録者調査では受検経験は 30% と低いが、他の 2 つでは 60% 台後半と高かった。

(1) HIV に関する新しい知識は、2016 年の前回調査以降 MSM の間で広がりを見せた。U=U を知って

いる人は 43.0% から 72.3% と 2 倍近く増えた。それでも「出会いの場面で相手が HIV 陽性と分かった場合、セックスをするという判断にどう影響しますか？」の質問に対して、マイナスに影響するという回答は 87.2% だった。PrEP を知っている人は 10.6% から 72.2% と 7 倍になった。「現在飲んでいる」のは HIV 陽性者以外の回答者の 7.0%、「過去に飲んだことがある」のは 3.6%、。飲んだことのない人の 61.6% は使いたいと回答している。また導入が進みつつある同性パートナーシップ制度についても質問した。回答者の 75.4% が「同性間でも結婚制度が平等に使えるようになってほしい」と「結婚以外でもいいので、同性パートナーとの関係を法律で守ってほしい」の両方あるいはいずれかを選択したが、制度を利用した経験がある回答者は 1.7% で、37.7% は自分の住む自治体における制度の有無を知らないと回答した。

(2) コミュニティセンターによる啓発活動の効果評価のために、昨年度はセンターの設置されている地域と設置されていない地域とを調査したが、今年度の調査対象はモニター登録者から抽出した。HIV 感染症に関する認識について、U=U を知っているという回答は、センターや NGO を起点とした調査では 51.0% だったが、モニター登録者では 31.8% だった。PrEP を知っているという回答は、昨年度調査では 25.9%、今年度は 11.5% だった。また、HIV 抗体検査の受検経験についても、今年度のモニター登録者でも 39,7% だったが、昨年度のセンター利用者を中心とする調査では、生涯では 68.7%、過去 1 年間でも 28.9% だった。コミュニティセンターによる予防啓発活動は地域の MSM に対して、知識の上でも行動の面でも、一定の効果を及ぼしていることが示唆されたと言えるだろう。

(3) コミュニケーションスキルの教材動画は自己学習用に作成されたが、これを用いて MSM を対象にオンラインによる「ストレス・マネジメント講座」(90 分) を計 4 回 (参加者延べ 25 名) 実施したところ、ピアによる意見や感想の共有が評価された。支援者を対象に 2 回実施したフォーカス・グループ・インタビュー (延べ 12 名) でも、個人での視聴だけでなく、ワークショップ等で話し合う資材としての活用可能性が示唆された。コミュニケーションが苦手で「言いなり (non-assertive)」のタイプの MSM には説得力が認められた。内容は MSM の課題や性的場面に特化していないので、汎用性があるというメリットとともに、焦点化されていないという限界が指摘された。

(4) 精神保健福祉センターにおける相談と回復プログラムは、利用者にとって独自の機能を果たしている。公的機関であり、伴走支援も提供される。また NA でのようなフリートークが苦手な人には、テキストを用いたプログラムは参加しやすい。地域においては多様なプログラムや場が求められていると考えられる。セクシュアリティや HIV 陽性であることは薬物使用の問題の根幹にかかわると認識されているが、そうではない人も参加する精神保健福祉センターのプログラムでは話し難い。性行為を扱う回のみセクシュアリティを分けてプログラムを実施するような、一部の施設で行われている工夫が求められる。

(5) 薬物使用者の C 型肝炎罹患経験率は一般に比してきわめて高いことが知られているが、その対策はほとんど行われていない。本研究は、感染予防情報の提供というもっとも基本的なハーム・リダクションの方策の試みである。また薬物使用者の再使用率は低くないが、Voice Bridges Project に参加した保護観察対象者の場合は抑えられており、プロジェクトには使用と感染の予防において一定の効果が認められる。その協力のもとで実施される本研究の効果は限られたものとなる。情報提供はプロジェクトに参加しない保護観察対象者にも行われる。

E 結論

MSM、HIV 陽性者、薬物使用者を対象に、HIV 感染と薬物使用の予防策と支援策を策定し実施することを目的とする本研究は、対象者の現状を把握する 2 つの分担研究と支援策を検討する 3 つの分担研究から構成される。

(1) LASH 調査では、日本の MSM のメンタルヘルスや性行動に関する多様な情報を収集した。本年度は単純集計の結果をまとめた。今後は回答者のメンタ

ルヘルスや性行動と、幼少期の逆境体験やソーシャルサポートとの関連を解析していく。

(2)昨年度のコミュニティセンターのある地域とない地域の調査に続き、本年度はモニター登録者からの２段層化抽出法により、MSM の意識と行動を把握した。コンドーム使用率の低下等の問題が確認されるとともに、コミュニティセンターによる啓発活動の効果と課題を検討する資料が得られた。

(3) MSM のコミュニケーションスキルの向上をはかる 4 つの動画教材と解説の冊子を作成してその評価を行った。個人使用に加えてワークショップ等での活用可能性が示唆され、支援者向けの解説の開発が課題とされた。

(4)精神保健福祉センターでの薬物相談と回復プログラムを利用した経験のある HIV 陽性の MSM へのインタビュー調査をとおして、相談とプログラムの意義と課題を抽出し、相談担当職員による支援と準備性との関連を検討した。

(5)薬物使用と感染症罹患とを予防する情報の提供が求められる対象集団を、その必要性と実施可能性とを考慮して薬物事犯保護観察対象者と定め、感染症、感染予防、検査の基礎情報および相談と支援の窓口情報を内容とするパンフレットを作成した。

F 健康危険情報

なし

G 研究発表

研究代表者

樽井正義

1. 論文発表

1)樽井正義. HIV/AIDS から COVID-19 へ ― パンデミックと生命倫理. 生命倫理. 31-1:3, 2021.
2)○ Koto, G., Tarui, M., Kamioka, H., Hayashi, K.: Drug use, regulations and policy in Japan. Japan Advocacy Network for Drug Policy. April 2020. http://fileserver.idpc.net/library/Drug_use_regulations_policy_Japan.pdf
1)生島嗣 . HIV の新たな予防方法 PrEP の登場と様々な動き . 季刊セクシュアリティ . 107: 96-103, 2022.

2. 学会発表

1)○ Hayashi,K,, Wakabayashi, C., Ikushima, Y., Tarui, M.. Characterizing changes in drug use behaviour following bans of 5-MeO-DIPT, anyl nitrite and new psychoactive substances among men living with HIV in Japan, 日本エイズ学会、2021 年.
2)○樽井正義、生島嗣、徐淑子、山本大 . ダルクにおける性的少数者および HIV 陽性者への薬物依存回復支援の現状 . 日本エイズ学会、2020 年 .

研究分担者

生島嗣

1. 論文・著書

1)生島嗣 . HIV の新たな予防方法 PrEP の登場と様々な動き . 季刊セクシュアリティ . 107: 96-103, 2022.

2. 学会発表

1)○生島嗣、三輪岳史、大槻知子、山口正純、大木幸子、若林チヒロ、樽井正義 . HIV 検査と告知時期に関する考察－「HIV 陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果から－ . 日本エイズ学会、2020 年 .
2)○生島嗣、三輪岳史、大槻知子、山口正純、大木幸子、若林チヒロ、樽井正義 . HIV 陽性と就労に関する考察－「HIV 陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果から－ . 日本エイズ学会、2020 年 .
3)○生島嗣 . 地域における HIV 検査－「HIV 陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果から . 日本公衆衛生学会総会、2020 年 .
4) Ikushima, Y. Patterns of PrEP use among men who have sex with men in Japan. Asia Pacific AIDS & Co-infections Conference (APACC) 2020, October 15-17, 2020.
5) ○ Miwa, T., Yamaguchi, M., Ohtsuki, T., Wakabayashi, C., Nosaka, S., Ikushima, Y., and Tarui, M. Associations of recreational drug use with HIV-related sexual risk behaviours among men who have sex with men in Japan: results from the cross-sectional LASH study. The 23rd

International AIDS Conference. July 6-10, 2020, Oakland, U.S.A.

塩野徳史

1 論文発表

1)宮田りりぃ , ○塩野徳史 , 金子代 .MSM(Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察 - ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から . 日本エイズ学会誌 . 23(1) : 18-25, 2021

2)金子典代 , ○塩野徳史 : コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌 , 23(2), 78-86, 2021

3)金子典代 , ○塩野徳史 . MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義 . 日本エイズ学会誌 , 22(3): 136-146, 2021.

2 学会発表

1)○塩野徳史 . 日本のセクシュアルヘルスと予防啓発 - 社会が担う役割 -. 日本エイズ学会 2022 年 浜松

2)○塩野徳史 . コミュニティにおけるコンドーム使用行動と PrEP 利用 . 日本エイズ学会 2022 年 浜松

3)○塩野徳史. コミュニティと予防介入の新たな戦略. 日本エイズ学会 2021 年 東京

4)○塩野徳史 . HIV 予防とヘルスリテラシー. 日本エイズ学会 2020 年 千葉

野坂祐子

1 論文発表

1)野坂祐子. 司法矯正領域におけるトラウマインフォームドケア : 対象者・支援者・組織の再トラウマを防ぐアプローチ, 刑政, Vo.132, No.11, pp.12-25. 2021

2)野坂祐子. デート DV とは何か : 被害者・加害者への介入, 保健の科学, Vol.64, 90-94. 杏林書院. 2022

3)野坂祐子. トラウマインフォームドケア ～当事者と支援者の安全を高めるアプローチ～, 心と社会 , Vol.53, No.1, 40-45. 日本精神衛生会. 2022

H 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

（1）MSM を対象としたメンタルヘルスと性行動に関する WEB 調査

■ 研究分担者：**生島 嗣**（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
■ 研究協力者：**樽井 正義**（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
三輪 岳史（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
山口 正純（博慈会長寿リハビリセンター病院）
大槻 知子（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
野坂 祐子（大阪大学）
若林 チヒロ（埼玉県立大学）

研究要旨

日本の MSM（男性とセックスを行う男性 /Men who have Sex with Men）は一般集団と比較して薬物使用の割合が高く、また薬物使用は HIV 感染リスクの高い性行動との関連が示唆されている。本研究では、MSM のメンタルヘルスと性行動に関するウェブアンケート調査を実施した。回答を開始した 6,179 人のうち、矛盾回答者等を除外した 6,071 名を解析対象とした。回答者の年齢の中央値は 36 歳（IQR：29-46）で、95.6%（5803/6071）の性自認が男性、76.7%（4658/6071）が自らのセクシュアリティをゲイと回答していた。過去 6 か月間にアナルセックスの経験があると回答した回答者は 67.0%（3751/5599）で、そのうちコンドームを「必ず使った」回答者は 20.5%（759/3708）であった。メンタルヘルスに関しては、問題飲酒者として減酒指導を行う際の目安である AUDIT-C が 6 点以上の回答者が 32.7%（1583/4835）おり、精神科・心療内科を受診した経験がある回答者は 34.7%（1669/4816）であった。ドラッグ・薬物を使った経験のある回答者は 20.1%（963/4801）で、そのうちセックスの時にドラッグ・薬物を使った経験のある回答者は 89.9%（827/920）であった。薬物乱用の重症度を測定する DAST-20 のスコアは、薬物使用経験のある有効回答者の 7.2%（60/834）が 6 点以上（中度～重度）であった。また、幼少期にセクシュアリティやジェンダーに関連したいじめを受けたことがある回答者は 50.2%（2342/4662）いた。今後はデータの精査を進めつつ、クロス集計や回帰分析等を実施し、MSM コミュニティのメンタルヘルスや性行動と、幼少期の逆境体験やソーシャルサポートとの関連を主に分析していく。

A 研究目的

日本の MSM（男性とセックスを行う男性 /Men who have Sex with Men）の間では、薬物使用が重要な関心事となっている。欧米諸国の研究では、MSM は一般集団と比べて薬物使用の割合が高いことが示されている（Hunter et al. 2014; Heiligenberg et al. 2012）。2016 年に実施された日本在住の MSM の薬物使用や性生活等に関する自己回答式インターネット調査（LASH: Love Life and Sexual Health）では、11.3% の回答者が過去 6 か月間に何らかの薬物を使用しており、彼らはそうでない回答者と比べて HIV 感染リスクの高い性行動を取る傾向が示唆された（生島ら、2017）。また、薬物使用に関する相談相手となりうるのは友人やパートナーであることが HIV 陽性者を対象にした調査から示されている（若林、2014）。そこで本研究では、薬物使用やコンドーム不使用の背景にある対人コミュニケーションのあり方、幼少期の逆境体験、相談行動等を把握するため、MSM のメンタルヘルスと性行動に関するオンライン

アンケート調査を実施した。

B 研究方法

まず、2016 年実施の LASH 調査の結果を基に 2021 年に行った MSM のインフルエンサーの聞き取り等を通し、新たな質問紙を設計した。その後、質問の妥当性・実現可能性を考査するために、薬物使用経験者含めた当事者を対象とした対面聞き取り調査を予備調査として実施した。予備調査から得られた意見をもとに質問紙に修正を加えた。その最終版の質問紙を用い、メンタルヘルスや性行動に関する自己回答式ウェブ アンケート調査「第 2 回 LASH（Love Life and Sexual Health）」を 2022 年 11 月 21 日～2023 年 1 月 5 日に 実施した。アンケートは、N 社が運営する国内最大の GPS 機能付きの出会い系アプリの起動時にランダムに表示される国内限定バナー広告を有償で出稿し、調査の説明を行うための限定公開ページに誘導した。ページ上で匿名かつ自由意志による回答で、いつでも回答が止められることについて説明を行い、同意を得た者にアンケートを表示した。また、回答者をより広くリクルートするため、他の出会い系アプリ（AMBIRD）や SNS 上の媒体（Palettalk 等）にも広告を掲載した。更に、「アンロミー！」と「new-TOKYO」のウェブ記事でも本アンケート調査について紹介してもらった。調査実施に関しては、特定非営利活動法人ぷれいす東京倫理委員会にて審査を受け、承認された。

回答を開始した 6,179 人のうち、基礎情報無記入者、IP アドレスにより発覚した重複回答者、生まれた時の性別と現在の性自認が「女性」の回答者、矛盾回答者等 108 名を除外した。重複回答者については、回答した質問の多い一方のデータを残し、どちらのデータも回答量が同じ場合、最初に回答した一方のデータを残した。矛盾回答者に該当する者は、「実年齢」が「はじめて男性のパートナーができた年齢」より低い等、明らかに誤った回答をした者であり、データの信頼性に欠けるために該当する回答者のデータを全て解析から削除した。データクリーニング後の 6,071 人をデータ解析の対象とした。尚、Q43「直近の HIV 検査の結果はどうでしたか？」の質問に「陽性（感染していた）」と回答した 429 名は、その後の PrEP（HIV 曝露前予防）と PEP（HIV 曝露後予防）の使用意向質問の回答を非該当に修正している。また、無回答も許容しているため、質問によって母数が異なる。

C 研究結果

解析対象 6071 名の単純集計結果を別紙に示す。回答者の属性としては、95.6%（5803/6071）の性自認が男性で、76.7%（4658/6071）が自らのセクシュアリティをゲイと回答していた。回答者の年齢の中央値は 36 歳（IQR：29-46）で、57.2%（3471/6071）が 20 ～ 30 代であった。97.5%（5919/6071）が日本国籍で、外国籍の回答者は多い順に中国、韓国、台湾と続いた。11.6%（699/6048）の回答者が異性との結婚経験があり、国内の自治体による同性パートナーシップ制度を利用した経験がある回答者は 1.7%（97/5830）であった。また、現在住んでいる自治体には同性パートナーシップ制度があるか知らない回答者は 37.7%（2286/6071）であった。パートナーシップに関する考えとしては、有効回答者の 75.4%(4564/6057) が、「同性間でも結婚制度が平等に使えるようになってほしい」と「結婚以外でもいいので、同性パートナーとの関係を法律で守ってほしい」の両方あるいはいずれかを選択していた。

性行為に関しては、男性で初めてセックスをした年齢の中央値が 19 歳（IQR：17-23）、はじめてゲイ・バイセクシュアルの友達ができた年齢の中央値が 20 歳（IQR：18-25）、はじめて男性のパートナーが出来た年齢の中央値が 22 歳（IQR：19-27）であった（いずれも該当の相手がいない回答者は除く）。過去 6 か月間の男性のセックス相手の人数の平均値は 6.97 人（SD ± 14.04）、中央値は 3 人（IQR：1-7）であった。過去 6 か月間に、「その場限りの相手」がいた回答者は 71.0%（3977/5600）で、一番直近の「その場限りの相手」と連絡先を交換した回答者は 42.6%（2389/5604）であった。過去 6 か月間、80.5%（4500/5593）がコンドームを使わないフェラチオをした経験（なめる側）があり、67.0%（3751/5599）がアナルセックスの経験があった。過去 6 か月間にアナルセックス経験がある回答者のうち、コンドームを「必ず使った」回答者は 20.5%（759/3708）であった。

HIV 抗体検査については、生涯で検査経験がある

回答者が 65.5%（3614/5514）で、そのうち 50.7%（1818/3583）は過去 1 年以内に検査を受けていた。検査経験のある回答者のうち、「陽性（感染していた）」と回答したのは 12.0%（429/3581）で、そのうち 53.4%（217/406）は 2010 ～ 2019 年の間に感染の診断を受けていた。また、「出会いの場面で相手が HIV 陽性と分かった場合、セックスをするという判断にどう影響しますか？」の質問に対して、「とてもマイナスに影響する」或いは「少しマイナスに影響する」と答えた回答者は 87.2%（4575/5249）であった。一方、「セックスの相手が HIV に感染している場合でも、感染に気づき治療を継続している場合には、感染の可能性は非常に低くなる」という質問に対しては、72.3%（3784/5232）が○を選択し、正解していた。

PrEP については、知っている回答者が 72.2%（3721/5156）であった。HIV 陽性者以外の回答者（PrEP を知らない非該当者含む）の 7.0% が「現在飲んでいる」、3.6% が「過去に飲んだことがある」と回答していた。PrEP を飲んだことがない回答者（HIV 陽性者除く）の 61.6%（2528/4106）が PrEP を「とても使いたい」或いは「まあ使いたい」と回答しており、また、56.7% は PrEP 使用によりコンドーム使用は変わらないと思うと回答していた。一方、実際に PrEP 使用経験のある回答者の 53.8%（273/507）は PrEP 使用によりコンドームをより使わなくなったと回答していた。尚、PEP を知っている回答者は 44.0%（2173/4938）であった。

メンタルヘルスに関しては、問題飲酒のスクリーニングとして用いられる AUDIT-C のスコアが、問題飲酒者として減酒指導を行う際の目安である 6 点以上の回答者が 32.7%（1583/4835）であった。精神科・心療内科を受診した経験がある回答者は 34.7%（1669/4816）で、そのうちセクシュアリティを医師に伝えた経験があるのは 29.7%（494/1666）であった。過去 6 か月間に、市販薬・処方薬を治療目的以外や決められた量を超えて使用した経験のある回答者は、市販薬（鎮咳薬、風邪薬、鎮痛薬、鎮静薬・睡眠改善薬）に関しては 12.1%（581/4814）、処方薬（睡眠薬、抗不安薬、抗うつ薬、抗精神病薬、鎮痛薬）に関しては 7.3%（351/4805）であった。

今までにドラッグ・薬物を使った経験のある回答者は 20.1%（963/4801）で、今までにセックスの時にドラッグ・薬物を使った経験のある回答者はそのうちの 89.9%（827/920）であった（有効回答者全体では 17.4%（827/4758））。最も使用経験の割合が高かった薬物はラッシュ（有効回答者全体の 17.4%（827/4745））、次いで 5MeO − DIPT（有効回答者全体の 7.5%（354/4722））、脱法ドラッグ（有効回答者全体の 6.6%（309/4717））であった。尚、大麻の生涯使用経験の割合は 5.0%（238/4720）で、覚醒剤に関しては 3.5%（165/4721）であった。初めてドラッグや薬物を使用した時の年齢の中央値は 24 歳（IQR：20-28）で、使用した場所は「セフレの家」が 22.9%（209/912）で最も多く、次いでハッテン場（19.3%（176/912））、ホテル（16.2%（148/912））であった。初めてドラッグや薬物を使用したときの状況としては、「相手に誘われて」が 69.9%（641/917）で最も多かった。薬物乱用の重症度を測定する自己記入式尺度である DAST-20 のスコアは、薬物使用経験のある有効回答者の 59.1%（493/834）が 1-5 点（軽度）で、6 点以上（中度～重度）は 7.2%（60/834）であった。

18 歳までの体験に関する質問では、「ホモ、オカマ、おとこ女など、自分のセクシュアリティやジェンダーに関連したいじめを受けたことがある」に「はい」と回答した回答者は 50.2%（2342/4662）であった。一方、「家族に気持ちを打ち明けることができた」という質問に「はい」と回答した回答者の割合は 35.6%（1652/4644）であった。

D 考察

回答者の背景は第 1 回 LASH 調査と大きな違いはなかった。2023 年 1 月 10 日時点で日本の人口の 65.2% はパートナーシップ制度のある自治体に住んでいるが（渋谷区・認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ、2023）、国内の自治体による同性パートナーシップ制度を利用した経験がある回答者は 2% 以下であった。そもそも住んでいる自治体に制度があるか否か知らない回答者の割合も 4 割近くおり、制度の周知は課題と思われる。回答者の 7 割以上は、同性婚或いは類似の制度で同性間の関係を法律で守って欲しいという希望を示していたが、「同性パートナー関係を秘密にしておきたい」を選択した回答者が 25.4%（1539/6057）、「社会的に同性パートナー関係が

承認される必要はない」を選択した回答者も6.7%(407/6057)いた。今後、同性婚やパートナーシップ制度への関心と関連する要因の分析も検討する。

ゲイ・バイセクシュアルの相手との出会いに関する質問では、平均値と中央値がともに「初めてのセックス相手」、「初めての友達」、「初めてのパートナー」の順番となっており、第1回LASH調査と同様の結果となった。過去6か月間の男性のセックス相手の人数については、平均値が中央値よりも3以上高く、極端に人数が多い複数の回答者が平均値を引き上げている傾向が示された。また、過去6か月間にアナルセックス経験がある回答者のうち、コンドームの常用使用割合(必ず使った)は約2割で、先行研究と比較して低い値を示した。Hillら(2018)の研究によると、男性とアナルセックス経験がある回答者のうち、コンドームを「必ず使った」と回答した回答者の割合は、特定のパートナーで31.5%、カジュアルなパートナーで45.8%であった。今後、コンドーム使用・不使用に係る背景要因を分析する。

HIVに関しては、U=Uの知識(セックスの相手がHIVに感染している場合でも、感染に気づき治療を継続している場合には、感染の可能性は非常に低くなる)が浸透しているにも関わらず、相手がHIV陽性であることがセックスをするという判断にマイナスに影響する傾向が高かった。知識を深めることとスティグマの軽減が必ずしも一致しない傾向について、今後さらなる検討が求められる。尚、PrEPの認知度は第1回LASH調査の10.6%(HIV陽性者除く)と比較して大幅に増加していた。

AUDIT-C(3問構成)のスコアについては、日本人男性は6点以上がAUDIT(10問構成)での8点以上に相当し(尾崎ら、2012)、日本人成人男性の21.4%が該当するという調査結果がある(尾崎ら、n.d.)。本調査では32.7%の回答者がAUDIT6点以上であり、一般集団と比較して問題飲酒者の割合が高い可能性が示唆される。また、過去6か月間に市販薬や処方薬を乱用していた回答者も一定数いた。ドラッグ・薬物については、殆どの使用経験者はセックス目的で使用(Chemsex)している傾向が見られ、DAST-20のスコアについては、集中治療が必要とされている相当程度・重度(嶋根ら、2015)の回答者が一定数いた。今後、アルコール、市販薬・処方薬、違法薬物等、物質使用障害に関する回答者の背景を引き続き精査していく。

E 結論

本アンケート調査では、日本のMSMのメンタルヘルスや性行動に関する多様な情報を収集した。本年度は単純集計の結果のまとめだが、今後は回答者のメンタルヘルスや性行動と、幼少期の逆境体験やソーシャルサポートとの関連を解析していく。

＜参考文献＞

1. 生島嗣、樽井正義、野坂祐子、山口正純、林神奈、三輪岳史、大槻知子、大島岳、井上洋士、仲倉高広、藤田彩子、若林チヒロ. 2017. MSMの薬物使用・不使用に関わる要因の調査～男性とセックスをする男性向けの出会い系アプリ利用者の意識や行動に関する調査～. 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 平成29年度総括・分担研究報告書. 地域においてHIV陽性者等のメンタルヘルスを支援する研究, 9-64.

2. 尾崎米厚. 2012. 問題飲酒の簡易スクリーニング方法の開発に関する研究 飲酒関連問題を発生させないような、節度ある適度な飲酒量の検討. 我が国における飲酒の実態把握およびアルコールに関する生活習慣病とその対策に関する総合的研究平成24年度総括研究報告書(研究代表者樋口進). 平成24年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業.

3. 尾崎米厚、金城文. n.d. アルコール依存症の実態把握、地域連携による早期介入・回復プログラム開発に関する研究(研究代表者樋口進) 2016-2018. AMED (国立研究開発法人日本医療研究開発機構). https://www.ncasa-japan.jp/pdf/document31.pdf

4. 渋谷区・認定NPO法人虹色ダイバーシティ. 2023. 全国パートナーシップ制度共同調査. https://nijibridge.jp/

5. 嶋根卓也、今村顕史、池田和子、山本政弘、辻麻理子、長与由紀子、大久保猛、太田実男、神田博之、岡崎重人、大江昌夫、松本俊彦. 2015. DAST-20 日本語版の信頼性・妥当性の検討. 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 50(6): 310-324.

6. 若林チヒロ、生島嗣、大槻知子 . 2014. 身近な人から薬物使用について相談されたら . 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業 地域においてHIV 陽性者等のメンタルヘルスを支援する研究 , 1-4.
7. Heiligenberg, M., Wermeling, P.R., van Rooijen, M.S., Urbanus, A.T., Speksnijder, A.G., Heijman, T., Prins, M., Coutinho, R.A. and van der Loeff, M.F.S. 2012. Recreational drug use during sex and sexually transmitted infections among clients of a city sexually transmitted infections clinic in Amsterdam, the Netherlands. Sexually Transmitted Diseases, 39(7): 518-527.
8. Hill AO, Bavinton BR, Armstrong G. 2018. Prevalence and factors associated with inconsistent condom use among men who have sex with men (MSM) who use mobile geo-social networking applications in Greater Tokyo. International Journal of Environmental Research and Public Health, 15(12): 2815.
9. Hunter, L.J., Dargan, P.I., Benzie, A., White, J.A. and Wood, D.M., 2014. Recreational drug use in men who have sex with men (MSM) attending UK sexual health services is significantly higher than in non-MSM. Postgraduate Medical Journal, 90(1061): 133-138.

F 研究発表

なし

G 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1．特許取得

なし

2．実用新案登録

なし

3．その他

なし

単純集計結果

結果の読み取りに関して

・基本属性に関する質問以外は無回答を許容しているため、割合の算出に用いた分母(「小計」或いは「全体」)は質問によって異なる。

・複数回答の質問(1 つの質問に対して 2 つ以上の選択肢を選ぶ質問形式)の場合、回答した人の人数を「全体」で示し、それぞれの選択肢に回答した人数の「全体」に対する割合を「%」で示している。そのため、合計すると 100.0% を超える場合がある。

1．どちらのサイトからこのアンケートページにアクセスしましたか？

	n	%
AMBIRD	281	4.6%
9monsters	5273	86.9%
Twitter	269	4.4%
Instagram	104	1.7%
アンロミー！	5	0.1%
その他	139	2.3%
合計	6071	100.0%

「アンロミー！」の選択肢は集計後に「その他」から抽出し、追加した。

2．あなたの性別(生まれた時の性別)は何ですか？

	n	%
男性	6035	99.4%
女性	33	0.5%
その他	3	0.0%
合計	6071	100.0%

3．次のうち、あなたの性別を表す表現として最も近いのはどれですか？

	n	%
男性	5803	95.6%
女性	5	0.1%
女性として生まれたが男性(FtM/ トランス男性)	13	0.2%
男性として生まれたが女性(MtF/ トランス女性)	36	0.6%
決めたくない(FtX/MtX)	99	1.6%
わからない	97	1.6%
その他	18	0.3%
合計	6071	100.0%

4．あなたのセクシュアリティは次のうちどれに近いですか？

	n	%
ゲイ	4658	76.7%
バイセクシュアル	1161	19.1%
レズビアン	3	0.0%
ヘテロセクシュアル(異性愛者)	21	0.3%
決めたくない	81	1.3%
わからない	107	1.8%
その他	40	0.7%
合計	6071	100.0%

5．現在のあなたのセックスの興味の対象は、次のどれが一番近いですか？

	n	%
男性だけ	4961	81.7%
男性がメインだが女性も	811	13.4%
女性がメインだが男性も	105	1.7%
男性と女性と同じくらい	162	2.7%
誰にも性的な興味はない	32	0.5%
合計	6071	100.0%

6．現在の年齢を教えてください。

平均値	37.37
標準偏差	11.20
中央値	36（IQR:29-46）

	n	%
15 歳未満	2	0.0%
15 ～ 19 歳	150	2.5%
20 ～ 24 歳	602	9.9%
25 ～ 29 歳	974	16.0%
30 ～ 34 歳	1005	16.6%
35 ～ 39 歳	890	14.7%
40 ～ 44 歳	751	12.4%
45 ～ 49 歳	702	11.6%
50 ～ 54 歳	543	8.9%
55 ～ 59 歳	265	4.4%
60 ～ 64 歳	119	2.0%
65 ～ 69 歳	50	0.8%
70 ～ 74 歳	14	0.2%
75 ～ 79 歳	3	0.0%
80 歳以上	1	0.0%
合計	6071	100.0%

7．お住まいの場所を教えてください。

	n	%
北海道・東北ブロック		
北海道	237	3.9%
青森県	33	0.5%
岩手県	46	0.8%
宮城県	115	1.9%
秋田県	24	0.4%
山形県	33	0.5%
福島県	45	0.7%
関東・甲信越ブロック		
茨城県	102	1.7%
栃木県	74	1.2%
群馬県	56	0.9%
埼玉県	286	4.7%
千葉県	296	4.9%
東京都	1521	25.1%
神奈川県	491	8.1%
新潟県	51	0.8%
山梨県	31	0.5%
長野県	65	1.1%
北陸ブロック		
富山県	28	0.5%
石川県	34	0.6%
福井県	17	0.3%
東海ブロック		
岐阜県	69	1.1%
静岡県	136	2.2%
愛知県	321	5.3%
三重県	49	0.8%
近畿ブロック		
滋賀県	57	0.9%
京都府	123	2.0%
大阪府	532	8.8%
兵庫県	195	3.2%
奈良県	30	0.5%
和歌山県	22	0.4%
中国・四国ブロック		
鳥取県	11	0.2%
島根県	17	0.3%
岡山県	63	1.0%
広島県	99	1.6%
山口県	30	0.5%
徳島県	20	0.3%
香川県	28	0.5%
愛媛県	34	0.6%
高知県	18	0.3%
九州・沖縄ブロック		
福岡県	237	3.9%
佐賀県	25	0.4%
長崎県	45	0.7%
熊本県	44	0.7%
大分県	30	0.5%
宮崎県	30	0.5%
鹿児島県	59	1.0%
沖縄県	104	1.7%
海外	58	1.0%
合計	6071	100.0%

8．あなたの国籍を教えてください。

	n	%
日本	5919	97.5%
台湾	24	0.4%
香港	4	0.1%
中国	43	0.7%
韓国	29	0.5%
北朝鮮	2	0.0%
フィリピン	8	0.1%
タイ	5	0.1%
マレーシア	2	0.0%
ベトナム	2	0.0%
インドネシア	3	0.0%
カンボジア	0	0.0%
ミャンマー	1	0.0%
モンゴル	0	0.0%
ネパール	0	0.0%
インド	0	0.0%
スリランカ	1	0.0%
パキスタン	0	0.0%
バングラデシュ	0	0.0%
英国	3	0.0%
フランス	4	0.1%
米国	7	0.1%
カナダ	0	0.0%
オーストラリア	2	0.0%
ブラジル	5	0.1%
ペルー	1	0.0%
その他	6	0.1%
合計	6071	100.0%

「マレーシア」の選択肢は集計後に「その他」から抽出し、追加した。

9．あなたの最終学歴を教えてください。

	n	%
大学院修了	623	10.3%
大学院中退	54	0.9%
大学院在学中	64	1.1%
大学卒業	2648	43.6%
大学中退	226	3.7%
大学在学中	269	4.4%
高専・短期大学卒業	205	3.4%
高専・短期大学中退	14	0.2%
高専・短期大学在学中	13	0.2%
専門学校卒業	735	12.1%
専門学校中退	68	1.1%
専門学校在学中	32	0.5%
高等学校卒業	898	14.8%
高等学校中退	96	1.6%
高等学校在学中	45	0.7%
中学校卒業	70	1.2%
中学校中退	4	0.1%
中学校在学中	3	0.0%
その他	4	0.1%
合計	6071	100.0%

10．先月末の 1 週間に、収入をともなう就労をしましたか（自営の手伝いや内職を含む）？

	n	%
主に就労	5227	86.1%
家事などのかたわら就労	71	1.2%
通学のかたわら就労	276	4.5%
休んでいたか、休職中	194	3.2%
就労していない（通学のみ含む）	303	5.0%
合計	6071	100.0%

11. 昨年 1 年間の、あなたのすべての仕事からの収入(税込)はどのくらいでしたか？

	n	%
なし(0 円)	200	3.3%
100 万円未満	445	7.3%
100 万円以上～ 200 万円未満	454	7.5%
200 万円以上～ 300 万円未満	836	13.8%
300 万円以上～ 400 万円未満	1032	17.0%
400 万円以上～ 500 万円未満	915	15.1%
500 万円以上～ 700 万円未満	1090	18.0%
700 万円以上～ 1000 万円未満	568	9.4%
1000 万円以上～ 1500 万円未満	255	4.2%
1500 万円以上	104	1.7%
答えたくない	172	2.8%
合計	6071	100.0%

12. あなたの雇用形態はどれですか？

	n	%
自営業(個人 / 家族経営)	461	7.6%
事業主(従業員を雇用)	108	1.8%
家族従業員	18	0.3%
公務員(常勤)	553	9.1%
企業・団体の役員	113	1.9%
企業・団体の正社員	3196	52.6%
契約社員	343	5.6%
嘱託職員	51	0.8%
パート・アルバイト	709	11.7%
派遣社員	144	2.4%
内職	10	0.2%
その他	47	0.8%
現在就労していない	318	5.2%
合計	6071	100.0%

13. あなたの職種はなんですか？

	n	%
専門・技術職	1955	32.2%
管理職	505	8.3%
事務職	813	13.4%
販売職	434	7.1%
サービス職	1228	20.2%
保安職	37	0.6%
農林漁業	37	0.6%
生産工程	159	2.6%
輸送・機械運転	98	1.6%
建設・採掘	70	1.2%
運搬・清掃・包装等	85	1.4%
その他	281	4.6%
現在就労していない	369	6.1%
合計	6071	100.0%

14. 勤務先(会社や団体全体、自営業)の業種は何ですか？

	n	%
農林水産	72	1.2%
建設	189	3.1%
製造	619	10.2%
電気・ガス・水道	73	1.2%
情報通信	466	7.7%
運輸・郵便	254	4.2%
卸売・小売	610	10.0%
金融・保険	148	2.4%
不動産・物品賃貸	93	1.5%
宿泊・飲食	389	6.4%
医療・福祉	883	14.5%
生活サービス・娯楽	350	5.8%
学術研究・専門・技術	164	2.7%
教育・学習支援	514	8.5%
その他サービス	495	8.2%
公務	227	3.7%
その他	150	2.5%
現在就労していない	375	6.2%
合計	6071	100.0%

15. 現在、あなたが同居している人は誰ですか？ ※複数選択可

	n	%
ひとり暮らし	3008	49.6%
パートナー・恋人	829	13.7%
元パートナー・元恋人	59	1.0%
父母	1635	27.0%
兄弟姉妹	623	10.3%
祖父母	171	2.8%
友人	76	1.3%
子	278	4.6%
夫・妻	424	7.0%
元夫・元妻	6	0.1%
その他	90	1.5%
全体	6066	
無回答	5	
合計	6071	

「ひとり暮らし」を選択しつつ、他の同居人も選択している回答者が一定数いた。

16. 現在のあなたの結婚やパートナー制度利用ついてお聞きします。

異性との結婚	n	%
一度もしたことがない	5349	88.4%
過去にしたことがある	220	3.6%
現在している	479	7.9%
小計	6048	100.0%
無回答	23	
合計	6071	

異性と友情結婚（訳知り相手と）	n	%
一度もしたことがない	5694	98.1%
過去にしたことがある	63	1.1%
現在している	45	0.8%
小計	5802	100.0%
無回答	269	
合計	6071	

同性パートナーとの結婚（海外で）	n	%
一度もしたことがない	5791	99.4%
過去にしたことがある	16	0.3%
現在している	20	0.3%
小計	5827	100.0%
無回答	244	
合計	6071	

同性パートナーと養子縁組	n	%
一度もしたことがない	5778	99.5%
過去にしたことがある	8	0.1%
現在している	22	0.4%
小計	5808	100.0%
無回答	263	
合計	6071	

国内の自治体による同性パートナーシップ制度	n	%
一度もしたことがない	5733	98.3%
過去にしたことがある	20	0.3%
現在している	77	1.3%
小計	5830	100.0%
無回答	241	
合計	6071	

同性パートナーと任意後見人契約	n	%
一度もしたことがない	5751	99.4%
過去にしたことがある	5	0.1%
現在している	32	0.6%
小計	5788	100.0%
無回答	283	
合計	6071	

17. あなたが現在住んでいる自治体には同性パートナーシップ制度はありますか？

	n	%
ある	1924	31.7%
ない	1861	30.7%
わからない	2286	37.7%
合計	6071	100.0%

18. あなたの考えに近いものを選んでください。※複数選択可

	n	%
同性間でも結婚制度が平等に使えるようになってほしい	3328	54.9%
結婚以外でもいいので、同性パートナーとの関係を法律で守ってほしい	3201	52.8%
プライバシーのことを考えると同性パートナーに関する制度が利用しにくい	2331	38.5%
自分 / パートナーの苗字が変わるのは嫌だ	1139	18.8%
社会的に同性パートナー関係が承認される必要はない	407	6.7%
同性パートナー関係を秘密にしておきたい	1539	25.4%
その他	104	1.7%
全体	6057	
無回答	14	
合計	6071	

有効回答者の 75.4%(4564/6057) は、「同性間でも結婚制度が平等に使えるようになってほしい」と「結婚以外でもいいので、同性パートナーとの関係を法律で守ってほしい」の両方あるいはいずれかを選んでいた。

19. 何歳ではじめて男性とのセックスを経験しましたか？

平均値	20.51	
標準偏差	6.28	
中央値	19（IQR:17-23）	
回答者	5663	96.4%
未経験	213	3.6%
小計	5876	
無回答	195	
合計	6071	

20. ゲイ・バイセクシュアルの友達がはじめてできたのは何歳ですか？

平均値	22.28	
標準偏差	6.66	
中央値	20(IQR:18-25)	
回答者	5418	92.1%
ゲイ・バイセクシュアルの友達がいたことはない	462	7.9%
小計	5880	
無回答	191	
合計	6071	

21. 男性のパートナーがはじめてできたのは何歳ですか？

平均値	23.84	
標準偏差	6.89	
中央値	22（IQR:19-27）	
回答者	4365	74.3%
男性のパートナーがいたことはない	1512	25.7%
小計	5877	
無回答	194	
合計	6071	

22. 次の中で過去 6 か月に利用、参加したものはありますか？ ※複数選択可

	n	%
ゲイバー	1828	31.1%
ゲイナイト(クラブ)	557	9.5%
ゲイショップ	549	9.3%
ゲイ向け出会い系掲示板	2217	37.7%
twitter などの SNS	3631	61.8%
ゲイ向けマッチングアプリ	4843	82.4%
セクシュアリティを限定しないマッチングアプリ	327	5.6%
LGBT 関連イベント	324	5.5%
ゲイ向けサークル	271	4.6%
ゲイ・LGBT 向けオンライン・ミーティング	52	0.9%
ゲイ向け合コン	57	1.0%
ゲイ向け乱パ	220	3.7%
有料のハッテン場	1702	28.9%
野外のハッテン場	736	12.5%
ハッテン場で有名な公共施設	889	15.1%
売り専やマッサージ(抜きあり)	722	12.3%
日常生活(職場・学校等)のなかでゲイ・バイ友達・知人と会った	1006	17.1%
その他	23	0.4%
上記のいずれもない	206	3.5%
全体	5880	
無回答	191	
合計	6071	

「上記のいずれもない」を選択した回答者は他の選択肢を選べない設定となっている。

23. 過去 6 か月間に、何人の男性とセックスをしましたか？（細かく覚えていない方は大体でも構いません）

平均値	6.97	
標準偏差	14.04	
中央値	3	(IQR:1-7)

	n	%
0 人	948	16.1%
1 人	874	14.9%
2 ～ 5 人	2303	39.2%
6 ～ 10 人	988	16.8%
11 ～ 20 人	392	6.7%
21 ～ 50 人	290	4.9%
51 ～ 100 人	53	0.9%
101 人以上	30	0.5%
小計	5878	100.0%
無回答	193	
合計	6071	

代表値の算出に「301 人以上」と選択した 9 名は含まれない。

24. 過去 6 か月間に一度に 2 人以上の男性とセックスをすることはありましたか？

	n	%
はい	1718	29.2%
いいえ(過去 6 か月以上前に 2 人以上の男性とセックスをしたことはある)	1935	32.9%
いいえ(そもそも一度に 2 人以上の男性とセックスをしたことがない)	2228	37.9%
小計	5881	100.0%
無回答	190	
合計	6071	

25. これまでに、一番長くつきあった期間は？（現在のパートナーも含みます）

	n	%
これまでに付き合ったことは無い	1335	23.1%
１年未満	1012	17.5%
１年以上～３年未満	1162	20.1%
３年以上～５年未満	721	12.5%
５年以上～１０年未満	807	13.9%
１０年以上～２０年未満	585	10.1%
２０年以上～３０年未満	144	2.5%
３０年以上	24	0.4%
小計	5790	100.0%
無回答	281	
合計	6071	

26. 現在のあなたの恋愛とセックスのイメージに最も近いものは？ パートナーがいる、いないに関わらずお答えください。

	n	%
１対１のパートナー関係を重視	1995	34.4%
パートナーは必要だが、性生活は割り切って楽しみたい	2205	38.1%
パートナーは不要、性生活を楽しみたい	449	7.8%
相手に合わせるので、状況で変わる	926	16.0%
わからない	218	3.8%
小計	5793	100.0%
無回答	278	
合計	6071	

27. 今現在、特定のパートナーはいますか？

	n	%
いる	2283	40.7%
いない	3320	59.3%
小計	5603	100.0%
無回答	468	
合計	6071	

28. 過去６か月間に、「その場限りの相手」はいましたか？

	n	%
いない	1623	29.0%
１人いた	814	14.5%
２人以上いた	3163	56.5%
小計	5600	100.0%
無回答	471	
合計	6071	

29. 過去６か間に、「セフレ」はいましたか？

	n	%
いない	2705	48.3%
１人いた	1221	21.8%
２人以上いた	1673	29.9%
小計	5599	100.0%
無回答	472	
合計	6071	

30. 過去６か間に、「パートナー」はいましたか？

	n	%
いない	3242	57.9%
１人いた	2259	40.3%
２人以上いた	99	1.8%
小計	5600	100.0%
無回答	471	
合計	6071	

31. 一番直近の「その場限りの相手」と連絡先の交換をしましたか？

	n	%
した	2389	42.6%
していない	2780	49.6%
今までに「その場限りの相手」はいない	435	7.8%
小計	5604	100.0%
無回答	467	
合計	6071	

32. 一番最近の「その場限りの相手」と知り合ったきっかけはなんですか？

	n	%
ゲイバー	128	2.3%
ゲイナイト（クラブ）	13	0.2%
ゲイショップ	0	0.0%
ゲイ向け出会い系掲示板	717	13.0%
twitter などの SNS	342	6.2%
ゲイ向けマッチングアプリ	2711	49.2%
セクシュアリティを限定しないマッチングアプリ	30	0.5%
ゲイ向けサークル	6	0.1%
ゲイ・LGBT 向けオンライン・ミーティング	1	0.0%
ゲイ向け合コン	0	0.0%
ゲイ向け乱パ	26	0.5%
有料のハッテン場 / 野外のハッテン場	786	14.3%
ハッテン場で有名な公共施設	212	3.8%
売り専やマッサージ（抜きあり）	78	1.4%
日常生活（職場・学校等）のなかで	16	0.3%
友達、知人などの紹介	17	0.3%
お見合いサービス	2	0.0%
その他	21	0.4%
今までに「その場限りの相手」はいない	409	7.4%
小計	5515	100.0%
無回答	556	
合計	6071	

33. 一番最近の「パートナー」と知り合ったきっかけはなんですか？

	n	%
ゲイバー	258	4.7%
ゲイナイト（クラブ）	23	0.4%
ゲイショップ	5	0.1%
ゲイ向け出会い系掲示板	595	10.8%
twitter などの SNS	505	9.2%
ゲイ向けマッチングアプリ	2120	38.5%
セクシュアリティを限定しないマッチングアプリ	36	0.7%
ゲイ向けサークル	71	1.3%
ゲイ・LGBT 向けオンライン・ミーティング	6	0.1%
ゲイ向け合コン	15	0.3%
ゲイ向け乱パ	16	0.3%
有料のハッテン場 / 野外のハッテン場	258	4.7%
ハッテン場で有名な公共施設	94	1.7%
売り専やマッサージ（抜きあり）	33	0.6%
日常生活（職場・学校等）のなかで	188	3.4%
友達、知人などの紹介	172	3.1%
お見合いサービス	16	0.3%
その他	54	1.0%
今までに「パートナー」はいない	1035	18.8%
小計	5500	100.0%
無回答	571	
合計	6071	

34. 過去 6 か月以内にした行為(アナルセックス以外)を選んでください。 ※複数選択可

	n	%
キス	4678	83.6%
さわりあい	4437	79.3%
相互オナニー（マスタベーション）	3135	56.0%
フェラチオ	4698	84.0%
アナル舐め	1661	29.7%
フィストファック	108	1.9%
SM	188	3.4%
膣性交	327	5.8%
クンニリングス	94	1.7%
器具をつかった行為	557	10.0%
その他	40	0.7%
何の行為もしていない	506	9.0%
全体	5596	
無回答	475	
合計	6071	

「何の行為もしていない」を選択した回答者は他の選択肢を選べない設定となっている。

35. 過去 6 か月間に、コンドームを使わない、フェラチオをした経験(なめる側)はありますか？

	n	%
していない	1093	19.5%
した	4500	80.5%
小計	5593	100.0%
無回答	478	
合計	6071	

36. 過去 6 か月間に、アナルセックスはしましたか？

	n	%
していない	1848	33.0%
した	3751	67.0%
小計	5599	100.0%
無回答	472	
合計	6071	

37. 過去 6 か月間にアナルセックスをしたとき、コンドームをどのくらい使いましたか？もっとも近いものを選んでください。

	n	%
必ず使った	759	20.5%
使うことが多かった	650	17.5%
五分五分の割合で使った	547	14.8%
使わないことが多かった	986	26.6%
全く使わなかった	766	20.7%
小計	3708	100.0%
非該当	1848	
無回答	515	
合計	6071	

Q36 で「していない」と回答した 1848 名は非該当とした。

38. 過去 6 か月間に、アナルセックスのとき、自分がコンドームをつけずに相手に挿入し、中でイク行為(自分がタチ)がありましたか？

	n	%
なし	2012	54.2%
ときどき	981	26.4%
頻繁に	716	19.3%
小計	3709	100.0%
非該当	1848	
無回答	514	
合計	6071	

Q36 で「していない」と回答した 1848 名は非該当とした。

39. 過去 6 か月間に、アナルセックスのとき、相手がコンドームをつけずに自分に挿入し、中でイク行為(自分がウケ)がありましたか？

	n	%
なし	2040	55.0%
ときどき	952	25.7%
頻繁に	719	19.4%
小計	3711	100.0%
非該当	1848	
無回答	512	
合計	6071	

Q36 で「していない」と回答した 1848 名は非該当とした。

40. これまでに HIV 抗体検査を受けた経験はありますか？（医療機関で提案されたものを含む）

	n	%
ない	1900	34.5%
ある	3614	65.5%
小計	5514	100.0%
無回答	557	
合計	6071	

41. 直近で HIV 検査を受けたのはいつですか？

	n	%
6か月未満前	1300	36.3%
6か月以上～1年未満前	518	14.5%
1年以上～3年未満前	764	21.3%
3年以上～5年未満前	392	10.9%
5年以上～10年未満前	315	8.8%
10年以上前	294	8.2%
小計	3583	100.0%
非該当	1900	
無回答	588	
合計	6071	

Q40 で「ない」と回答した 1900 名は非該当とした。

42. 直近で HIV 検査を受けた場所はどこですか？

	n	%
保健所 / 検査所	1609	44.9%
医療機関（対面診療）	1129	31.5%
医療機関（オンライン診療）	45	1.3%
郵送検査キット	509	14.2%
HIV 検査イベント	193	5.4%
健康診断のオプション	70	2.0%
SH 外来	4	0.1%
その他	23	0.6%
小計	3582	100.0%
非該当	1900	
無回答	589	
合計	6071	

Q40 で「ない」と回答した 1900 名は非該当とした。
また、「SH 外来」の選択肢は集計後に「その他」から抽出し、追加した。

43. 直近の HIV 検査の結果はどうでしたか？

	n	%
陰性（感染していなかった）	3099	86.5%
陽性（感染していた）	429	12.0%
判定保留（確認検査が必要）だった	5	0.1%
結果を待っている	27	0.8%
結果を受け取らなかった	15	0.4%
その他	6	0.2%
小計	3581	13.5%
非該当	1900	
無回答	590	
合計	6071	

Q40 で「ない」と回答した 1900 名は非該当とした。

44. どのくらいの頻度で HIV 検査を受けていますか？

	n	%
3か月未満に1回程度	192	6.1%
3～6か月に1回程度	559	17.8%
1年に1回程度	682	21.7%
数年に1回程度	941	30.0%
過去に1回しか受けたことがない	715	22.8%
その他	52	1.7%
小計	3141	100.0%
非該当	2329	
無回答	601	
合計	6071	

Q40 で「ない」と回答した 1900 名と Q43 で「陽性（感染していた）」と回答した 429 名は非該当とした。

45. 陽性と分かったのは西暦何年ですか？

	n	%
1990 ～ 1999 年	15	3.7%
2000 ～ 2009 年	97	23.9%
2010 ～ 2019 年	217	53.4%
2020 ～ 2022 年	77	19.0%
小計	406	100.0%
非該当	5052	
無回答	613	
合計	6071	

Q40 で「ない」と回答した 1900 名と Q43 で「陽性（感染していた）」以外と回答した 3152 名は非該当とした。

46. 陽性と分かったのはどこですか？

	n	%
保健所 / 検査所	138	33.7%
医療機関（外来）	159	38.9%
医療機関（入院）	72	17.6%
PrEP 開始前の検査	5	1.2%
PrEP 開始後の検査	1	0.2%
郵送検査キット	12	2.9%
HIV 検査イベント	13	3.2%
健康診断のオプション	2	0.5%
献血	6	1.5%
その他	1	0.2%
小計	409	100.0%
非該当	5052	
無回答	610	
合計	6071	

Q40 で「ない」と回答した 1900 名と Q43 で「陽性（感染していた）」以外と回答した 3152 名は非該当とした。

47. 受けたことがない理由は次のどれがあてはまりますか？　※複数選択可

	n	%
結果を知るのが怖い	385	21.0%
感染している可能性がない	711	38.7%
曖昧なままにしておきたい	141	7.7%
検査場所が分からない	513	27.9%
向き合うことを避けている	287	15.6%
お金がかかる	335	18.2%
HIV 感染者だと周囲に疑われる	145	7.9%
セクシュアリティの説明が面倒	296	16.1%
時間が合わない	476	25.9%
予約が取れない	133	7.2%
近くの保健所の検査が休止中	60	3.3%
その他	126	6.9%
全体	1836	
非該当	3614	
無回答	621	
合計	6071	

Q40 で「ある」と回答した 3614 名は非該当とした。

48. あなたにとって HIV は身近なものですか？

	n	%
とても身近	936	17.8%
身近	1573	30.0%
身近ではない	2028	38.6%
全く身近ではない	711	13.5%
小計	5248	100.0%
無回答	823	
合計	6071	

49. 友達や知り合い（パートナー含む）に HIV に感染している人はいますか？

	n	%
いる	1271	24.2%
いると思う	648	12.3%
いないと思う	2120	40.4%
いない	1211	23.1%
小計	5250	100.0%
無回答	821	
合計	6071	

50. セックスの場面で HIV 検査の結果を伝える義務はありません。しかし、皆様がどのくらい経験しているのかを知りたいので、お聞きします。

これまでにセックスの相手から、あなたの HIV 検査結果を質問された経験がありますか？	n	%
ない	3459	65.9%
ある	1788	34.1%
小計	5247	100.0%
無回答	824	
合計	6071	

これまでにセックスの相手に、あなたの HIV 検査結果を伝えた経験がありますか？	n	%
ない	3044	58.1%
ある	2199	41.9%
小計	5243	100.0%
無回答	828	
合計	6071	

これまでにセックスの相手から、相手の HIV 検査結果を伝えられた経験がありますか？	n	%
ない	3054	58.2%
ある	2194	41.8%
小計	5248	100.0%
無回答	823	
合計	6071	

51. 出会いの場面で相手が HIV 陽性と分かった場合、セックスをするという判断にどう影響しますか？

	n	%
とてもマイナスに影響する	3336	63.6%
少しマイナスに影響する	1239	23.6%
あまり影響しない	483	9.2%
まったく影響しない	191	3.6%
小計	5249	100.0%
無回答	822	
合計	6071	

52. 以下の質問でただしいものには○、間違っているものには×を選んでください。

HIV 感染に気づいている人は、治療を継続することで血液中からウイルスがほとんど見つからなくなる	n	%
○	3666	70.0%
×	1572	30.0%
小計	5238	100.0%
無回答	833	
合計	6071	

性感染症（HIV 以外）にかかっていると、HIV に感染しやすくなる	n	%
○	3961	75.6%
×	1277	24.4%
小計	5238	100.0%
無回答	833	
合計	6071	

HIV に感染しても、早期に治療を開始すれば、長く生きられる	n	%
○	5128	97.8%
×	115	2.2%
小計	5243	100.0%
無回答	828	
合計	6071	

HIV の治療費は低く抑えることができる社会制度がある	n	%
○	4497	85.9%
×	738	14.1%
小計	5235	100.0%
無回答	836	
合計	6071	

通院し治療を受けても、HIV のプライバシーは守られ、役所、病院などから職場や学校に勝手に伝わらない	n	%
○	4895	93.5%
×	342	6.5%
小計	5237	100.0%
無回答	834	
合計	6071	

セックスの相手がHIVに感染している場合でも、感染に気づき治療を継続している場合には、感染の可能性は非常に低くなる	n	%
○	3784	72.3%
×	1448	27.7%
小計	5232	100.0%
無回答	839	
合計	6071	

HIV感染に気づかずにいると、セックスを通じて体内のウイルスを誰かにうつすことがある	n	%
○	5180	98.8%
×	62	1.2%
小計	5242	100.0%
無回答	829	
合計	6071	

オーラルセックスでのHIV感染のリスクは低いが、ゼロではない	n	%
○	4918	93.9%
×	322	6.1%
小計	5240	100.0%
無回答	831	
合計	6071	

先進国ではHIVの主な感染ルートは男性同性間のセックスによるものである	n	%
○	3869	73.9%
×	1367	26.1%
小計	5236	100.0%
無回答	835	
合計	6071	

コンドームを使用することで、HIVだけでなく、他の性感染症のリスクも減らせる	n	%
○	5188	99.1%
×	46	0.9%
小計	5234	100.0%
無回答	837	
合計	6071	

国内のゲイ男性の間では梅毒感染報告者数が近年増えている	n	%
○	5051	96.4%
×	189	3.6%
小計	5240	100.0%
無回答	831	
合計	6071	

53. PrEP（HIV曝露前予防）とは何かを知っていますか？

	n	%
はい	3721	72.2%
いいえ	1435	27.8%
小計	5156	100.0%
無回答	915	
合計	6071	

54. PrEPの薬を飲んだことはありますか？ ※HIV陽性者が服用する治療薬は含まれません

全体	n	%
過去に飲んだことがある	178	3.5%
現在飲んでいる	329	6.4%
一度も飲んだことがない	3190	62.2%
PrEPを知らない(非該当)	1435	28.0%
小計	5132	100.0%
無回答	939	
合計	6071	

陽性者以外		
過去に飲んだことがある	171	3.6%
現在飲んでいる	329	7.0%
一度も飲んだことがない	2834	59.9%
PrEPを知らない(非該当)	1395	29.5%
小計	4729	100.0%
無回答	913	
合計	5642	

陽性者		
過去に飲んだことがある	7	1.7%
現在飲んでいる	0	0.0%
一度も飲んだことがない	356	88.3%
PrEPを知らない(非該当)	40	9.9%
小計	403	100.0%
無回答	26	
合計	429	100.0%

Q53で「いいえ」と回答した1435名も割合算出時の母数に含む。また、「陽性者以外」にはHIV抗体検査経験の有無が不明の回答者も含む。

55. PrEP の薬が日本で入手しやすくなったら、あなたは使いたいですか？

全体	n	%
とても使いたい	995	24.2%
まあ使いたい	1533	37.3%
あまり使いたくない	406	9.9%
まったく使いたくない	137	3.3%
わからない	1035	25.2%
小計	4106	100.0%
非該当	929	
無回答	1036	
合計	6071	100.0%

Q43 で「陽性（感染していた）」と回答した 429 名と、Q54 で「過去に飲んだことがある」か「現在飲んでいる」と回答した陽性者以外の 500 名を非該当とした。

56. PrEP で気になることは次のうちどれですか？ ※複数選択可

全体	n	%
どれくらいお金が必要か	3424	83.3%
どのくらい副作用があるのか	3098	75.4%
予防の効果がどれくらいか	2712	66.0%
処方してくれる医療機関があるか	2170	52.8%
見守りをしてくれる医療機関があるか	1129	27.5%
薬剤耐性（実際に HIV に感染した時、使える薬の種類が限られてしまわないか）	1542	37.5%
わからない	397	9.7%
全体	4110	
非該当	929	
無回答	1032	
合計	6071	

Q43 で「陽性（感染していた）」と回答した 429 名と、Q54 で「過去に飲んだことがある」か「現在飲んでいる」と回答した陽性者以外の 500 名を非該当とした。また、「わからない」を選択した回答者は他の選択肢を選べない設定となっている。

57. PrEP の薬を飲む動機になりそうなものはどれですか？ ※複数選択可

全体	n	%
相手に頼らず予防したいから	2437	59.3%
HIV 感染が気になるから	2921	71.1%
多数の相手とセックスをするから	1255	30.6%
コンドームを使いたくないから	1119	27.2%
セックス相手がコンドームを使わないから	508	12.4%
わからない	478	11.6%
全体	4107	
非該当	929	
無回答	1035	
合計	6071	

Q43 で「陽性（感染していた）」と回答した 429 名と、Q54 で「過去に飲んだことがある」か「現在飲んでいる」と回答した陽性者以外の 500 名を非該当とした。また、「わからない」を選択した回答者は他の選択肢を選べない設定となっている。

58. PrEP の薬を飲んだ場合、コンドーム使用にどう影響すると思いますか？

全体	n	%
コンドームを今より使うようになると思う	341	8.3%
変わらないと思う	2326	56.7%
コンドームを今より使わなくなると思う	1437	35.0%
小計	4104	100.0%
非該当	929	
無回答	1038	
合計	6071	

Q43 で「陽性（感染していた）」と回答した 429 名と、Q54 で「過去に飲んだことがある」か「現在飲んでいる」と回答した陽性者以外の 500 名を非該当とした。

59. PrEP を飲むと、コンドーム使用にどう影響しましたか？

全体	n	%
コンドームを前より使うようになった	12	2.4%
変わらない	222	43.8%
コンドームを前より使わなくなった	273	53.8%
小計	507	100.0%
非該当	4625	
無回答	939	
合計	6071	

陽性者以外		
コンドームを前より使うようになった	11	2.2%
変わらない	218	43.6%
コンドームを前より使わなくなった	271	54.2%
小計	500	100.0%
非該当	4229	
無回答	913	
合計	5642	

陽性者		
コンドームを前より使うようになった	1	14.3%
変わらない	4	57.1%
コンドームを前より使わなくなった	2	28.6%
小計	7	100.0%
非該当	396	
無回答	26	
合計	429	

Q53 で「いいえ」と回答した 1435 名と、Q54 で「一度も飲んだことがない」と回答した 3190 名を非該当とした。また、「陽性者以外」には HIV 抗体検査経験の有無が不明の回答者も含む。

60. PEP（HIV 曝露後予防）とは何かを知っていましたか？

	n	%
はい	2173	44.0%
いいえ	2765	56.0%
小計	4938	100.0%
無回答	1133	
合計	6071	

61. PEP の薬が日本で入手しやすくなったら、あなたは使いたいですか？

全体	n	%
とても使いたい	1349	29.5%
まあ使いたい	1555	34.0%
あまり使いたくない	287	6.3%
まったく使いたくない	91	2.0%
わからない	1291	28.2%
小計	4573	100.0%
非該当	429	
無回答	1069	
合計	6071	

Q43 で「陽性（感染していた）」と回答した 429 名を非該当とした。

62. あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか？

	n	%
ある	4407	88.1%
ない	595	11.9%
小計	5002	100.0%
無回答	1069	
合計	6071	

63. それは、どのような原因による悩みやストレスですか？　※複数選択可

	n	%
家族との人間関係	1191	27.4%
家族以外との人間関係	1519	34.9%
恋愛・性に関すること	2076	47.7%
結婚	641	14.7%
離婚	40	0.9%
いじめ､セクシュアル･ハラスメント	230	5.3%
生きがいに関すること	1550	35.6%
自由にできる時間がない	659	15.2%
収入・家計・借金等	2314	53.2%
自分の病気や介護	795	18.3%
家族の病気や介護	532	12.2%
妊娠・出産	25	0.6%
育児	38	0.9%
家事	168	3.9%
自分の学業・受験・進学	277	6.4%
子どもの教育	54	1.2%
自分の仕事	2911	66.9%
家族の仕事	120	2.8%
住まいや生活環境（公害、安全及び交通事情を含む）	549	12.6%
その他	72	1.7%
わからない	24	0.6%
全体	4349	
非該当	595	
無回答	1127	
合計	6071	

Q62 で「ない」と回答した 595 名を非該当とした。

64. 悩みやストレスを、どのように相談していますか？　※複数選択可

	n	%
家族に相談している	853	19.7%
友人・知人に相談している	2083	48.0%
職場の上司、学校の先生に相談している	400	9.2%
公的な機関（保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している	87	2.0%
民間の相談機関（悩み相談所等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を 利用している	70	1.6%
病院・診療所の医師に相談している	314	7.2%
テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している	16	0.4%
上記以外で相談している（職場の相談窓口等）	42	1.0%
相談したいが誰にも相談できないでいる	1020	23.5%
相談したいがどこに相談したらよいかわからない	531	12.2%
相談する必要がないので誰にも相談していない	933	21.5%
その他	87	2.0%
全体	4337	
非該当	595	
無回答	1139	
合計	6071	

Q62 で「ない」と回答した 595 名を非該当とした。

65. あなたの親しいゲイ・バイセクシュアルの友人たちとはどこで知り合いましたか？ ※複数選択可

	n	%
バーで知り合った	1098	22.5%
友人を通して知り合った	1276	26.1%
クラブで知り合った	179	3.7%
ハッテン場で知り合った	773	15.8%
ネット上（掲示板）で知り合った	1034	21.2%
出会い系アプリで知り合った	2848	58.3%
ＳＮＳで知り合った	1563	32.0%
サークルで知り合った	402	8.2%
その他	221	4.5%
親しいゲイ・バイセクシュアル、またはトランスジェンダーの友人はいない	550	11.3%
全体	4887	
無回答	1184	
合計	6071	

「親しいゲイ・バイセクシュアル、またはトランスジェンダーの友人はいない」を選択した回答者は他の選択肢を選べない設定となっている。

66. ゲイ・バイセクシュアル、またはトランスジェンダーであることを親にカミングアウトした経験はありますか？

	n	%
両親ともにした	499	10.2%
父親のみにした	32	0.7%
母親のみにした	445	9.1%
両親ともしていない / しなかった	3385	69.3%
伝えていないが、父親／母親／両親は知っている / 知っていた	260	5.3%
親はいない	198	4.1%
その他	64	1.3%
小計	4883	100.0%
無回答	1188	
合計	6071	

67. 職場や学校でカミングアウトはしていますか？

	n	%
広くしている（隠していない）	373	7.6%
信頼できる人にのみしている	1300	26.6%
全くしていない	3218	65.8%
小計	4891	100.0%
無回答	1180	
合計	6071	

68. 過去１年間に、たばこを吸いましたか？

	n	%
ほぼ毎日吸っていた	1152	23.6%
ときどき吸っていた	238	4.9%
全く吸っていない	3490	71.5%
小計	4880	100.0%
無回答	1191	
合計	6071	

69. あなたはアルコール含有飲料をどのくらいの頻度で飲みますか？

	n	%
飲まない	1034	21.2%
１か月に１回以下	1156	23.7%
１か月に２～４回	1196	24.5%
１週間に２～３回	662	13.6%
１週間に４回以上	832	17.0%
小計	4880	100.0%
無回答	1191	
合計	6071	

70. 飲酒するときには通常どのくらいの量を飲みますか？

	n	%
0.5 ～ 1 単位	1104	29.0%
1.5 ～ 2 単位	1162	30.5%
2.5 ～ 3 単位	738	19.4%
3.5 ～ 4.5 単位	365	9.6%
5 単位以上	435	11.4%
小計	3804	100.0%
非該当	1034	
無回答	1233	
合計	6071	

Q69 で「飲まない」と回答した 1034 名を非該当とした。

71. 1 度に 3 単位(例：ロング缶ビール 3 本)以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか？

	n	%
ない	1151	30.2%
1 か月に 1 度未満	1176	30.9%
1 か月に 1 度	629	16.5%
1 週に 1 度	560	14.7%
毎日あるいはほとんど毎日	292	7.7%
小計	3808	100.0%
非該当	1034	
無回答	1229	
合計	6071	

Q69 で「飲まない」と回答した 1034 名を非該当とした。

AUDIT-C スコア	n	%
0-5 点	3252	67.3%
6 点以上	1583	32.7%
小計	4835	100.0%
無回答	1236	
合計	6071	

Q69 ～ 71 を全て回答した 4835 名(Q70 ～ 71 が非該当の回答者含む)のスコアを算出している。尚、AUDIT-C は問題飲酒のスクリーニングとして用いられる尺度で、6 点以上が問題飲酒者として減酒指導を行う際の目安である。

72. これまでに精神科・心療内科を受診したことはありますか？

	n	%
ある	1669	34.7%
ない	3147	65.3%
小計	4816	100.0%
無回答	1255	
合計	6071	

73. 過去 6 か月間に、治療目的以外や決められた量を超えて次の市販薬(薬局で買える薬)を使用したことはありましたか？ ※複数選択可

	n	%
鎮咳薬(せきどめ)	153	3.2%
風邪薬	234	4.9%
鎮痛薬(痛み止め)	375	7.8%
鎮静薬・睡眠改善薬(ウット等)	116	2.4%
上記のいずれもない	4233	87.9%
全体	4814	
無回答	1257	
合計	6071	

「上記のいずれもない」を選択した回答者は他の選択肢を選べない設定となっている。

74. 過去 6 か月間に、治療目的以外や決められた量を超えて次の処方薬(病院からもらう薬)を使用したことはありましたか？ ※複数選択可

	n	%
睡眠薬	151	3.1%
抗不安薬	82	1.7%
抗うつ薬	92	1.9%
抗精神病薬	42	0.9%
鎮痛薬(痛み止め)	187	3.9%
上記のいずれもない	4454	92.7%
全体	4805	
無回答	1266	
合計	6071	

「上記のいずれもない」を選択した回答者は他の選択肢を選べない設定となっている。

75. 受診した精神科・心療内科でセクシュアリティや性自認を医師に伝えたことはありますか？

	n	%
はい	494	29.7%
いいえ	1172	70.3%
小計	1666	100.0%
非該当	3147	
無回答	1258	
合計	6071	

Q72 で「ない」と回答した 3147 名を非該当とした。

76. あなたはこれまでに、誰かがドラッグ・薬物を使用しているのを見たことがありますか？

	n	%
はい	1504	31.3%
いいえ	3296	68.7%
小計	4800	100.0%
無回答	1271	
合計	6071	

77. あなたはこれまでに、ドラッグ・薬物の使用を勧められたことがありますか？

	n	%
はい	1230	25.6%
いいえ	3566	74.4%
小計	4796	100.0%
無回答	1275	
合計	6071	

78. ドラッグ・薬物を使った経験はありますか？

	n	%
はい	963	20.1%
いいえ	3838	79.9%
小計	4801	100.0%
無回答	1270	
合計	6071	

79. セックスの時にドラッグや薬物を使った経験はありますか？

	n	%
ある	827	89.9%
ない	93	10.1%
小計	920	100.0%
非該当	3838	
無回答	1313	
合計	6071	

回答者全体		
ある	827	17.4%
ない	93	2.0%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	80.7%
小計	4758	100.0%
無回答	1313	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

80. 次のドラッグや薬物を、セックスの場面に限らずこれまでに使ったことがありますか？

咳止め（ブロン）	n	%
1か月未満前	9	1.0%
1か月以上～6か月未満前	4	0.5%
6か月以上～1年未満前	5	0.6%
1年以上前	51	5.9%
使ったことはない	800	92.1%
小計	869	100.0%
非該当	3838	
無回答	1364	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	9	0.2%
1か月以上～6か月未満前	4	0.1%
6か月以上～1年未満前	5	0.1%
1年以上前	51	1.1%
使ったことはない	800	17.0%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.5%
小計	4707	100.0%
無回答	1364	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

脱法ドラッグ（ハーブ・リキッド・パウダー・アロマ・ソルト）	n	%
1か月未満前	11	1.3%
1か月以上～6か月未満前	13	1.5%
6か月以上～1年未満前	6	0.7%
1年以上前	279	31.7%
使ったことはない	570	64.8%
小計	879	100.0%
非該当	3838	
無回答	1354	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	11	0.2%
1か月以上～6か月未満前	13	0.3%
6か月以上～1年未満前	6	0.1%
1年以上前	279	5.9%
使ったことはない	570	12.1%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.4%
小計	4717	100.0%
無回答	1354	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

5MeO－DIPT（ゴメオ・フォクシー）	n	%
1か月未満前	5	0.6%
1か月以上～6か月未満前	3	0.3%
6か月以上～1年未満前	1	0.1%
1年以上前	345	39.0%
使ったことはない	530	60.0%
小計	884	100.0%
非該当	3838	
無回答	1349	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	5	0.1%
1か月以上～6か月未満前	3	0.1%
6か月以上～1年未満前	1	0.0%
1年以上前	345	7.3%
使ったことはない	530	11.2%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.3%
小計	4722	100.0%
無回答	1349	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

ラッシュ（亜硝酸アミル系・ポッパー・RUSH）	n	%
1か月未満前	50	5.5%
1か月以上～6か月未満前	45	5.0%
6か月以上～1年未満前	37	4.1%
1年以上前	695	76.6%
使ったことはない	80	8.8%
小計	907	100.0%
非該当	3838	
無回答	1326	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	50	1.1%
1か月以上～6か月未満前	45	0.9%
6か月以上～1年未満前	37	0.8%
1年以上前	695	14.6%
使ったことはない	80	1.7%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	80.9%
小計	4745	100.0%
無回答	1326	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

ガス（エアーダスター、ライターガス）	n	%
1か月未満前	9	1.0%
1か月以上～6か月未満前	5	0.6%
6か月以上～1年未満前	5	0.6%
1年以上前	143	16.3%
使ったことはない	715	81.5%
小計	877	100.0%
非該当	3838	
無回答	1356	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	9	0.2%
1か月以上～6か月未満前	5	0.1%
6か月以上～1年未満前	5	0.1%
1年以上前	143	3.0%
使ったことはない	715	15.2%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.4%
小計	4715	100.0%
無回答	1356	
合計	6071	

Q78で「いいえ」と回答した3838名を非該当とした。

有機溶剤・シンナー（ボンド・トルエン・エーテル）	n	%
1か月未満前	4	0.5%
1か月以上～6か月未満前	0	0.0%
6か月以上～1年未満前	0	0.0%
1年以上前	41	4.7%
使ったことはない	829	94.9%
小計	874	100.0%
非該当	3838	
無回答	1359	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	4	0.1%
1か月以上～6か月未満前	0	0.0%
6か月以上～1年未満前	0	0.0%
1年以上前	41	0.9%
使ったことはない	829	17.6%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.5%
小計	4712	100.0%
無回答	1359	
合計	6071	

Q78で「いいえ」と回答した3838名を非該当とした。

大麻（マリファナ・ハシッシ・ハッパ）	n	%
1か月未満前	19	2.2%
1か月以上～6か月未満前	14	1.6%
6か月以上～1年未満前	9	1.0%
1年以上前	196	22.2%
使ったことはない	644	73.0%
小計	882	100.0%
非該当	3838	
無回答	1351	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	19	0.4%
1か月以上～6か月未満前	14	0.3%
6か月以上～1年未満前	9	0.2%
1年以上前	196	4.2%
使ったことはない	644	13.6%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.3%
小計	4720	100.0%
無回答	1351	
合計	6071	

Q78で「いいえ」と回答した3838名を非該当とした。

覚せい剤（シャブ・エス・スピード・アイス・クリスタルメス）	n	%
1か月未満前	21	2.4%
1か月以上～6か月未満前	15	1.7%
6か月以上～1年未満前	10	1.1%
1年以上前	119	13.5%
使ったことはない	718	81.3%
小計	883	100.0%
非該当	3838	
無回答	1350	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	21	0.4%
1か月以上～6か月未満前	15	0.3%
6か月以上～1年未満前	10	0.2%
1年以上前	119	2.5%
使ったことはない	718	15.2%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.3%
小計	4721	100.0%
無回答	1350	
合計	6071	

Q78で「いいえ」と回答した3838名を非該当とした。

MDMA（エクスタシー・X・バツ・アダム）	n	%
1か月未満前	9	1.0%
1か月以上～6か月未満前	5	0.6%
6か月以上～1年未満前	5	0.6%
1年以上前	78	8.8%
使ったことはない	785	89.0%
小計	882	100.0%
非該当	3838	
無回答	1351	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	9	0.2%
1か月以上～6か月未満前	5	0.1%
6か月以上～1年未満前	5	0.1%
1年以上前	78	1.7%
使ったことはない	785	16.6%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.3%
小計	4720	100.0%
無回答	1351	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

ヘロイン（モルヒネ、けし）	n	%
1か月未満前	7	0.8%
1か月以上～6か月未満前	2	0.2%
6か月以上～1年未満前	3	0.3%
1年以上前	6	0.7%
使ったことはない	856	97.9%
小計	874	100.0%
非該当	3838	
無回答	1359	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	7	0.1%
1か月以上～6か月未満前	2	0.0%
6か月以上～1年未満前	3	0.1%
1年以上前	6	0.1%
使ったことはない	856	18.2%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.5%
小計	4712	100.0%
無回答	1359	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

コカイン（クラック・コーク・ロック）	n	%
1か月未満前	8	0.9%
1か月以上～6か月未満前	3	0.3%
6か月以上～1年未満前	2	0.2%
1年以上前	38	4.3%
使ったことはない	826	94.2%
小計	877	100.0%
非該当	3838	
無回答	1356	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	8	0.2%
1か月以上～6か月未満前	3	0.1%
6か月以上～1年未満前	2	0.0%
1年以上前	38	0.8%
使ったことはない	826	17.5%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.4%
小計	4715	100.0%
無回答	1356	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

ケタミン	n	%
1か月未満前	4	0.5%
1か月以上～6か月未満前	2	0.2%
6か月以上～1年未満前	3	0.3%
1年以上前	24	2.8%
使ったことはない	839	96.2%
小計	872	100.0%
非該当	3838	
無回答	1361	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	4	0.1%
1か月以上～6か月未満前	2	0.0%
6か月以上～1年未満前	3	0.1%
1年以上前	24	0.5%
使ったことはない	839	17.8%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.5%
小計	4710	100.0%
無回答	1361	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

GHB（G、G ウォーター）	n	%
1か月未満前	5	0.6%
1か月以上～6か月未満前	3	0.3%
6か月以上～1年未満前	3	0.3%
1年以上前	25	2.9%
使ったことはない	840	95.9%
小計	876	100.0%
非該当	3838	
無回答	1357	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	5	0.1%
1か月以上～6か月未満前	3	0.1%
6か月以上～1年未満前	3	0.1%
1年以上前	25	0.5%
使ったことはない	840	17.8%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.4%
小計	4714	100.0%
無回答	1357	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

CBD（カンナビジオール、オイル・グミ等）	n	%
1か月未満前	59	6.7%
1か月以上～6か月未満前	31	3.5%
6か月以上～1年未満前	25	2.8%
1年以上前	26	3.0%
使ったことはない	739	84.0%
小計	880	100.0%
非該当	3838	
無回答	1353	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	59	1.3%
1か月以上～6か月未満前	31	0.7%
6か月以上～1年未満前	25	0.5%
1年以上前	26	0.6%
使ったことはない	739	15.7%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	81.3%
小計	4718	100.0%
無回答	1353	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

81. 注射器を使ったドラッグ・薬物を使用したことはありますか？

	n	%
1か月未満前	17	1.9%
1か月以上～6か月未満前	18	2.0%
6か月以上～1年未満前	6	0.7%
1年以上前	90	9.8%
使ったことはない	786	85.7%
小計	917	100.0%
非該当	3838	
無回答	1316	
合計	6071	

回答者全体		
1か月未満前	17	0.4%
1か月以上～6か月未満前	18	0.4%
6か月以上～1年未満前	6	0.1%
1年以上前	90	1.9%
使ったことはない	786	16.5%
生涯薬物使用経験なし（非該当）	3838	80.7%
小計	4755	100.0%
無回答	1316	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

82. 注射器を他の誰かと共有した経験はありますか？

	n	%
はい	49	5.3%
いいえ	826	90.0%
分からない	43	4.7%
小計	918	100.0%
非該当	3838	
無回答	1315	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

83. 初めてドラッグや薬物を使用した場所はどこでしたか？

	n	%
クラブ	27	3.0%
ハッテン場	176	19.3%
ホテル	148	16.2%
自分の家	137	15.0%
パートナーの家	51	5.6%
セフレの家	209	22.9%
友達・先輩・後輩の家	77	8.4%
野外	31	3.4%
その他	29	3.2%
分からない	27	3.0%
小計	912	100.0%
非該当	3838	
無回答	1321	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

84. 初めてドラッグや薬物を使用したとき誰と一緒でしたか？　※複数選択可

	n	%
その場限りのセックスの相手	420	45.7%
セフレ	277	30.1%
パートナー	110	12.0%
友達・先輩・後輩	131	14.3%
乱パにいた知らない人	44	4.8%
自分１人	54	5.9%
その他	10	1.1%
分からない	8	0.9%
全体	919	
非該当	3838	
無回答	1314	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。
また、「分からない」を選択した回答者は他の選択肢を選べない設定となっている。一方、「自分 1 人」を選択しつつ、他の選択肢も選択している回答者が一定数いた。

85. 初めてドラッグや薬物を使ったのは何歳のときでしたか？

平均値	25.04
標準偏差	6.72
中央値	24（IQR:20-28）

	n	%
15 歳未満	9	1.0%
15 ～ 19 歳	157	17.3%
20 ～ 24 歳	334	36.8%
25 ～ 29 歳	200	22.1%
30 ～ 34 歳	102	11.2%
35 ～ 39 歳	69	7.6%
40 ～ 44 歳	21	2.3%
45 ～ 49 歳	11	1.2%
50 ～ 54 歳	3	0.3%
55 ～ 59 歳	1	0.1%
小計	907	100.0%
非該当	3838	
無回答	1326	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

86. 初めてドラッグや薬物を使用したときの状況は次のうちどれに近いですか？

	n	%
自ら望んで	206	22.5%
相手に誘われて	641	69.9%
自分の同意がないまま摂取していた（自分の知らないうちに相手に摂取させられた）	70	7.6%
小計	917	100.0%
非該当	3838	
無回答	1316	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

87. 過去 12 か月間で当てはまるものに○を付けてください。

薬物を使用をしましたか？（治療目的での使用を除く）	n	%
はい	159	17.6%
いいえ	742	82.4%
小計	901	100.0%
非該当	3838	
無回答	1332	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

乱用目的で処方薬を使用しましたか？	n	%
はい	27	3.0%
いいえ	869	97.0%
小計	896	100.0%
非該当	3838	
無回答	1337	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

一度に 2 種類以上の薬物を使用しましたか？	n	%
はい	48	5.4%
いいえ	844	94.6%
小計	892	100.0%
非該当	3838	
無回答	1341	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物を使わずに 1 週間を過ごすことができますか？	n	%
はい	787	89.1%
いいえ	96	10.9%
小計	883	100.0%
非該当	3838	
無回答	1350	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用を止めたいときには、いつでも止められますか？	n	%
はい	771	88.6%
いいえ	99	11.4%
小計	870	100.0%
非該当	3838	
無回答	1363	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

ブラックアウト（記憶が飛んでしまうこと）やフラッシュバック（薬を使っていないのに、使っているような幻覚におそわれること）を経験しましたか？	n	%
はい	72	8.2%
いいえ	805	91.8%
小計	877	100.0%
非該当	3838	
無回答	1356	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用に対して、後悔や罪悪感を感じたことはありますか？	n	%
はい	361	41.7%
いいえ	505	58.3%
小計	866	100.0%
非該当	3838	
無回答	1367	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

あなたのパートナーや家族が、あなたの薬物使用に対して愚痴をこぼしたことがありますか？	n	%
はい	48	5.5%
いいえ	822	94.5%
小計	870	100.0%
非該当	3838	
無回答	1363	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用により、あなたとパートナーや家族との間に問題が生じたことがありますか？	n	%
はい	64	7.3%
いいえ	807	92.7%
小計	871	100.0%
非該当	3838	
無回答	1362	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用のせいで友達を失ったことがありますか？	n	%
はい	49	5.6%
いいえ	821	94.4%
小計	870	100.0%
非該当	3838	
無回答	1363	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用のせいで、パートナーや家族をほったらかしにしたことがありますか？	n	%
はい	44	5.1%
いいえ	825	94.9%
小計	869	100.0%
非該当	3838	
無回答	1364	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用のせいで、仕事(あるいは学業)でトラブルが生じたことがありますか？	n	%
はい	64	7.4%
いいえ	806	92.6%
小計	870	100.0%
非該当	3838	
無回答	1363	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用のせいで、仕事を失ったことがありますか？	n	%
はい	41	4.7%
いいえ	830	95.3%
小計	871	100.0%
非該当	3838	
無回答	1362	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物の影響を受けている時に、ケンカをしたことがありますか？	n	%
はい	31	3.6%
いいえ	839	96.4%
小計	870	100.0%
非該当	3838	
無回答	1363	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物を手に入れるために、違法な活動をしたことがありますか？	n	%
はい	29	3.3%
いいえ	841	96.7%
小計	870	100.0%
非該当	3838	
無回答	1363	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

違法薬物を所持して、逮捕されたことがありますか？	n	%
はい	33	3.8%
いいえ	838	96.2%
小計	871	100.0%
非該当	3838	
無回答	1362	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用を中断した時に、禁断症状(気分が悪くなったり、イライラがひどくなったりすること)を経験したことがありますか？	n	%
はい	31	3.6%
いいえ	840	96.4%
小計	871	100.0%
非該当	3838	
無回答	1362	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用の結果、医学的な問題(例えば、記憶喪失、肝炎、けいれん、出血など)を経験したことがありますか？	n	%
はい	23	2.6%
いいえ	847	97.4%
小計	870	100.0%
非該当	3838	
無回答	1363	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物問題を解決するために、誰かに助けを求めたことがありますか？	n	%
はい	43	5.0%
いいえ	825	95.0%
小計	868	100.0%
非該当	3838	
無回答	1365	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

薬物使用に対する治療プログラムを受けたことがありますか？	n	%
はい	28	3.2%
いいえ	841	96.8%
小計	869	100.0%
非該当	3838	
無回答	1364	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

インターネット等で海外から薬物を購入したことがありますか？	n	%
はい	78	8.9%
いいえ	795	91.1%
小計	873	100.0%
非該当	3838	
無回答	1360	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

海外で薬物を購入したことがありますか？	n	%
はい	102	11.7%
いいえ	770	88.3%
小計	872	100.0%
非該当	3838	
無回答	1361	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

DAST-20 スコア	n	%
0 点	281	33.7%
1-5 点(軽度)	493	59.1%
6-10 点(中度)	34	4.1%
11-15 点(相当程度)	25	3.0%
16 点以上(重度)	1	0.1%
小計	834	100.0%
非該当	3838	
無回答	1399	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。また、Q87 の全ての質問に回答した 834 名のスコアを算出している。尚、DAST-20 は薬物乱用の重症度を測定する尺度である。

88. 過去 6 か月間に、薬物使用に関する健康上の問題で誰かに相談したいのに相談できなかったことはありますか？

	n	%
ある(相談できなかった)	18	2.0%
ない(相談できた)	66	7.3%
ない(相談したくなるような問題はなかった)	819	90.7%
小計	903	100.0%
非該当	3838	
無回答	1330	
合計	6071	

Q78 で「いいえ」と回答した 3838 名を非該当とした。

89 は自由記述式質問のため省略

90. ドラッグ・薬物を使う理由について、あてはまるものを選んでください。一度も使ったことがない人は、想像で答えてください。

セックスの快感を高めるため	n	%
そう思う	2415	51.3%
ややそう思う	1437	30.5%
あまりそう思わない	235	5.0%
そう思わない	618	13.1%
小計	4705	100.0%
無回答	1366	
合計	6071	

アナルセックスの痛みを軽減させるため	n	%
そう思う	1431	30.4%
ややそう思う	1360	28.9%
あまりそう思わない	907	19.3%
そう思わない	1002	21.3%
小計	4700	100.0%
無回答	1371	
合計	6071	

セックスの不安や恐れを解消させるため	n	%
そう思う	913	19.4%
ややそう思う	972	20.7%
あまりそう思わない	1185	25.2%
そう思わない	1633	34.7%
小計	4703	100.0%
無回答	1368	
合計	6071	

相手との性的関係を維持するため	n	%
そう思う	668	14.2%
ややそう思う	1008	21.4%
あまりそう思わない	1231	26.1%
そう思わない	1801	38.3%
小計	4708	100.0%
無回答	1363	
合計	6071	

現実からの逃避、精神的不安を軽減するため	n	%
そう思う	2134	45.3%
ややそう思う	1295	27.5%
あまりそう思わない	423	9.0%
そう思わない	860	18.3%
小計	4712	100.0%
無回答	1359	
合計	6071	

クラブで音楽や映像への感度を高めるため	n	%
そう思う	823	17.5%
ややそう思う	1328	28.3%
あまりそう思わない	1060	22.6%
そう思わない	1488	31.7%
小計	4699	100.0%
無回答	1372	
合計	6071	

薬物をすすめる相手と親密になるため	n	%
そう思う	598	12.7%
ややそう思う	1277	27.1%
あまりそう思わない	1057	22.5%
そう思わない	1773	37.7%
小計	4705	100.0%
無回答	1366	
合計	6071	

91. 生活に支障がでるほどのめりこんだ行為はありますか？　※複数選択可

	n	%
ギャンブル	422	9.1%
買い物	546	11.7%
ゲーム	652	14.0%
インターネット	474	10.2%
セックス	620	13.3%
摂食(拒食・過食嘔吐)	127	2.7%
リストカット	65	1.4%
万引き・窃盗	38	0.8%
その他	90	1.9%
上記のいずれもない	2795	60.1%
全体	4647	
無回答	1424	
合計	6071	

「上記のいずれもない」を選択した回答者は他の選択肢を選べない設定となっている。

92. あなたの個人的なことについてお尋ねします。

これまでに住む家がなくなった経験がありますか？	n	%
過去6か月未満前にあった	25	0.5%
6か月以上前にあった	160	3.4%
一度もない	4475	96.0%
小計	4660	100.0%
無回答	1411	
合計	6071	

これまでにセックスをすることで金銭を受け取ったことがありますか？	n	%
過去6か月未満前にあった	166	3.6%
6か月以上前にあった	772	16.6%
一度もない	3723	79.9%
小計	4661	100.0%
無回答	1410	
合計	6071	

これまでにセックスをするために金銭を支払ったことがありますか？	n	%
過去6か月未満前にあった	459	9.9%
6か月以上前にあった	870	18.7%
一度もない	3327	71.5%
小計	4656	100.0%
無回答	1415	
合計	6071	

93. 18 歳までに体験したことを教えてください。

ホモ、オカマ、おとこ女など、自分のセクシュアリティやジェンダーに関連したいじめを受けたことがある。	n	%
はい	2342	50.2%
いいえ	2320	49.8%
小計	4662	100.0%
無回答	1409	
合計	6071	

自分のセクシュアリティやジェンダーとは関係のないいじめを受けたことがある。	n	%
はい	2262	48.6%
いいえ	2397	51.4%
小計	4659	100.0%
無回答	1412	
合計	6071	

十分な食事が与えられない、衣服が汚れている、あるいは守ってくれる人や世話してくれる人がいないとしばしば感じた。	n	%
はい	184	4.0%
いいえ	4471	96.0%
小計	4655	100.0%
無回答	1416	
合計	6071	

離婚、育児放棄、死亡などの理由で、親をなくした。	n	%
はい	552	11.9%
いいえ	4104	88.1%
小計	4656	100.0%
無回答	1415	
合計	6071	

うつ病、精神疾患、自殺未遂をした人と生活していたことがある。	n	%
はい	562	12.1%
いいえ	4092	87.9%
小計	4654	100.0%
無回答	1417	
合計	6071	

アルコール中毒や薬物中毒(処方薬を含む)を患っている人と生活していたことがある。	n	%
はい	268	5.8%
いいえ	4387	94.2%
小計	4655	100.0%
無回答	1416	
合計	6071	

家にいる親や大人が、しばしばお互いに突き飛ばしたり、殴ったり、叩いたり、あるいは危害を加えたり、脅したりしたことがある。	n	%
はい	705	15.2%
いいえ	3942	84.8%
小計	4647	100.0%
無回答	1424	
合計	6071	

収監された、あるいは実刑判決を受けた人と生活したことがある。	n	%
はい	112	2.4%
いいえ	4546	97.6%
小計	4658	100.0%
無回答	1413	
合計	6071	

家にいる親や大人が、しばしばあなたを罵ったり、侮辱したり、けなしたことがある。	n	%
はい	830	17.9%
いいえ	3815	82.1%
小計	4645	100.0%
無回答	1426	
合計	6071	

家にいる親や大人が、あなたを叩く、殴る、蹴るなどの肉体的な暴力を加えたことがある。	n	%
はい	1007	21.7%
いいえ	3641	78.3%
小計	4648	100.0%
無回答	1423	
合計	6071	

家族のだれからも愛されている、あるいは特別な存在だと思われたことがないと感じたことがしばしばある。	n	%
はい	703	15.1%
いいえ	3951	84.9%
小計	4654	100.0%
無回答	1417	
合計	6071	

大人もしくはあなたより 5 歳以上年上の人が一度でも自分が望まない性的接触（愛撫、あるいは口内 / 肛門 / 膣内の性交 / 挿入など）を強制されたことがある。	n	%
はい	368	7.9%
いいえ	4279	92.1%
小計	4647	100.0%
無回答	1424	
合計	6071	

94. 18 歳までに体験したことを教えてください。

家族に気持ちを打ち明けることができた	n	%
はい	1652	35.6%
いいえ	2992	64.4%
小計	4644	100.0%
無回答	1427	
合計	6071	

困難なときに家族が味方してくれたと感じた	n	%
はい	3106	67.0%
いいえ	1533	33.0%
小計	4639	100.0%
無回答	1432	
合計	6071	

地域の伝統行事に楽しく参加できた	n	%
はい	2409	51.9%
いいえ	2229	48.1%
小計	4638	100.0%
無回答	1433	
合計	6071	

高校時代に帰属意識を感じた（不登校やホームスクールに通っていた人は含まない）	n	%
はい	2177	47.3%
いいえ	2428	52.7%
小計	4605	100.0%
無回答	1466	
合計	6071	

友人に支えられていると感じた	n	%
はい	3215	69.4%
いいえ	1420	30.6%
小計	4635	100.0%
無回答	1436	
合計	6071	

自分に心から関心を持ってくれる親以外の大人が 2 人以上いた	n	%
はい	2436	52.5%
いいえ	2204	47.5%
小計	4640	100.0%
無回答	1431	
合計	6071	

家の中で大人に安全に守られていると感じた	n	%
はい	3433	74.1%
いいえ	1202	25.9%
小計	4635	100.0%
無回答	1436	
合計	6071	

（2）ゲイコミュニティにおける性行動および予防啓発に関する動向の把握と効果評価

研究分担者：塩野 徳史（大阪青山大学健康科学部看護学科）
研究協力者：金子 典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科）
岩橋 恒太（特定非営利活動法人akta）

研究要旨

本年度は、インターネットのモニター登録者を対象に２段層化抽出法を用いて同様の質問項目で調査を実施し、MSMの全体像を把握しようと試みた。ゲイバー・クラブ・ショップのいずれかを利用している人の割合は全体で35.2%、ハッテン場のみの利用は5.2%、売り専のみの利用は2.5%であり、ネットのみの利用者は14.9%であり、商業施設利用者と重なることが示された。いずれも利用なしが43.3%と最も多く、次いでいずれも利用が28.3%であり、いずれも利用が最も感染リスクの高い層で、初年度と結果とほぼ同じ傾向が示された。

コミュニティセンター利用率は全体で18.1%であるが、啓発対象となっている地域居住者でかつ、商業施設およびネットのいずれも利用者ではZEL28.0%、akta31.3%、rise26.1%、dista26.1%、HACO25.7%、mabui25.0%となり概ね３人から４人に１人が利用していることが示唆された。

A 研究目的

これまでに各地域のゲイコミュニティはオールジャパンで予防啓発に関するネットワークを構築し、啓発活動の共有基盤を築いた。一方で2020年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、ゲイコミュニティの活動にも大きな影響を及ぼしていることが実体験として報告されており、性行動やHIV感染症や性感染症に関する予防行動も変容している可能性がある。そのため、コミュニティセンターのない地域も含め、性行動と予防啓発の浸透度を可視化し、効果評価を継続する必要がある。

本研究では先行研究で構築したネットワークを活用し、同様の手法で、複数起点の量的調査を実施し、多面的にゲイコミュニティの全体像を経年的に把握することを目的とした。新型コロナウイルス感染症流行の影響に注視し、ゲイコミュニティにおける予防啓発の効果評価として３年間毎年行う。さらに薬物使用者、若年層など啓発が届いていない層を対象に、次年度以降、予防啓発の方法を検討し、試行することとした。

B 研究方法

２年度目はコミュニティセンターにおけるHIV感染予防啓発活動の効果測定の指標として利用者の予防意識・行動（コンドーム使用、PrEP、U=U、検査行動等）を調査する質問紙を作成し、予防啓発に関わりのない日本のインターネットサイトを運営するA社が保有するアンケートモニター登録者を対象にスクリーニングする調査を行い、次いで性行動や検査行動などに関して、２次調査（以下、本調査）を2023年１月に実施した。

平成27年度国勢調査を基に、47都道府県と年齢階級によって層化し20歳から59歳の女性を比例配分し、その割合に基づきA社保有のニター登録者のうち成人男性を対象にしてスクリーニング調査を実施した。スクリーニング調査では性別、年齢、居住地、性行動、性感染症既往歴、PrEPに関する経験、検査受検行動、HIVや性感染症、検査に関する知識、エイズにかかわるこれまでの経験の15問を尋ねた。そして「これまでに同性と性交渉（セックス）をした経験」のある男性を対象に本調査を実施した。

本調査の質問項目は基本属性の他、HIV や性感染症に関する知識や意識、過去 6 ヶ月間の HIV やエイズに関する対話経験、検査行動、性感染症既往歴、性行動などを尋ねた。分析では初年度と同様に居住地域別にクロス集計を行った。また先行研究と比較するためゲイ向け商業施設などの利用をもとにコミュニティのみの利用とネットのみの利用、いずれも利用、いずれも利用なしの 4 群に分類し、解析を進めた。統計的有意差はカイ 2 乗検定を用いて検討した。有意水準を 5%未満とした。データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 23（Windows）を用いた。

（倫理面への配慮）

本研究実施については大阪青山大学研究倫理審査委員会より実施の承認を得た。

C 研究結果

1. スクリーニング調査の結果

スクリーニング調査の有効回答は男性 94,011 人であった。このうち、同性と性交経験のある男性は 5,459 人（5.8%）であった。これまでに相手にお金を払って性交渉をした経験を有する人は 39,044 人（41.5%）であり、これまでに相手からお金をもらって性交渉をした経験を有する人は 2,627 人（2.8%）であった。HIV 陽性と回答した人は 281 人 0.3% であった。

2. 基本属性

分析対象となった 5,010 人を居住している都道府県で次の 13 ブロックに分類し、集計した。内訳は、北海道 195 人（3.9%）、東北 6 県 326 人（6.5%）、北

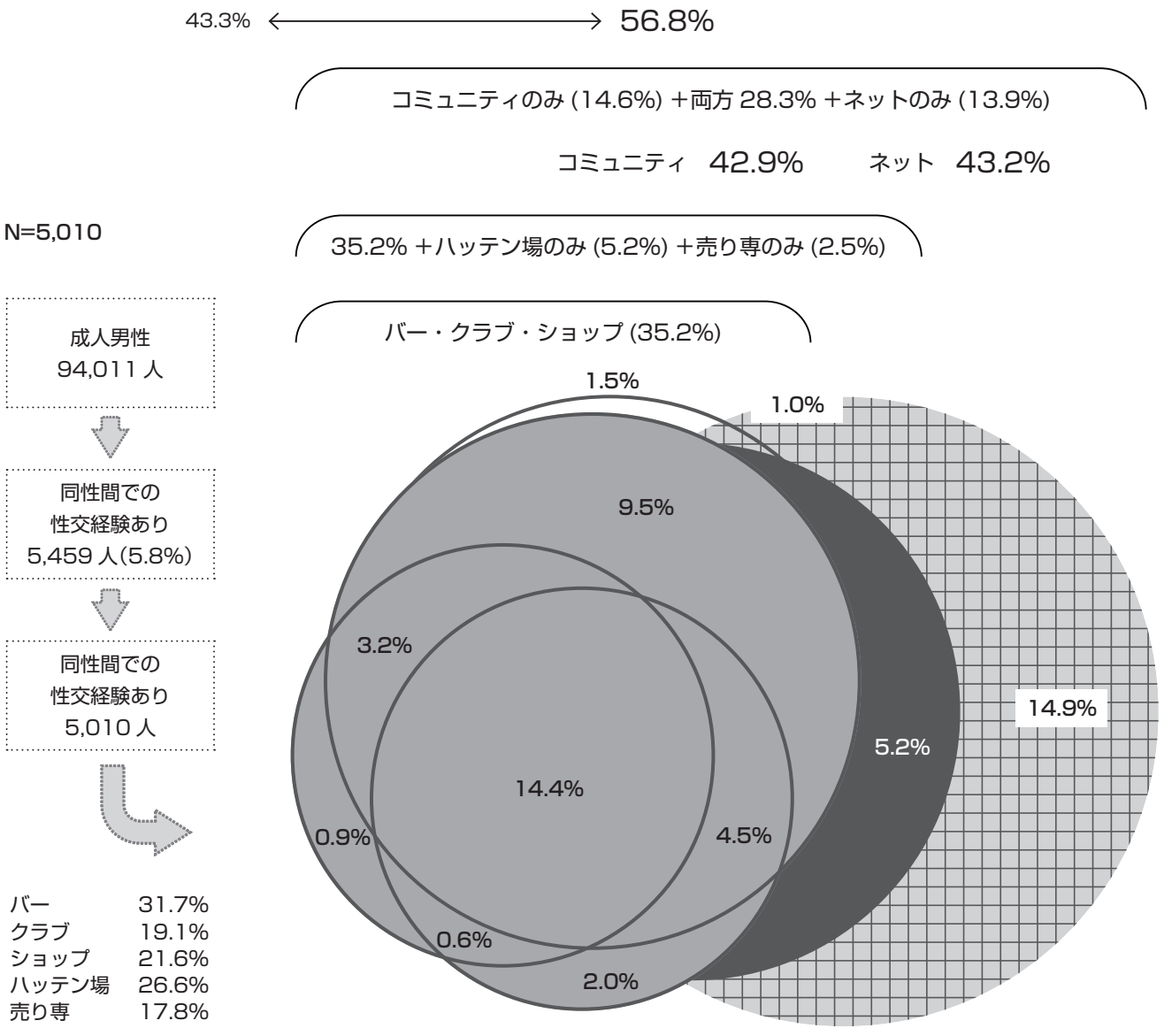

図 2.1　MSM における商業施設利用と SNS・インターネット利用の全体像

関東3県247人(4.9%)、東京都698人(13.9%)、南関東3県979人(19.5%)、甲信越3県172人(3.4%)、北陸3県113人(2.3%)、東海4県596人(11.9%)、近畿2府4県802人(16.0%)、中国5県263人(5.2%)、四国4県135人(2.7%)、九州7県425人(8.5%)、沖縄県59人(1.2%)であった。

年齢層では20-29歳11.5%、30-39歳25.7%、40-49歳33.4%、50-59歳29.3%であった。

居住地について中心市街地に住んでいる人は37.4%、郊外住宅地に住んでいる人は52.6%で、農村・漁村に住んでいる人は6.6%であった。同居の割合は全体で68.3%であった。

この1年間の状況について、普段の生活において経済的なことや生活で困ることがあったと回答した人は38.6%、医療費の支払いに不安を感じたことがあったと回答した人は33.5%、家計の支払い(税金、保険料、通信費、電気代、クレジットカードなど)に困ったことがあったと回答した人は40.5%、食事に費やすお金が足りないために、家族の誰かが空腹な思いをしたことがあったと回答した人は23.0%であった。

3. ゲイ向け商業施設の利用

ゲイ向け商業施設の利用について、これまでにゲイバーを利用したと回答した人の割合は全体で31.7%、商業施設利用別では、いずれも利用で79.3%でありもっとも多かった。過去6ヶ月間では全体で7.8%、商業施設利用者では22.7%であった。また、これまでに有料のハッテン場を利用したと回答した人の割合は全体で21.4%、商業施設利用別では、いずれも利用で62.8%でありもっとも多かった。過去6ヶ月間では全体で5.6%、商業施設利用者では14.3%であった。

ゲイ向け商業施設の中でもアウトリーチ活動の主な対象であるゲイバー・クラブ・ショップのいずれかを利用している人の割合は全体で35.2%、有料のハッテン場を利用の割合は26.6%、売り専の利用は17.8%であり、ハッテン場のみの利用は5.2%、売り専のみの利用は2.5%であった。したがってゲイ向け商業施設利用者は42.9%であった。一方SNSや掲示板等インターネットを利用したことがある人は全体で43.2%であり、ネットのみの利用者は14.9%であった。(図2.1)

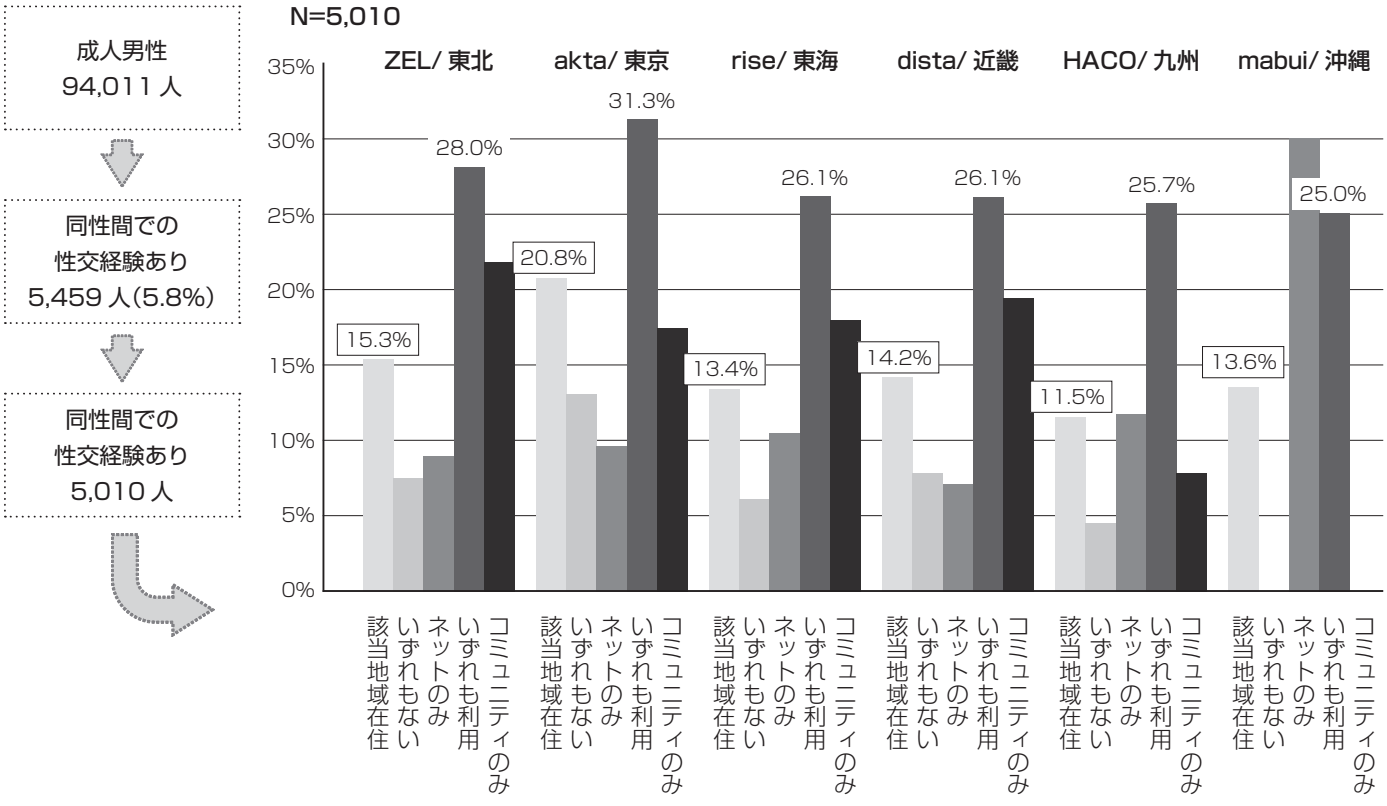

図2.2　地域別・商業施設利用別のコミュニティセンター訪問割合

これらの結果をもとに商業施設利用別では、コミュニティのみの利用(n=730,14.6%)とネットのみの利用(n=694,13.9%)、いずれも利用(n=1,418,28.3%)、いずれも利用なし(n=2,168,43.3%)に分類した。セクシュアリティをゲイと回答している人の割合は 16.3% であった。商業施設の利用経験別には、ゲイと回答している人の割合は、コミュニティのみ利用者で 15.3%、いずれも利用で 43.2%、ネットのみ利用者で 8.2%、いずれも利用なしでは 1.6% であった。

4. 予防啓発活動の認知

コミュニティセンターの認知率は ZEL（仙台）、akta（東京）、rise（名古屋）、dista（大阪）、HACO（福岡）、mabui（沖縄）のいずれかのセンターを訪れたことがある人の割合は、全体で 18.1% であり、居住地域によって異なり、啓発対象となっている地域居住者では ZEL15.3%、akta20.8%、rise13.4%、dista14.2%、HACO11.5%、mabui13.6% であった。商業施設利用別には、いずれもなし、ネットのみ利用、コミュニティのみ利用、いずれも利用者の順に ZEL：7.5%、8.9%、21.8%、28.0%、akta：13.1%、9.6%、17.5%、31.3%、rise：6.1%、10.5%、17.9%、26.1%、dista：7.8%、7.1%、19.4%、26.1%、HACO：4.6%、11.8%、7.8%、25.7%、mabui：0.0%、30.0%、0.0%、25.0% であった。(図 2.2)

5.HIV 抗体検査受検経験

HIV 抗体検査受検経験についてこれまでにあると回答した人の割合は全体で 30.7% であり、地域別には東京が 42.6% と最も高く、次いで沖縄 42.4%、北関東 33.6%、南関東 31.3% であった。商業施設利用別には、いずれも利用で 61.6%、コミュニティのみで 29.7%、ネットのみで 27.5%、いずれもないで 11.9% であった。これまでの受検場所では保健所 16.8%、病院・クリニック 12.1%、郵送検査・自己検査キット 4.6% であった。

6. 性行動

過去 6 ヶ月間に男性とセックスしたことがある人の割合は全体で 24.4%、このうち、アナルセックスをしたことがある割合は 82.9% であった。

商業施設利用別には、過去 6 ヶ月間に男性とセックスしたことがある人の割合はいずれも利用で 61.4%、コミュニティのみ利用で 19.3%、ネットのみ利用で 19.6%、いずれもないで 3.3% であった。このうち、アナルセックスをしたことがある割合はいずれも利用で 83.8%、コミュニティのみ利用で 77.3%、ネットのみ利用で 86.0%、いずれもないで 76.4% であった。また、過去 6 ヶ月間に複数人でセックスしたことがある人の割合は全体で 35.1%、外国籍の人とセックスしたことがある人の割合は 26.1% であった。アナルセックス時のコンドーム使用行動では、常用割合は全体で 31.5%、相手別には彼氏や恋人等特定の相手では 35.1%、友達やセクフレなどの相手では 29.4%、その場限りの相手では 34.7% であった。商業施設利用別には、いずれも利用で 25.9%、コミュニティのみ利用で 48.6%、ネットのみ利用で 39.3%、いずれもないで 54.5% であり、相手別にみると彼氏や恋人等特定の相手では 31.7%、40.4%、45.8%、46.2%、友達やセクフレなどの相手では 25.8%、40.9%、41.3%、46.2%、その場限りの相手では 28.9%、56.6%、42.6%、75.0% であった。

7.PrEP の利用

「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬(PrEP, プレップ)」について情報をとてもよく知っていると回答した人の割合は全体で 11.5%、地域別に有意差がみられ、東京都で最も多く 16.2%、次いで北陸 15.0% であった。商業施設利用別ではいずれも利用が 25.5%、コミュニティのみ利用が 9.9%、ネットのみ利用が 7.8%、いずれもないが 4.1% であった。これまでの利用割合は全体で 10.4%、商業施設利用別ではいずれも利用が 22.4%、コミュニティのみ利用が 12.2%、ネットのみ利用が 6.1%、いずれもないが 3.3% であった。過去 6 ヶ月間の利用割合は全体で 3.6%、商業施設利用別ではいずれも利用が 10.2%、コミュニティのみ利用が 1.6%、ネットのみ利用が 1.9%、いずれもないが 0.5% であった。

8. 薬物の使用

過去 6 か月間のセックス時の服薬経験について尋ねたところ、全体で 7.2%、ぼっ起薬のみが 9.3% であった。薬物の種類で最も多かったのは、ラッシュが

2.9%、次いで GHB が 2.0%、5MEO-DIPT が 1.8% であった。商業施設利用別には、薬物併用と回答した人の割合は、いずれも利用 14.6%、コミュニティのみ利用 11.6%、ネットのみ利用 3.9%、いずれもない 1.8% であった。

D 考察

初年度目はコミュニティセンターにおける HIV 感染予防啓発活動の効果測定の指標として利用者の予防意識・行動(コンドーム使用、PrEP、U=U、検査行動等)を調査する質問紙を作成し、全国の 6 センター、センターのない 3 地域の NPO 及び SNS で調査を実施し分析した。本年度は、インターネットのモニター登録者を対象に 2 段層化抽出法を用いて同様の質問項目で調査を実施し、MSM の全体像を把握しようと試みた。

ゲイバー・クラブ・ショップのいずれかを利用している人の割合は全体で 35.2%、ハッテン場のみの利用は 5.2%、売り専のみの利用は 2.5% であり、商業施設利用者はおおむね重なっていることが示された。また、ネットのみの利用者は 14.9% であり、商業施設利用者と重なることも示された。

これらの結果をもとに商業施設利用別に解析したところ、いずれも利用なしが 43.3% と最も多く、次いでいずれも利用が 28.3% であり、性行動および検査行動、PrEP の使用、薬物併用等を比較すると、いずれも利用が最も感染リスクの高い層で、初年度と結果とほぼ同じ傾向が示された。

コミュニティセンター利用率は全体で 18.1% であるが、啓発対象となっている地域居住者でかつ、商業施設およびネットのいずれも利用者では ZEL28.0%、akta31.3%、rise26.1%、dista26.1%、HACO25.7%、mabui25.0% となり概ね 3 人から 4 人に 1 人が利用していることが示唆された。

E 結論

初年度目はコミュニティセンターを基点とした調査にて、本年度は 2 段層化抽出法により MSM の全体像を把握した。コミュニティセンターの啓発は商業施設やネットのいずれも利用する層で普及していることが示唆されたが、コンドーム使用状況は低下しており、その背景を探り対策を講じる必要がある。

F 研究発表

1. 論文発表

1)宮田りりぃ , ○塩野徳史 , 金子代 .MSM(Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察 - ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から . 日本エイズ学会誌 . 23(1) : 18-25, 2021

2)金子典代 , ○塩野徳史 : コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌 , 23(2), 78-86, 2021

3)金子典代 , ○塩野徳史 . MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義 . 日本エイズ学会誌 , 22(3): 136-146, 2021.

2. 学会発表

1)○塩野徳史 . 日本のセクシュアルヘルスと予防啓発 - 社会が担う役割 -. 日本エイズ学会 2022 年 浜松

2)○塩野徳史 . コミュニティにおけるコンドーム使用行動と PrEP 利用 . 日本エイズ学会 2022 年 浜松

3)○塩野徳史. コミュニティと予防介入の新たな戦略. 日本エイズ学会 2021 年 東京

4)○塩野徳史 . HIV 予防とヘルスリテラシー. 日本エイズ学会 2020 年 千葉

G 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表 2.1　地域別分析　属性

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
年齢階級												
29 歳以下	21	10.8%	34	10.4%	23	9.3%	93	13.3%	119	12.2%	21	12.2%
30-39 歳	50	25.6%	86	26.4%	69	27.9%	189	27.1%	253	25.8%	41	23.8%
40-49 歳	69	35.4%	112	34.4%	88	35.6%	216	30.9%	324	33.1%	59	34.3%
50 歳以上	55	28.2%	94	28.8%	67	27.1%	200	28.7%	283	28.9%	51	29.7%
あなたは、現在結婚していますか。												
女性と結婚	103	52.8%	148	45.4%	137	55.5%	267	38.3%	492	50.3%	80	46.5%
パートナーと養子縁組	2	1.0%	5	1.5%	5	2.0%	7	1.0%	11	1.1%	2	1.2%
パートナーシップ制度の利用	4	2.1%	14	4.3%	10	4.0%	20	2.9%	16	1.6%	2	1.2%
離別	15	7.7%	19	5.8%	12	4.9%	32	4.6%	52	5.3%	12	7.0%
死別	3	1.5%	8	2.5%	3	1.2%	3	0.4%	6	0.6%	2	1.2%
未婚	68	34.9%	132	40.5%	80	32.4%	369	52.9%	402	41.1%	74	43.0%
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。												
中心市街地	88	45.1%	82	25.2%	56	22.7%	472	67.6%	322	32.9%	41	23.8%
郊外住宅地	88	45.1%	158	48.5%	143	57.9%	207	29.7%	613	62.6%	93	54.1%
農村地域・漁村地域	12	6.2%	62	19.0%	34	13.8%	11	1.6%	26	2.7%	22	12.8%
山間部	5	2.6%	18	5.5%	10	4.0%	3	0.4%	10	1.0%	13	7.6%
離島	2	1.0%	6	1.8%	4	1.6%	4	0.6%	8	0.8%	2	1.2%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.6%
あなたは、現在、一人暮らしですか。												
はい(一人暮らし)	58	29.7%	93	28.5%	59	23.9%	322	46.1%	283	28.9%	48	27.9%
いいえ	134	68.7%	223	68.4%	187	75.7%	370	53.0%	689	70.4%	124	72.1%
定住している家はない	3	1.5%	10	3.1%	1	0.4%	6	0.9%	7	0.7%	0	0.0%
あなたの性別を表す表現として最も近いのはどれですか。												
男性	183	93.8%	297	91.1%	224	90.7%	657	94.1%	928	94.8%	162	94.2%
女性として生まれたが男性(FtM)	3	1.5%	6	1.8%	6	2.4%	8	1.1%	18	1.8%	5	2.9%
男性として生まれたが女性(MtF)	7	3.6%	16	4.9%	9	3.6%	24	3.4%	24	2.5%	2	1.2%
女性	2	1.0%	7	2.1%	5	2.0%	4	0.6%	4	0.4%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%	5	0.7%	5	0.5%	3	1.7%
あなたのセクシュアリティ（性的指向、どの性別の人に性的に惹かれるか)を表す表現として最も近いのはどれですか。												
ゲイ・レズビアン(同性愛者)	26	13.3%	50	15.3%	37	15.0%	177	25.4%	157	16.0%	23	13.4%
バイセクシュアル(両性愛者)	26	13.3%	59	18.1%	35	14.2%	108	15.5%	140	14.3%	23	13.4%
ヘテロセクシュアル(異性愛者)	107	54.9%	160	49.1%	123	49.8%	301	43.1%	502	51.3%	91	52.9%
わからない	27	13.8%	44	13.5%	41	16.6%	74	10.6%	123	12.6%	25	14.5%
決めたくない	9	4.6%	13	4.0%	11	4.5%	37	5.3%	55	5.6%	9	5.2%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.2%	1	0.6%
あなたが、これまでに性交渉(セックス)をした相手の性別は次のどれに該当しますか。												
同性のみ	114	58.5%	175	53.7%	155	62.8%	399	57.2%	527	53.8%	105	61.0%
同性と異性の両方	81	41.5%	151	46.3%	92	37.2%	299	42.8%	452	46.2%	67	39.0%
最終学歴												
中学校	8	4.1%	13	4.0%	6	2.4%	18	2.6%	24	2.5%	4	2.3%
高等学校	46	23.6%	99	30.4%	68	27.5%	103	14.8%	191	19.5%	41	23.8%
専門学校 / 短大 / 高専	53	27.2%	62	19.0%	48	19.4%	99	14.2%	131	13.4%	35	20.3%
大学 / 大学院	87	44.6%	152	46.6%	125	50.6%	476	68.2%	633	64.7%	91	52.9%
その他	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%	0	0.0%	1	0.6%

北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
11	9.7%	63	10.6%	102	12.7%	31	11.8%	14	10.4%	41	9.6%	4	6.8%	577	11.5%	1.00
29	25.7%	162	27.2%	198	24.7%	60	22.8%	31	23.0%	105	24.7%	17	28.8%	1,290	25.7%	
38	33.6%	189	31.7%	267	33.3%	92	35.0%	51	37.8%	150	35.3%	20	33.9%	1,675	33.4%	
35	31.0%	182	30.5%	235	29.3%	80	30.4%	39	28.9%	129	30.4%	18	30.5%	1,468	29.3%	
65	57.5%	332	55.7%	391	48.8%	153	58.2%	69	51.1%	229	53.9%	18	30.5%	2,484	49.6%	0.00
1	0.9%	4	0.7%	7	0.9%	1	0.4%	1	0.7%	9	2.1%	1	1.7%	56	1.1%	
4	3.5%	10	1.7%	12	1.5%	0	0.0%	3	2.2%	5	1.2%	1	1.7%	101	2.0%	
8	7.1%	30	5.0%	57	7.1%	16	6.1%	6	4.4%	35	8.2%	3	5.1%	297	5.9%	
1	0.9%	7	1.2%	9	1.1%	1	0.4%	1	0.7%	4	0.9%	0	0.0%	48	1.0%	
34	30.1%	213	35.7%	326	40.6%	92	35.0%	55	40.7%	143	33.6%	36	61.0%	2,024	40.4%	
38	33.6%	165	27.7%	326	40.6%	83	31.6%	31	23.0%	145	34.1%	25	42.4%	1,874	37.4%	0.00
59	52.2%	374	62.8%	421	52.5%	146	55.5%	76	56.3%	224	52.7%	31	52.5%	2,633	52.6%	
12	10.6%	41	6.9%	33	4.1%	19	7.2%	20	14.8%	35	8.2%	2	3.4%	329	6.6%	
4	3.5%	13	2.2%	13	1.6%	11	4.2%	7	5.2%	11	2.6%	0	0.0%	118	2.4%	
0	0.0%	2	0.3%	7	0.9%	4	1.5%	1	0.7%	10	2.4%	1	1.7%	51	1.0%	
0	0.0%	1	0.2%	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.1%	
26	23.0%	162	27.2%	233	29.1%	72	27.4%	41	30.4%	124	29.2%	25	42.4%	1,546	30.9%	0.00
87	77.0%	433	72.7%	561	70.0%	190	72.2%	92	68.1%	300	70.6%	34	57.6%	3,424	68.3%	
0	0.0%	1	0.2%	8	1.0%	1	0.4%	2	1.5%	1	0.2%	0	0.0%	40	0.8%	
106	93.8%	557	93.5%	762	95.0%	253	96.2%	127	94.1%	405	95.3%	58	98.3%	4,719	94.2%	0.12
2	1.8%	15	2.5%	11	1.4%	5	1.9%	3	2.2%	8	1.9%	0	0.0%	90	1.8%	
4	3.5%	18	3.0%	19	2.4%	2	0.8%	2	1.5%	9	2.1%	0	0.0%	136	2.7%	
0	0.0%	3	0.5%	5	0.6%	1	0.4%	2	1.5%	2	0.5%	0	0.0%	35	0.7%	
1	0.9%	3	0.5%	5	0.6%	2	0.8%	1	0.7%	1	0.2%	1	1.7%	30	0.6%	
11	9.7%	81	13.6%	128	16.0%	34	12.9%	12	8.9%	62	14.6%	19	32.2%	817	16.3%	0.00
17	15.0%	86	14.4%	101	12.6%	35	13.3%	28	20.7%	48	11.3%	11	18.6%	717	14.3%	
52	46.0%	311	52.2%	412	51.4%	149	56.7%	55	40.7%	230	54.1%	21	35.6%	2,514	50.2%	
26	23.0%	86	14.4%	111	13.8%	31	11.8%	20	14.8%	55	12.9%	7	11.9%	670	13.4%	
6	5.3%	31	5.2%	47	5.9%	14	5.3%	20	14.8%	28	6.6%	1	1.7%	281	5.6%	
1	0.9%	1	0.2%	3	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	11	0.2%	
60	53.1%	330	55.4%	438	54.6%	141	53.6%	79	58.5%	260	61.2%	31	52.5%	2,814	56.2%	0.16
53	46.9%	266	44.6%	364	45.4%	122	46.4%	56	41.5%	165	38.8%	28	47.5%	2,196	43.8%	
1	0.9%	20	3.4%	24	3.0%	9	3.4%	12	8.9%	11	2.6%	3	5.1%	153	3.1%	0.00
24	21.2%	131	22.0%	187	23.3%	64	24.3%	31	23.0%	97	22.8%	13	22.0%	1,095	21.9%	
21	18.6%	91	15.3%	121	15.1%	36	13.7%	20	14.8%	76	17.9%	15	25.4%	808	16.1%	
67	59.3%	353	59.2%	470	58.6%	153	58.2%	71	52.6%	241	56.7%	28	47.5%	2,947	58.8%	
0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.1%	

表 2.2　地域別分析　就業形態・この 1 年間の経験

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか。												
学生	4	2.1%	6	1.8%	3	1.2%	12	1.7%	21	2.1%	4	2.3%
企業・団体の役員	6	3.1%	17	5.2%	9	3.6%	28	4.0%	38	3.9%	9	5.2%
企業団体の正規社員 / 職員	94	48.2%	152	46.6%	137	55.5%	426	61.0%	577	58.9%	98	57.0%
公務員	30	15.4%	47	14.4%	29	11.7%	41	5.9%	90	9.2%	17	9.9%
自営業主(個人・家族経営)	16	8.2%	24	7.4%	25	10.1%	61	8.7%	80	8.2%	18	10.5%
事業主(従業員を雇用)	4	2.1%	9	2.8%	5	2.0%	7	1.0%	7	0.7%	1	0.6%
臨時・契約・嘱託社員 / 職員	10	5.1%	15	4.6%	5	2.0%	21	3.0%	24	2.5%	5	2.9%
派遣社員 / 職員	2	1.0%	14	4.3%	6	2.4%	23	3.3%	37	3.8%	2	1.2%
請負社員 / 職員	0	0.0%	3	0.9%	4	1.6%	3	0.4%	8	0.8%	1	0.6%
パート・アルバイト	9	4.6%	13	4.0%	11	4.5%	28	4.0%	38	3.9%	5	2.9%
専業主婦・主夫	1	0.5%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.1%	4	0.4%	1	0.6%
その他	3	1.5%	9	2.8%	4	1.6%	14	2.0%	25	2.6%	3	1.7%
働いていない	16	8.2%	16	4.9%	9	3.6%	33	4.7%	30	3.1%	8	4.7%
この 1 年間の状況について、あなたが経験したこと												
1. 普段の生活において経済的なことや生活で困ること												
ない	115	59.0%	178	54.6%	163	66.0%	438	62.8%	615	62.8%	107	62.2%
1回ある	21	10.8%	37	11.3%	11	4.5%	61	8.7%	86	8.8%	14	8.1%
2回か3回ある	24	12.3%	43	13.2%	31	12.6%	73	10.5%	110	11.2%	18	10.5%
4回か5回ある	7	3.6%	12	3.7%	9	3.6%	24	3.4%	24	2.5%	5	2.9%
6回以上ある	28	14.4%	56	17.2%	33	13.4%	102	14.6%	144	14.7%	28	16.3%
2. 医療費の支払いに不安を感じたこと												
ない	128	65.6%	185	56.7%	168	68.0%	476	68.2%	685	70.0%	114	66.3%
1回ある	18	9.2%	57	17.5%	26	10.5%	78	11.2%	99	10.1%	14	8.1%
2回か3回ある	27	13.8%	38	11.7%	23	9.3%	72	10.3%	92	9.4%	20	11.6%
4回か5回ある	9	4.6%	13	4.0%	12	4.9%	17	2.4%	21	2.1%	6	3.5%
6回以上ある	13	6.7%	33	10.1%	18	7.3%	55	7.9%	82	8.4%	18	10.5%
3. 給与や年金の支給前に、暮らしに困ること												
ない	118	60.5%	176	54.0%	170	68.8%	440	63.0%	638	65.2%	104	60.5%
1回ある	17	8.7%	37	11.3%	12	4.9%	60	8.6%	69	7.0%	12	7.0%
2回か3回ある	25	12.8%	50	15.3%	27	10.9%	84	12.0%	106	10.8%	24	14.0%
4回か5回ある	8	4.1%	12	3.7%	8	3.2%	21	3.0%	37	3.8%	7	4.1%
6回以上ある	27	13.8%	51	15.6%	30	12.1%	93	13.3%	129	13.2%	25	14.5%
4. 家計の支払い(税金、保険料、通信費、電気代、クレジットカードなど)に困ったこと												
ない	113	57.9%	161	49.4%	161	65.2%	431	61.7%	600	61.3%	97	56.4%
1回ある	22	11.3%	39	12.0%	24	9.7%	70	10.0%	84	8.6%	16	9.3%
2回か3回ある	22	11.3%	57	17.5%	26	10.5%	80	11.5%	123	12.6%	25	14.5%
4回か5回ある	7	3.6%	16	4.9%	8	3.2%	30	4.3%	34	3.5%	5	2.9%
6回以上ある	31	15.9%	53	16.3%	28	11.3%	87	12.5%	138	14.1%	29	16.9%
5. 食事に費やすお金が足りないために、家族の誰かが空腹な思いをしたこと												
ない	146	74.9%	235	72.1%	201	81.4%	532	76.2%	787	80.4%	133	77.3%
1回ある	8	4.1%	24	7.4%	14	5.7%	56	8.0%	55	5.6%	8	4.7%
2回か3回ある	16	8.2%	29	8.9%	8	3.2%	48	6.9%	48	4.9%	9	5.2%
4回か5回ある	7	3.6%	12	3.7%	10	4.0%	16	2.3%	27	2.8%	3	1.7%
6回以上ある	18	9.2%	26	8.0%	14	5.7%	46	6.6%	62	6.3%	19	11.0%
6. 経済的な理由で衣類購入を控えたこと												
ない	121	62.1%	167	51.2%	161	65.2%	428	61.3%	616	62.9%	107	62.2%
1回ある	17	8.7%	36	11.0%	27	10.9%	71	10.2%	78	8.0%	15	8.7%
2回か3回ある	19	9.7%	49	15.0%	19	7.7%	69	9.9%	106	10.8%	22	12.8%
4回か5回ある	12	6.2%	18	5.5%	12	4.9%	29	4.2%	34	3.5%	5	2.9%
6回以上ある	26	13.3%	56	17.2%	28	11.3%	101	14.5%	145	14.8%	23	13.4%

北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
3	2.7%	10	1.7%	14	1.7%	3	1.1%	5	3.7%	3	0.7%	1	1.7%	89	1.8%	0.00
8	7.1%	25	4.2%	36	4.5%	12	4.6%	7	5.2%	18	4.2%	4	6.8%	217	4.3%	
60	53.1%	351	58.9%	435	54.2%	147	55.9%	68	50.4%	226	53.2%	25	42.4%	2,796	55.8%	
12	10.6%	59	9.9%	72	9.0%	32	12.2%	12	8.9%	59	13.9%	9	15.3%	509	10.2%	
11	9.7%	46	7.7%	83	10.3%	23	8.7%	11	8.1%	33	7.8%	5	8.5%	436	8.7%	
3	2.7%	14	2.3%	12	1.5%	7	2.7%	2	1.5%	8	1.9%	0	0.0%	79	1.6%	
5	4.4%	14	2.3%	32	4.0%	7	2.7%	3	2.2%	6	1.4%	4	6.8%	151	3.0%	
2	1.8%	12	2.0%	24	3.0%	3	1.1%	2	1.5%	8	1.9%	3	5.1%	138	2.8%	
1	0.9%	2	0.3%	3	0.4%	0	0.0%	2	1.5%	2	0.5%	0	0.0%	29	0.6%	
4	3.5%	25	4.2%	40	5.0%	16	6.1%	9	6.7%	27	6.4%	4	6.8%	229	4.6%	
1	0.9%	8	1.3%	4	0.5%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.2%	0	0.0%	23	0.5%	
2	1.8%	9	1.5%	12	1.5%	4	1.5%	3	2.2%	10	2.4%	0	0.0%	98	2.0%	
1	0.9%	21	3.5%	35	4.4%	9	3.4%	10	7.4%	24	5.6%	4	6.8%	216	4.3%	
70	61.9%	378	63.4%	496	61.8%	166	63.1%	72	53.3%	240	56.5%	38	64.4%	3,076	61.4%	0.31
11	9.7%	58	9.7%	65	8.1%	24	9.1%	11	8.1%	46	10.8%	1	1.7%	446	8.9%	
17	15.0%	76	12.8%	102	12.7%	28	10.6%	19	14.1%	59	13.9%	8	13.6%	608	12.1%	
1	0.9%	16	2.7%	32	4.0%	9	3.4%	2	1.5%	12	2.8%	3	5.1%	156	3.1%	
14	12.4%	68	11.4%	107	13.3%	36	13.7%	31	23.0%	68	16.0%	9	15.3%	724	14.5%	
77	68.1%	412	69.1%	510	63.6%	176	66.9%	86	63.7%	272	64.0%	42	71.2%	3,331	66.5%	0.01
12	10.6%	57	9.6%	97	12.1%	29	11.0%	9	6.7%	55	12.9%	4	6.8%	555	11.1%	
13	11.5%	70	11.7%	120	15.0%	29	11.0%	19	14.1%	46	10.8%	5	8.5%	574	11.5%	
3	2.7%	18	3.0%	19	2.4%	5	1.9%	2	1.5%	10	2.4%	2	3.4%	137	2.7%	
8	7.1%	39	6.5%	56	7.0%	24	9.1%	19	14.1%	42	9.9%	6	10.2%	413	8.2%	
74	65.5%	391	65.6%	502	62.6%	161	61.2%	70	51.9%	242	56.9%	35	59.3%	3,121	62.3%	0.13
10	8.8%	56	9.4%	72	9.0%	27	10.3%	9	6.7%	48	11.3%	4	6.8%	433	8.6%	
12	10.6%	63	10.6%	92	11.5%	30	11.4%	25	18.5%	48	11.3%	7	11.9%	593	11.8%	
6	5.3%	22	3.7%	23	2.9%	10	3.8%	4	3.0%	19	4.5%	1	1.7%	178	3.6%	
11	9.7%	64	10.7%	113	14.1%	35	13.3%	27	20.0%	68	16.0%	12	20.3%	685	13.7%	
72	63.7%	380	63.8%	464	57.9%	159	60.5%	66	48.9%	243	57.2%	35	59.3%	2,982	59.5%	0.06
9	8.0%	61	10.2%	95	11.8%	32	12.2%	15	11.1%	47	11.1%	5	8.5%	519	10.4%	
15	13.3%	69	11.6%	97	12.1%	36	13.7%	22	16.3%	46	10.8%	7	11.9%	625	12.5%	
3	2.7%	23	3.9%	38	4.7%	5	1.9%	2	1.5%	22	5.2%	3	5.1%	196	3.9%	
14	12.4%	63	10.6%	108	13.5%	31	11.8%	30	22.2%	67	15.8%	9	15.3%	688	13.7%	
88	77.9%	469	78.7%	590	73.6%	211	80.2%	93	68.9%	327	76.9%	48	81.4%	3,860	77.0%	0.01
7	6.2%	41	6.9%	64	8.0%	17	6.5%	11	8.1%	37	8.7%	1	1.7%	343	6.8%	
8	7.1%	39	6.5%	70	8.7%	11	4.2%	8	5.9%	22	5.2%	2	3.4%	318	6.3%	
3	2.7%	11	1.8%	16	2.0%	10	3.8%	4	3.0%	7	1.6%	1	1.7%	127	2.5%	
7	6.2%	36	6.0%	62	7.7%	14	5.3%	19	14.1%	32	7.5%	7	11.9%	362	7.2%	
72	63.7%	385	64.6%	470	58.6%	163	62.0%	75	55.6%	255	60.0%	40	67.8%	3,060	61.1%	0.23
9	8.0%	59	9.9%	87	10.8%	27	10.3%	17	12.6%	38	8.9%	4	6.8%	485	9.7%	
16	14.2%	56	9.4%	106	13.2%	31	11.8%	15	11.1%	45	10.6%	4	6.8%	557	11.1%	
5	4.4%	24	4.0%	28	3.5%	6	2.3%	4	3.0%	15	3.5%	1	1.7%	193	3.9%	
11	9.7%	72	12.1%	111	13.8%	36	13.7%	24	17.8%	72	16.9%	10	16.9%	715	14.3%	

表 2.3　地域別分析　性感染症既往、PrEP 利用、コンドーム購入・所持経験

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
これまでにかかったことのある性感染症はどれですか。												
いずれかある	66	33.8%	102	31.3%	80	32.4%	243	34.8%	291	29.7%	45	26.2%
いずれもない	129	66.2%	224	68.7%	167	67.6%	455	65.2%	688	70.3%	127	73.8%
これまでにかかったことのある性感染症はどれですか。（複数回答・再掲）												
梅毒	13	6.7%	18	5.5%	20	8.1%	58	8.3%	67	6.8%	13	7.6%
A 型肝炎	4	2.1%	9	2.8%	5	2.0%	11	1.6%	17	1.7%	3	1.7%
B 型肝炎	2	1.0%	13	4.0%	7	2.8%	33	4.7%	27	2.8%	6	3.5%
C 型肝炎	2	1.0%	7	2.1%	6	2.4%	12	1.7%	14	1.4%	4	2.3%
尖圭コンジローマ	8	4.1%	16	4.9%	10	4.0%	37	5.3%	41	4.2%	6	3.5%
クラミジア	24	12.3%	33	10.1%	28	11.3%	79	11.3%	97	9.9%	17	9.9%
淋病	10	5.1%	19	5.8%	21	8.5%	51	7.3%	74	7.6%	8	4.7%
性器ヘルペス	10	5.1%	15	4.6%	18	7.3%	39	5.6%	35	3.6%	6	3.5%
アメーバ赤痢	3	1.5%	4	1.2%	4	1.6%	14	2.0%	15	1.5%	5	2.9%
HIV 感染症	5	2.6%	6	1.8%	11	4.5%	21	3.0%	31	3.2%	5	2.9%
性器カンジタ症	4	2.1%	9	2.8%	6	2.4%	15	2.1%	29	3.0%	5	2.9%
膣トリコモナス症	1	0.5%	4	1.2%	8	3.2%	5	0.7%	7	0.7%	3	1.7%
毛じらみ症	13	6.7%	19	5.8%	20	8.1%	68	9.7%	73	7.5%	8	4.7%
サル痘	1	0.5%	4	1.2%	4	1.6%	6	0.9%	7	0.7%	2	1.2%
その他の性感染症	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	3	0.4%	1	0.1%	1	0.6%
「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP）」に関する上記のような情報について、知っていましたか。												
とてもよく知っている	15	7.7%	41	12.6%	31	12.6%	113	16.2%	113	11.5%	21	12.2%
聞いたことはある	61	31.3%	98	30.1%	79	32.0%	257	36.8%	307	31.4%	57	33.1%
まったく知らなかった	119	61.0%	187	57.4%	137	55.5%	328	47.0%	559	57.1%	94	54.7%
これまでに「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP）」をしたことがありますか。												
ある	21	10.8%	44	13.5%	33	13.4%	86	12.3%	102	10.4%	16	9.3%
ない	174	89.2%	282	86.5%	214	86.6%	612	87.7%	877	89.6%	156	90.7%
過去 6 ヶ月間に「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP）」をしたことがありますか。												
ある	5	2.6%	12	3.7%	9	3.6%	32	4.6%	33	3.4%	9	5.2%
ない	190	97.4%	314	96.3%	238	96.4%	666	95.4%	946	96.6%	163	94.8%
あなたは、過去 6 ヶ月間に、コンドームを購入したことがありますか。												
ある	50	25.6%	92	28.2%	71	28.7%	220	31.5%	260	26.6%	53	30.8%
ない	145	74.4%	234	71.8%	176	71.3%	478	68.5%	719	73.4%	119	69.2%
過去 6 ヶ月間、あなたはコンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか。												
すぐ使える場所に置いていた	42	21.5%	53	16.3%	49	19.8%	142	20.3%	188	19.2%	45	26.2%
いつも身近に持っていた	22	11.3%	64	19.6%	35	14.2%	111	15.9%	132	13.5%	22	12.8%
時々は身近に持っていた	34	17.4%	67	20.6%	38	15.4%	125	17.9%	146	14.9%	29	16.9%
まったく身近にはなかった	97	49.7%	142	43.6%	125	50.6%	320	45.8%	513	52.4%	76	44.2%

北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
28	24.8%	179	30.0%	243	30.3%	78	29.7%	47	34.8%	140	32.9%	23	39.0%	1,565	31.2%	0.28
85	75.2%	417	70.0%	559	69.7%	185	70.3%	88	65.2%	285	67.1%	36	61.0%	3,445	68.8%	
9	8.0%	34	5.7%	46	5.7%	14	5.3%	9	6.7%	28	6.6%	6	10.2%	335	6.7%	0.70
3	2.7%	9	1.5%	7	0.9%	5	1.9%	1	0.7%	5	1.2%	2	3.4%	81	1.6%	0.67
4	3.5%	14	2.3%	26	3.2%	9	3.4%	7	5.2%	9	2.1%	5	8.5%	162	3.2%	0.08
2	1.8%	6	1.0%	14	1.7%	4	1.5%	1	0.7%	9	2.1%	1	1.7%	82	1.6%	0.94
8	7.1%	20	3.4%	42	5.2%	9	3.4%	5	3.7%	19	4.5%	6	10.2%	227	4.5%	0.46
13	11.5%	80	13.4%	85	10.6%	27	10.3%	16	11.9%	49	11.5%	7	11.9%	555	11.1%	0.91
7	6.2%	38	6.4%	60	7.5%	13	4.9%	16	11.9%	26	6.1%	5	8.5%	348	6.9%	0.39
3	2.7%	19	3.2%	34	4.2%	10	3.8%	5	3.7%	23	5.4%	2	3.4%	219	4.4%	0.30
1	0.9%	3	0.5%	6	0.7%	3	1.1%	2	1.5%	2	0.5%	2	3.4%	64	1.3%	0.17
4	3.5%	14	2.3%	26	3.2%	6	2.3%	4	3.0%	15	3.5%	3	5.1%	151	3.0%	0.89
3	2.7%	15	2.5%	18	2.2%	5	1.9%	3	2.2%	14	3.3%	1	1.7%	127	2.5%	0.99
2	1.8%	5	0.8%	7	0.9%	1	0.4%	1	0.7%	1	0.2%	1	1.7%	46	0.9%	0.04
10	8.8%	37	6.2%	65	8.1%	22	8.4%	9	6.7%	46	10.8%	8	13.6%	398	7.9%	0.10
2	1.8%	3	0.5%	5	0.6%	2	0.8%	2	1.5%	1	0.2%	1	1.7%	40	0.8%	0.71
0	0.0%	2	0.3%	6	0.7%	0	0.0%	1	0.7%	3	0.7%	0	0.0%	18	0.4%	0.53
17	15.0%	57	9.6%	75	9.4%	27	10.3%	16	11.9%	45	10.6%	5	8.5%	576	11.5%	0.00
28	24.8%	170	28.5%	297	37.0%	68	25.9%	41	30.4%	113	26.6%	18	30.5%	1,594	31.8%	
68	60.2%	369	61.9%	430	53.6%	168	63.9%	78	57.8%	267	62.8%	36	61.0%	2,840	56.7%	
14	12.4%	60	10.1%	65	8.1%	25	9.5%	15	11.1%	34	8.0%	4	6.8%	519	10.4%	0.13
99	87.6%	536	89.9%	737	91.9%	238	90.5%	120	88.9%	391	92.0%	55	93.2%	4,491	89.6%	
3	2.7%	25	4.2%	19	2.4%	13	4.9%	5	3.7%	13	3.1%	2	3.4%	180	3.6%	0.60
110	97.3%	571	95.8%	783	97.6%	250	95.1%	130	96.3%	412	96.9%	57	96.6%	4,830	96.4%	
37	32.7%	159	26.7%	208	25.9%	73	27.8%	41	30.4%	123	28.9%	15	25.4%	1,402	28.0%	0.54
76	67.3%	437	73.3%	594	74.1%	190	72.2%	94	69.6%	302	71.1%	44	74.6%	3,608	72.0%	
15	13.3%	112	18.8%	152	19.0%	49	18.6%	23	17.0%	89	20.9%	13	22.0%	972	19.4%	0.06
17	15.0%	86	14.4%	107	13.3%	30	11.4%	25	18.5%	61	14.4%	7	11.9%	719	14.4%	
17	15.0%	81	13.6%	122	15.2%	50	19.0%	29	21.5%	62	14.6%	9	15.3%	809	16.1%	
64	56.6%	317	53.2%	421	52.5%	134	51.0%	58	43.0%	213	50.1%	30	50.8%	2,510	50.1%	

表 2.4　地域別分析　予防啓発活動の認知

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
男性同性愛者向けに性感染症や HIV 感染症の予防啓発活動をしている次の団体を知っていますか。（複数回答）												
にじいろほっかいどう	44	22.6%	44	13.5%	25	10.1%	69	9.9%	80	8.2%	18	10.5%
NPO 法人レッドリボンさっぽろ	44	22.6%	38	11.7%	21	8.5%	55	7.9%	72	7.4%	13	7.6%
やろっこ	18	9.2%	48	14.7%	28	11.3%	56	8.0%	68	6.9%	16	9.3%
NPO 法人 akta	20	10.3%	37	11.3%	45	18.2%	151	21.6%	128	13.1%	22	12.8%
NPO 法人ぷれいす東京	24	12.3%	41	12.6%	43	17.4%	129	18.5%	120	12.3%	27	15.7%
NPO 法人 SHIP	20	10.3%	36	11.0%	35	14.2%	76	10.9%	108	11.0%	15	8.7%
ANGEL LIFE NAGOYA	14	7.2%	33	10.1%	27	10.9%	56	8.0%	66	6.7%	18	10.5%
MASH 大阪	14	7.2%	31	9.5%	28	11.3%	61	8.7%	73	7.5%	17	9.9%
HaaT えひめ	17	8.7%	34	10.4%	25	10.1%	52	7.4%	61	6.2%	15	8.7%
BRIGE プロジェクト	13	6.7%	25	7.7%	23	9.3%	52	7.4%	57	5.8%	14	8.1%
HACO	17	8.7%	29	8.9%	27	10.9%	56	8.0%	65	6.6%	16	9.3%
nankr 沖縄	12	6.2%	29	8.9%	25	10.1%	51	7.3%	61	6.2%	15	8.7%
これまでの HIV やエイズに関するできことについての経験（複数回答）												
授業や講義等で HIV 陽性者当事者の生の話を聞いた	62	31.8%	85	26.1%	87	35.2%	218	31.2%	275	28.1%	53	30.8%
テレビ・ラジオなどで HIV 陽性者に関する番組を視聴した	128	65.6%	201	61.7%	174	70.4%	440	63.0%	597	61.0%	112	65.1%
HIV 陽性者が登場する映画や演劇を観た	82	42.1%	156	47.9%	108	43.7%	360	51.6%	419	42.8%	80	46.5%
HIV 陽性者が登場する小説や本を読んだ	67	34.4%	122	37.4%	74	30.0%	265	38.0%	295	30.1%	66	38.4%
HIV にかかわるイベントに参加した	40	20.5%	60	18.4%	45	18.2%	153	21.9%	138	14.1%	27	15.7%
HIV 陽性者当事者の書いた手記を読んだり聞いたりした	54	27.7%	98	30.1%	80	32.4%	229	32.8%	278	28.4%	53	30.8%
予防啓発に取り組んでいるコミュニティセンター（6 ヶ所）に行った	35	17.9%	67	20.6%	52	21.1%	170	24.4%	145	14.8%	25	14.5%
コミュニティセンター ZEL	23	11.8%	50	15.3%	36	14.6%	94	13.5%	87	8.9%	16	9.3%
コミュニティセンター akta	25	12.8%	44	13.5%	43	17.4%	145	20.8%	115	11.7%	18	10.5%
コミュニティセンター rise	29	14.9%	43	13.2%	31	12.6%	94	13.5%	88	9.0%	14	8.1%
コミュニティセンター dista	26	13.3%	45	13.8%	34	13.8%	105	15.0%	85	8.7%	17	9.9%
コミュニティセンター HACO	27	13.8%	45	13.8%	35	14.2%	93	13.3%	86	8.8%	17	9.9%
コミュニティセンター mabui	21	10.8%	48	14.7%	30	12.1%	92	13.2%	90	9.2%	18	10.5%

北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
13	11.5%	55	9.2%	69	8.6%	23	8.7%	11	8.1%	38	8.9%	1	1.7%	490	9.8%	0.00
10	8.8%	59	9.9%	56	7.0%	19	7.2%	14	10.4%	29	6.8%	2	3.4%	432	8.6%	0.00
10	8.8%	48	8.1%	56	7.0%	18	6.8%	9	6.7%	21	4.9%	1	1.7%	397	7.9%	0.00
10	8.8%	69	11.6%	67	8.4%	25	9.5%	10	7.4%	32	7.5%	6	10.2%	622	12.4%	0.00
11	9.7%	64	10.7%	85	10.6%	21	8.0%	14	10.4%	42	9.9%	2	3.4%	623	12.4%	0.00
9	8.0%	54	9.1%	53	6.6%	19	7.2%	10	7.4%	25	5.9%	1	1.7%	461	9.2%	0.00
10	8.8%	85	14.3%	59	7.4%	19	7.2%	9	6.7%	32	7.5%	1	1.7%	429	8.6%	0.00
10	8.8%	62	10.4%	119	14.8%	21	8.0%	15	11.1%	30	7.1%	2	3.4%	483	9.6%	0.00
8	7.1%	51	8.6%	56	7.0%	25	9.5%	28	20.7%	28	6.6%	1	1.7%	401	8.0%	0.00
7	6.2%	46	7.7%	57	7.1%	27	10.3%	13	9.6%	27	6.4%	1	1.7%	362	7.2%	0.35
11	9.7%	46	7.7%	49	6.1%	22	8.4%	9	6.7%	60	14.1%	1	1.7%	408	8.1%	0.00
8	7.1%	40	6.7%	52	6.5%	15	5.7%	9	6.7%	31	7.3%	13	22.0%	361	7.2%	0.01
34	30.1%	162	27.2%	239	29.8%	80	30.4%	48	35.6%	134	31.5%	14	23.7%	1,491	29.8%	0.30
68	60.2%	354	59.4%	502	62.6%	171	65.0%	88	65.2%	278	65.4%	35	59.3%	3,148	62.8%	0.27
47	41.6%	250	41.9%	357	44.5%	121	46.0%	70	51.9%	200	47.1%	24	40.7%	2,274	45.4%	0.03
32	28.3%	175	29.4%	221	27.6%	74	28.1%	52	38.5%	126	29.6%	12	20.3%	1,581	31.6%	0.00
17	15.0%	106	17.8%	149	18.6%	43	16.3%	36	26.7%	69	16.2%	4	6.8%	887	17.7%	0.00
26	23.0%	151	25.3%	235	29.3%	70	26.6%	49	36.3%	118	27.8%	14	23.7%	1,455	29.0%	0.11
15	13.3%	97	16.3%	151	18.8%	41	15.6%	25	18.5%	72	16.9%	10	16.9%	905	18.1%	0.00
13	11.5%	66	11.1%	79	9.9%	23	8.7%	17	12.6%	43	10.1%	3	5.1%	550	11.0%	0.02
11	9.7%	64	10.7%	89	11.1%	24	9.1%	22	16.3%	46	10.8%	4	6.8%	650	13.0%	0.00
11	9.7%	80	13.4%	80	10.0%	25	9.5%	21	15.6%	45	10.6%	3	5.1%	564	11.3%	0.02
9	8.0%	66	11.1%	114	14.2%	30	11.4%	20	14.8%	37	8.7%	6	10.2%	594	11.9%	0.00
12	10.6%	60	10.1%	71	8.9%	32	12.2%	21	15.6%	49	11.5%	4	6.8%	552	11.0%	0.02
10	8.8%	54	9.1%	79	9.9%	25	9.5%	20	14.8%	41	9.6%	8	13.6%	536	10.7%	0.08

表 2.5　地域別分析　HIV 検査受検行動、性感染症予防ワクチン接種経験

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
これまでに、HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。												
ある	49	25.1%	94	28.8%	83	33.6%	297	42.6%	306	31.3%	49	28.5%
ない	146	74.9%	232	71.2%	164	66.4%	401	57.4%	673	68.7%	123	71.5%
あなたがこれまでに受けた、HIV 抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。(複数回答)												
保健所(再掲)	26	13.3%	57	17.5%	43	17.4%	138	19.8%	157	16.0%	32	18.6%
保健所の即日検査	21	10.8%	35	10.7%	32	13.0%	97	13.9%	110	11.2%	25	14.5%
保健所の夜間検査	5	2.6%	17	5.2%	10	4.0%	27	3.9%	25	2.6%	9	5.2%
保健所の即日・夜間検査以外	4	2.1%	16	4.9%	17	6.9%	40	5.7%	53	5.4%	10	5.8%
病院・クリニック(再掲)	14	7.2%	29	8.9%	32	13.0%	136	19.5%	126	12.9%	13	7.6%
病院	11	5.6%	18	5.5%	19	7.7%	81	11.6%	71	7.3%	7	4.1%
クリニック・医院・診療所	5	2.6%	14	4.3%	16	6.5%	73	10.5%	69	7.0%	8	4.7%
郵送検査・自己検査キット(再掲)	13	6.7%	16	4.9%	10	4.0%	45	6.4%	45	4.6%	10	5.8%
郵送検査	6	3.1%	10	3.1%	5	2.0%	27	3.9%	26	2.7%	6	3.5%
自己検査キット	8	4.1%	10	3.1%	7	2.8%	24	3.4%	23	2.3%	6	3.5%
その他(再掲)	14	7.2%	20	6.1%	19	7.7%	87	12.5%	81	8.3%	16	9.3%
HIV 検査イベント	5	2.6%	7	2.1%	4	1.6%	24	3.4%	22	2.2%	5	2.9%
健康診断のオプション	1	0.5%	8	2.5%	6	2.4%	16	2.3%	20	2.0%	4	2.3%
献血	6	3.1%	11	3.4%	4	1.6%	18	2.6%	22	2.2%	7	4.1%
新宿や大阪の公的検査機関	1	0.5%	3	0.9%	6	2.4%	48	6.9%	25	2.6%	3	1.7%
その他	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%	3	0.3%	4	2.3%
あなたが一番最近に HIV 検査(エイズ検査)を受けたのはいつでしたか。												
6 ヶ月以内	12	6.2%	12	3.7%	12	4.9%	59	8.5%	47	4.8%	5	2.9%
6 ヶ月から 1 年の間	4	2.1%	9	2.8%	8	3.2%	34	4.9%	31	3.2%	6	3.5%
1 年から 3 年の間	9	4.6%	16	4.9%	19	7.7%	57	8.2%	62	6.3%	7	4.1%
3 年から 5 年の間	6	3.1%	22	6.7%	12	4.9%	42	6.0%	45	4.6%	5	2.9%
5 年以上前	18	9.2%	35	10.7%	32	13.0%	105	15.0%	121	12.4%	26	15.1%
これまでにない	146	74.9%	232	71.2%	164	66.4%	401	57.4%	673	68.7%	123	71.5%
過去 1 年間に HIV 検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。												
ある	15	7.7%	20	6.1%	17	6.9%	83	11.9%	71	7.3%	9	5.2%
ない	175	89.7%	300	92.0%	219	88.7%	594	85.1%	877	89.6%	158	91.9%
すでに HIV 陽性を確認している	5	2.6%	6	1.8%	11	4.5%	21	3.0%	31	3.2%	5	2.9%
定期的に、HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けていますか。												
定期的に受けていない	160	82.1%	261	80.1%	180	72.9%	483	69.2%	774	79.1%	141	82.0%
3 ヶ月に 1 回以上は受けている	3	1.5%	8	2.5%	10	4.0%	24	3.4%	32	3.3%	5	2.9%
6 ヶ月に 1 回は受けている	3	1.5%	8	2.5%	7	2.8%	25	3.6%	24	2.5%	1	0.6%
1 年に 1 回は受けている	6	3.1%	16	4.9%	12	4.9%	39	5.6%	31	3.2%	3	1.7%
感染リスクのある行為の後に受けている	18	9.2%	25	7.7%	26	10.5%	101	14.5%	79	8.1%	15	8.7%
その他	0	0.0%	2	0.6%	1	0.4%	5	0.7%	8	0.8%	2	1.2%
すでに HIV 陽性を確認している	5	2.6%	6	1.8%	11	4.5%	21	3.0%	31	3.2%	5	2.9%
あなたは、次のうちいずれかのワクチンの予防接種をしたことがありますか。												
いずれかある	27	13.8%	59	18.1%	52	21.1%	116	16.6%	147	15.0%	27	15.7%
いずれもない	168	86.2%	267	81.9%	195	78.9%	582	83.4%	832	85.0%	145	84.3%
あなたは、次のうちいずれかのワクチンの予防接種をしたことがありますか。(複数回答・再掲)												
A 型肝炎	8	4.1%	19	5.8%	22	8.9%	50	7.2%	54	5.5%	13	7.6%
B 型肝炎	18	9.2%	37	11.3%	34	13.8%	93	13.3%	104	10.6%	19	11.0%
HPV（ヒトパピローマウィルス）	6	3.1%	17	5.2%	20	8.1%	29	4.2%	40	4.1%	9	5.2%

北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
26	23.0%	158	26.5%	236	29.4%	67	25.5%	36	26.7%	114	26.8%	25	42.4%	1,540	30.7%	0.00
87	77.0%	438	73.5%	566	70.6%	196	74.5%	99	73.3%	311	73.2%	34	57.6%	3,470	69.3%	
18	15.9%	90	15.1%	132	16.5%	39	14.8%	22	16.3%	74	17.4%	15	25.4%	843	16.8%	0.00
14	12.4%	69	11.6%	84	10.5%	33	12.5%	13	9.6%	48	11.3%	10	16.9%	591	11.8%	0.00
2	1.8%	19	3.2%	24	3.0%	10	3.8%	2	1.5%	14	3.3%	1	1.7%	165	3.3%	0.00
7	6.2%	21	3.5%	47	5.9%	5	1.9%	9	6.7%	25	5.9%	4	6.8%	258	5.1%	0.00
12	10.6%	60	10.1%	97	12.1%	26	9.9%	14	10.4%	37	8.7%	11	18.6%	607	12.1%	0.00
10	8.8%	36	6.0%	61	7.6%	15	5.7%	10	7.4%	27	6.4%	6	10.2%	372	7.4%	0.00
3	2.7%	31	5.2%	50	6.2%	14	5.3%	4	3.0%	16	3.8%	7	11.9%	310	6.2%	0.00
4	3.5%	26	4.4%	23	2.9%	5	1.9%	4	3.0%	23	5.4%	4	6.8%	228	4.6%	0.00
2	1.8%	13	2.2%	14	1.7%	2	0.8%	1	0.7%	12	2.8%	3	5.1%	127	2.5%	0.00
3	2.7%	18	3.0%	14	1.7%	3	1.1%	3	2.2%	15	3.5%	1	1.7%	135	2.7%	0.00
4	3.5%	36	6.0%	68	8.5%	10	3.8%	6	4.4%	23	5.4%	2	3.4%	386	7.7%	0.00
2	1.8%	17	2.9%	26	3.2%	5	1.9%	2	1.5%	10	2.4%	1	1.7%	130	2.6%	0.00
4	3.5%	11	1.8%	12	1.5%	1	0.4%	3	2.2%	5	1.2%	0	0.0%	91	1.8%	0.00
1	0.9%	14	2.3%	19	2.4%	4	1.5%	0	0.0%	14	3.3%	2	3.4%	122	2.4%	0.00
0	0.0%	6	1.0%	26	3.2%	0	0.0%	1	0.7%	3	0.7%	0	0.0%	122	2.4%	0.00
0	0.0%	3	0.5%	6	0.7%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	21	0.4%	0.00
6	5.3%	27	4.5%	35	4.4%	10	3.8%	6	4.4%	16	3.8%	4	6.8%	251	5.0%	0.00
3	2.7%	20	3.4%	25	3.1%	11	4.2%	3	2.2%	17	4.0%	2	3.4%	173	3.5%	
6	5.3%	25	4.2%	37	4.6%	8	3.0%	10	7.4%	15	3.5%	3	5.1%	274	5.5%	
3	2.7%	24	4.0%	35	4.4%	14	5.3%	5	3.7%	13	3.1%	3	5.1%	229	4.6%	
8	7.1%	62	10.4%	104	13.0%	24	9.1%	12	8.9%	53	12.5%	13	22.0%	613	12.2%	
87	77.0%	438	73.5%	566	70.6%	196	74.5%	99	73.3%	311	73.2%	34	57.6%	3,470	69.3%	
6	5.3%	40	6.7%	53	6.6%	18	6.8%	7	5.2%	25	5.9%	5	8.5%	369	7.4%	0.09
103	91.2%	542	90.9%	723	90.1%	239	90.9%	124	91.9%	385	90.6%	51	86.4%	4,490	89.6%	
4	3.5%	14	2.3%	26	3.2%	6	2.3%	4	3.0%	15	3.5%	3	5.1%	151	3.0%	
92	81.4%	491	82.4%	636	79.3%	219	83.3%	111	82.2%	347	81.6%	40	67.8%	3,935	78.5%	0.01
2	1.8%	11	1.8%	15	1.9%	5	1.9%	0	0.0%	7	1.6%	1	1.7%	123	2.5%	
4	3.5%	15	2.5%	21	2.6%	5	1.9%	4	3.0%	11	2.6%	0	0.0%	128	2.6%	
3	2.7%	18	3.0%	27	3.4%	9	3.4%	6	4.4%	12	2.8%	2	3.4%	184	3.7%	
7	6.2%	44	7.4%	69	8.6%	19	7.2%	10	7.4%	29	6.8%	12	20.3%	454	9.1%	
1	0.9%	3	0.5%	8	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.9%	1	1.7%	35	0.7%	
4	3.5%	14	2.3%	26	3.2%	6	2.3%	4	3.0%	15	3.5%	3	5.1%	151	3.0%	
18	15.9%	90	15.1%	99	12.3%	41	15.6%	20	14.8%	65	15.3%	5	8.5%	766	15.3%	0.14
95	84.1%	506	84.9%	703	87.7%	222	84.4%	115	85.2%	360	84.7%	54	91.5%	4,244	84.7%	
8	7.1%	35	5.9%	37	4.6%	17	6.5%	5	3.7%	12	2.8%	2	3.4%	282	5.6%	0.06
10	8.8%	65	10.9%	69	8.6%	27	10.3%	15	11.1%	51	12.0%	4	6.8%	546	10.9%	0.33
6	5.3%	18	3.0%	30	3.7%	10	3.8%	3	2.2%	15	3.5%	2	3.4%	205	4.1%	0.18

表 2.6　地域別分析　クリニック受診行動、対話経験

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
これまでに、性感染症の診断や治療のために病院やクリニックを受診したことがありますか。												
ある	59	30.3%	90	27.6%	70	28.3%	237	34.0%	271	27.7%	48	27.9%
ない	136	69.7%	236	72.4%	177	71.7%	461	66.0%	708	72.3%	124	72.1%
過去 1 年間に、性感染症の診断や治療のために病院やクリニックを受診したことがありますか。												
全くない	41	21.0%	44	13.5%	37	15.0%	127	18.2%	160	16.3%	30	17.4%
1回だけある	11	5.6%	27	8.3%	23	9.3%	55	7.9%	61	6.2%	6	3.5%
2回ある	4	2.1%	13	4.0%	3	1.2%	20	2.9%	19	1.9%	6	3.5%
3回以上ある	3	1.5%	6	1.8%	7	2.8%	35	5.0%	31	3.2%	6	3.5%
これまでにない	136	69.7%	236	72.4%	177	71.7%	461	66.0%	708	72.3%	124	72.1%
これまでに、医療機関（病院、クリニック）で医療職者から、HIV 抗体検査（エイズ検査）をすすめられたことはありますか。												
すすめられて、受検した	15	7.7%	20	6.1%	21	8.5%	77	11.0%	71	7.3%	6	3.5%
すすめられたが、受検しなかった	10	5.1%	25	7.7%	17	6.9%	45	6.4%	38	3.9%	12	7.0%
すすめられたことはない	156	80.0%	255	78.2%	192	77.7%	524	75.1%	798	81.5%	139	80.8%
おぼえていない	14	7.2%	26	8.0%	17	6.9%	52	7.4%	72	7.4%	15	8.7%
あなたは、これまでに次にあげる関係の人と HIV 感染症やエイズ、性感染症について話したことがありますか。												
両親や兄弟姉妹と												
6 ヶ月以内にある	7	3.6%	20	6.1%	19	7.7%	28	4.0%	38	3.9%	5	2.9%
6 ヶ月以上前にある	13	6.7%	18	5.5%	14	5.7%	58	8.3%	70	7.2%	12	7.0%
まったくない	94	48.2%	171	52.5%	112	45.3%	341	48.9%	470	48.0%	95	55.2%
いない	81	41.5%	117	35.9%	102	41.3%	271	38.8%	401	41.0%	60	34.9%
恋人やパートナーと												
6 ヶ月以内にある	15	7.7%	19	5.8%	20	8.1%	56	8.0%	63	6.4%	11	6.4%
6 ヶ月以上前にある	27	13.8%	56	17.2%	43	17.4%	137	19.6%	167	17.1%	38	22.1%
まったくない	67	34.4%	133	40.8%	83	33.6%	219	31.4%	345	35.2%	64	37.2%
いない	86	44.1%	118	36.2%	101	40.9%	286	41.0%	404	41.3%	59	34.3%
友達や知り合いと												
6 ヶ月以内にある	14	7.2%	24	7.4%	20	8.1%	57	8.2%	56	5.7%	9	5.2%
6 ヶ月以上前にある	22	11.3%	61	18.7%	54	21.9%	160	22.9%	193	19.7%	42	24.4%
まったくない	83	42.6%	137	42.0%	88	35.6%	249	35.7%	367	37.5%	71	41.3%
いない	76	39.0%	104	31.9%	85	34.4%	232	33.2%	363	37.1%	50	29.1%
性交渉（セックス）した相手と												
6 ヶ月以内にある	14	7.2%	20	6.1%	21	8.5%	58	8.3%	58	5.9%	8	4.7%
6 ヶ月以上前にある	19	9.7%	38	11.7%	39	15.8%	133	19.1%	167	17.1%	31	18.0%
まったくない	83	42.6%	158	48.5%	94	38.1%	273	39.1%	379	38.7%	75	43.6%
いない	79	40.5%	110	33.7%	93	37.7%	234	33.5%	375	38.3%	58	33.7%
医師や看護師などの医療職者と												
6 ヶ月以内にある	12	6.2%	8	2.5%	21	8.5%	44	6.3%	58	5.9%	7	4.1%
6 ヶ月以上前にある	15	7.7%	35	10.7%	33	13.4%	90	12.9%	90	9.2%	16	9.3%
まったくない	82	42.1%	163	50.0%	99	40.1%	304	43.6%	434	44.3%	92	53.5%
いない	86	44.1%	120	36.8%	94	38.1%	260	37.2%	397	40.6%	57	33.1%
職場の人や仕事関係の人と												
6 ヶ月以内にある	8	4.1%	9	2.8%	16	6.5%	26	3.7%	36	3.7%	8	4.7%
6 ヶ月以上前にある	16	8.2%	36	11.0%	23	9.3%	73	10.5%	92	9.4%	16	9.3%
まったくない	85	43.6%	166	50.9%	112	45.3%	334	47.9%	447	45.7%	90	52.3%
いない	86	44.1%	115	35.3%	96	38.9%	265	38.0%	404	41.3%	58	33.7%

北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
27	23.9%	163	27.3%	226	28.2%	71	27.0%	36	26.7%	121	28.5%	21	35.6%	1,440	28.7%	0.28
86	76.1%	433	72.7%	576	71.8%	192	73.0%	99	73.3%	304	71.5%	38	64.4%	3,570	71.3%	
13	11.5%	98	16.4%	139	17.3%	40	15.2%	15	11.1%	70	16.5%	15	25.4%	829	16.5%	0.20
7	6.2%	36	6.0%	51	6.4%	16	6.1%	12	8.9%	26	6.1%	3	5.1%	334	6.7%	
2	1.8%	17	2.9%	10	1.2%	8	3.0%	4	3.0%	10	2.4%	1	1.7%	117	2.3%	
5	4.4%	12	2.0%	26	3.2%	7	2.7%	5	3.7%	15	3.5%	2	3.4%	160	3.2%	
86	76.1%	433	72.7%	576	71.8%	192	73.0%	99	73.3%	304	71.5%	38	64.4%	3,570	71.3%	
6	5.3%	53	8.9%	56	7.0%	20	7.6%	13	9.6%	22	5.2%	4	6.8%	384	7.7%	0.01
12	10.6%	22	3.7%	29	3.6%	12	4.6%	7	5.2%	23	5.4%	1	1.7%	253	5.0%	
91	80.5%	477	80.0%	653	81.4%	213	81.0%	105	77.8%	352	82.8%	47	79.7%	4,002	79.9%	
4	3.5%	44	7.4%	64	8.0%	18	6.8%	10	7.4%	28	6.6%	7	11.9%	371	7.4%	
8	7.1%	21	3.5%	32	4.0%	9	3.4%	5	3.7%	17	4.0%	2	3.4%	211	4.2%	0.66
7	6.2%	35	5.9%	53	6.6%	16	6.1%	12	8.9%	30	7.1%	0	0.0%	338	6.7%	
53	46.9%	300	50.3%	395	49.3%	130	49.4%	65	48.1%	202	47.5%	31	52.5%	2,459	49.1%	
45	39.8%	240	40.3%	322	40.1%	108	41.1%	53	39.3%	176	41.4%	26	44.1%	2,002	40.0%	
10	8.8%	40	6.7%	42	5.2%	15	5.7%	8	5.9%	21	4.9%	1	1.7%	321	6.4%	0.67
16	14.2%	101	16.9%	149	18.6%	44	16.7%	23	17.0%	78	18.4%	11	18.6%	890	17.8%	
41	36.3%	218	36.6%	287	35.8%	90	34.2%	48	35.6%	155	36.5%	17	28.8%	1,767	35.3%	
46	40.7%	237	39.8%	324	40.4%	114	43.3%	56	41.5%	171	40.2%	30	50.8%	2,032	40.6%	
9	8.0%	43	7.2%	46	5.7%	18	6.8%	9	6.7%	16	3.8%	5	8.5%	326	6.5%	0.15
15	13.3%	115	19.3%	163	20.3%	52	19.8%	27	20.0%	78	18.4%	13	22.0%	995	19.9%	
48	42.5%	229	38.4%	303	37.8%	92	35.0%	52	38.5%	173	40.7%	16	27.1%	1,908	38.1%	
41	36.3%	209	35.1%	290	36.2%	101	38.4%	47	34.8%	158	37.2%	25	42.4%	1,781	35.5%	
8	7.1%	35	5.9%	45	5.6%	13	4.9%	7	5.2%	18	4.2%	3	5.1%	308	6.1%	0.24
18	15.9%	96	16.1%	127	15.8%	41	15.6%	21	15.6%	66	15.5%	9	15.3%	805	16.1%	
46	40.7%	235	39.4%	335	41.8%	106	40.3%	58	43.0%	174	40.9%	21	35.6%	2,037	40.7%	
41	36.3%	230	38.6%	295	36.8%	103	39.2%	49	36.3%	167	39.3%	26	44.1%	1,860	37.1%	
7	6.2%	28	4.7%	51	6.4%	15	5.7%	9	6.7%	18	4.2%	6	10.2%	284	5.7%	0.09
5	4.4%	62	10.4%	68	8.5%	27	10.3%	16	11.9%	51	12.0%	6	10.2%	514	10.3%	
54	47.8%	277	46.5%	374	46.6%	116	44.1%	58	43.0%	188	44.2%	22	37.3%	2,263	45.2%	
47	41.6%	229	38.4%	309	38.5%	105	39.9%	52	38.5%	168	39.5%	25	42.4%	1,949	38.9%	
6	5.3%	21	3.5%	25	3.1%	11	4.2%	4	3.0%	14	3.3%	4	6.8%	188	3.8%	0.80
5	4.4%	58	9.7%	82	10.2%	26	9.9%	11	8.1%	41	9.6%	2	3.4%	481	9.6%	
53	46.9%	287	48.2%	380	47.4%	115	43.7%	67	49.6%	198	46.6%	27	45.8%	2,361	47.1%	
49	43.4%	230	38.6%	315	39.3%	111	42.2%	53	39.3%	172	40.5%	26	44.1%	1,980	39.5%	

表 2.7　地域別分析　商業施設利用およびネット利用

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
これまでの商業施設利用												
バー / ショップ / クラブ	53	27.2%	115	35.3%	87	35.2%	341	48.9%	343	35.0%	49	28.5%
ゲイバー	47	24.1%	100	30.7%	75	30.4%	320	45.8%	309	31.6%	45	26.2%
ゲイナイト(クラブ)	26	13.3%	56	17.2%	46	18.6%	210	30.1%	176	18.0%	31	18.0%
ゲイショップ	31	15.9%	75	23.0%	59	23.9%	231	33.1%	213	21.8%	34	19.8%
ハッテン場	39	20.0%	91	27.9%	65	26.3%	251	36.0%	264	27.0%	42	24.4%
有料のハッテン場	31	15.9%	59	18.1%	53	21.5%	225	32.2%	216	22.1%	33	19.2%
野外のハッテン場	29	14.9%	59	18.1%	42	17.0%	139	19.9%	156	15.9%	31	18.0%
ハッテン場で有名な公共施設	32	16.4%	68	20.9%	50	20.2%	146	20.9%	175	17.9%	32	18.6%
売り専やマッサージ	30	15.4%	63	19.3%	46	18.6%	173	24.8%	173	17.7%	24	14.0%
コミュニティ	67	34.4%	137	42.0%	100	40.5%	401	57.4%	427	43.6%	60	34.9%
過去 6 ヶ月間の商業施設利用												
バー / ショップ / クラブ	11	5.6%	28	8.6%	26	10.5%	105	15.0%	80	8.2%	15	8.7%
ゲイバー	11	5.6%	25	7.7%	24	9.7%	93	13.3%	67	6.8%	13	7.6%
ゲイナイト(クラブ)	5	2.6%	6	1.8%	13	5.3%	34	4.9%	32	3.3%	4	2.3%
ゲイショップ	6	3.1%	7	2.1%	12	4.9%	38	5.4%	34	3.5%	4	2.3%
ハッテン場	9	4.6%	22	6.7%	26	10.5%	92	13.2%	80	8.2%	12	7.0%
有料のハッテン場	9	4.6%	8	2.5%	19	7.7%	76	10.9%	57	5.8%	7	4.1%
野外のハッテン場	5	2.6%	13	4.0%	17	6.9%	29	4.2%	41	4.2%	6	3.5%
ハッテン場で有名な公共施設	6	3.1%	14	4.3%	16	6.5%	40	5.7%	44	4.5%	7	4.1%
売り専やマッサージ	6	3.1%	13	4.0%	13	5.3%	47	6.7%	47	4.8%	4	2.3%
これまでに、パソコンや携帯電話やスマートフォンの出会い系サイト / 掲示板 / アプリ /twitter で出会った相手と性交渉(セックス)をしたことがありますか。												
ある	77	39.5%	143	43.9%	108	43.7%	335	48.0%	432	44.1%	74	43.0%
ない	118	60.5%	183	56.1%	139	56.3%	363	52.0%	547	55.9%	98	57.0%
過去 6 ヶ月間に、パソコンや携帯電話やスマートフォンの出会い系サイト / 掲示板 / アプリ /twitter で出会った相手と性交渉(セックス)をしたことがありますか。												
ある	42	21.5%	66	20.2%	62	25.1%	201	28.8%	223	22.8%	38	22.1%
ない	35	17.9%	77	23.6%	46	18.6%	134	19.2%	209	21.3%	36	20.9%
これまでにない	118	60.5%	183	56.1%	139	56.3%	363	52.0%	547	55.9%	98	57.0%
過去 6 ヶ月間に性交渉(セックス)をした相手と出会う際に利用したのはどれですか？												
出会い系サイト	42	21.5%	69	21.2%	46	18.6%	172	24.6%	226	23.1%	36	20.9%
掲示板	32	16.4%	47	14.4%	43	17.4%	110	15.8%	149	15.2%	30	17.4%
スマートフォンの位置情報のあるアプリ	15	7.7%	42	12.9%	27	10.9%	136	19.5%	110	11.2%	23	13.4%
Twitter	9	4.6%	23	7.1%	15	6.1%	59	8.5%	79	8.1%	16	9.3%
SNS	9	4.6%	23	7.1%	15	6.1%	60	8.6%	81	8.3%	16	9.3%
その他	7	3.6%	13	4.0%	14	5.7%	27	3.9%	55	5.6%	9	5.2%
これまでに、ゲイ向けアプリのバナー広告を活用したセックスライフやゲイライフに関する WEB アンケートに回答したことがありますか。												
6 ヶ月以内にある	10	5.1%	21	6.4%	20	8.1%	51	7.3%	62	6.3%	8	4.7%
6 ヶ月から 1 年の間にある	10	5.1%	17	5.2%	15	6.1%	39	5.6%	25	2.6%	4	2.3%
1 年から 3 年の間にある	9	4.6%	22	6.7%	13	5.3%	37	5.3%	45	4.6%	7	4.1%
3 年から 5 年の間にある	2	1.0%	17	5.2%	12	4.9%	26	3.7%	17	1.7%	4	2.3%
5 年以上前にある	7	3.6%	10	3.1%	13	5.3%	36	5.2%	29	3.0%	8	4.7%
まったくない	160	82.1%	252	77.3%	187	75.7%	542	77.7%	821	83.9%	148	86.0%

北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
36	31.9%	186	31.2%	263	32.8%	90	34.2%	38	28.1%	132	31.1%	30	50.8%	1,763	35.2%	0.00
31	27.4%	166	27.9%	229	28.6%	77	29.3%	35	25.9%	124	29.2%	30	50.8%	1,588	31.7%	0.00
20	17.7%	101	16.9%	142	17.7%	44	16.7%	26	19.3%	65	15.3%	13	22.0%	956	19.1%	0.00
22	19.5%	101	16.9%	152	19.0%	47	17.9%	28	20.7%	74	17.4%	14	23.7%	1,081	21.6%	0.00
23	20.4%	137	23.0%	199	24.8%	60	22.8%	40	29.6%	99	23.3%	21	35.6%	1,331	26.6%	0.00
15	13.3%	105	17.6%	165	20.6%	43	16.3%	30	22.2%	80	18.8%	18	30.5%	1,073	21.4%	0.00
19	16.8%	82	13.8%	118	14.7%	42	16.0%	30	22.2%	68	16.0%	13	22.0%	828	16.5%	0.14
18	15.9%	98	16.4%	134	16.7%	40	15.2%	30	22.2%	68	16.0%	12	20.3%	903	18.0%	0.32
19	16.8%	101	16.9%	132	16.5%	30	11.4%	19	14.1%	76	17.9%	7	11.9%	893	17.8%	0.00
40	35.4%	231	38.8%	332	41.4%	105	39.9%	55	40.7%	160	37.6%	33	55.9%	2,148	42.9%	0.00
7	6.2%	42	7.0%	66	8.2%	17	6.5%	8	5.9%	31	7.3%	13	22.0%	449	9.0%	0.00
4	3.5%	35	5.9%	59	7.4%	14	5.3%	8	5.9%	26	6.1%	12	20.3%	391	7.8%	0.00
5	4.4%	17	2.9%	19	2.4%	5	1.9%	3	2.2%	12	2.8%	2	3.4%	157	3.1%	0.14
3	2.7%	15	2.5%	22	2.7%	5	1.9%	2	1.5%	11	2.6%	1	1.7%	160	3.2%	0.06
8	7.1%	41	6.9%	56	7.0%	14	5.3%	11	8.1%	36	8.5%	10	16.9%	417	8.3%	0.00
6	5.3%	21	3.5%	37	4.6%	10	3.8%	4	3.0%	23	5.4%	6	10.2%	283	5.6%	0.00
5	4.4%	20	3.4%	29	3.6%	4	1.5%	6	4.4%	18	4.2%	8	13.6%	201	4.0%	0.01
6	5.3%	23	3.9%	34	4.2%	6	2.3%	9	6.7%	21	4.9%	8	13.6%	234	4.7%	0.04
6	5.3%	31	5.2%	27	3.4%	6	2.3%	2	1.5%	9	2.1%	1	1.7%	212	4.2%	0.01
46	40.7%	245	41.1%	329	41.0%	103	39.2%	63	46.7%	178	41.9%	30	50.8%	2,163	43.2%	0.24
67	59.3%	351	58.9%	473	59.0%	160	60.8%	72	53.3%	247	58.1%	29	49.2%	2,847	56.8%	
21	18.6%	129	21.6%	156	19.5%	58	22.1%	35	25.9%	93	21.9%	16	27.1%	1,140	22.8%	0.13
25	22.1%	116	19.5%	173	21.6%	45	17.1%	28	20.7%	85	20.0%	14	23.7%	1,023	20.4%	
67	59.3%	351	58.9%	473	59.0%	160	60.8%	72	53.3%	247	58.1%	29	49.2%	2,847	56.8%	
19	16.8%	128	21.5%	173	21.6%	56	21.3%	37	27.4%	103	24.2%	14	23.7%	1,121	22.4%	0.32
15	13.3%	67	11.2%	116	14.5%	32	12.2%	29	21.5%	55	12.9%	13	22.0%	738	14.7%	0.13
12	10.6%	67	11.2%	92	11.5%	30	11.4%	12	8.9%	45	10.6%	5	8.5%	616	12.3%	0.00
4	3.5%	33	5.5%	60	7.5%	12	4.6%	9	6.7%	32	7.5%	2	3.4%	353	7.0%	0.24
4	3.5%	34	5.7%	60	7.5%	13	4.9%	9	6.7%	32	7.5%	2	3.4%	358	7.1%	0.25
6	5.3%	30	5.0%	29	3.6%	12	4.6%	5	3.7%	24	5.6%	6	10.2%	237	4.7%	0.27
6	5.3%	33	5.5%	34	4.2%	16	6.1%	7	5.2%	19	4.5%	5	8.5%	292	5.8%	0.40
5	4.4%	28	4.7%	27	3.4%	8	3.0%	7	5.2%	21	4.9%	2	3.4%	208	4.2%	0.10
4	3.5%	23	3.9%	36	4.5%	12	4.6%	8	5.9%	17	4.0%	2	3.4%	235	4.7%	0.89
3	2.7%	13	2.2%	21	2.6%	5	1.9%	3	2.2%	12	2.8%	1	1.7%	136	2.7%	0.04
8	7.1%	16	2.7%	27	3.4%	6	2.3%	10	7.4%	17	4.0%	2	3.4%	189	3.8%	0.06
89	78.8%	504	84.6%	679	84.7%	220	83.7%	103	76.3%	347	81.6%	48	81.4%	4,100	81.8%	0.00

表 2.8　地域別分析　性行動

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
あなたが、これまでに性交渉(セックス)をした同性の人数は何人ですか。												
1人	52	26.7%	78	23.9%	74	30.0%	144	20.6%	299	30.5%	29	16.9%
2人	18	9.2%	31	9.5%	21	8.5%	47	6.7%	81	8.3%	16	9.3%
3人以上	125	64.1%	217	66.6%	152	61.5%	507	72.6%	599	61.2%	127	73.8%
あなたが、これまでに同性と性交渉(セックス)をした回数は何回ですか。												
1回	42	21.5%	66	20.2%	64	25.9%	123	17.6%	251	25.6%	26	15.1%
2回	12	6.2%	20	6.1%	16	6.5%	35	5.0%	63	6.4%	12	7.0%
3回以上	141	72.3%	240	73.6%	167	67.6%	540	77.4%	665	67.9%	134	77.9%
あなたは、これまでに相手にお金を払って性交渉(セックス)をしたことがありますか。												
ある	96	49.2%	166	50.9%	130	52.6%	371	53.2%	532	54.3%	83	48.3%
ない	99	50.8%	160	49.1%	117	47.4%	327	46.8%	447	45.7%	89	51.7%
あなたは、これまでに相手からお金をもらって性交渉(セックス)をしたことがありますか。												
ある	28	14.4%	45	13.8%	42	17.0%	123	17.6%	128	13.1%	32	18.6%
ない	167	85.6%	281	86.2%	205	83.0%	575	82.4%	851	86.9%	140	81.4%
□これまでのコミュニティ×ネット利用												
いずれもない	95	48.7%	133	40.8%	109	44.1%	245	35.1%	409	41.8%	85	49.4%
ネットのみ利用	33	16.9%	56	17.2%	38	15.4%	52	7.4%	143	14.6%	27	15.7%
コミュニティのみ利用	26	13.3%	55	16.9%	33	13.4%	126	18.1%	147	15.0%	14	8.1%
いずれも利用	41	21.0%	82	25.2%	67	27.1%	275	39.4%	280	28.6%	46	26.7%
あなたは過去 6 ヶ月間に、男性と性交渉(セックス)をしたことがありますか。												
ある	33	16.9%	78	23.9%	52	21.1%	238	34.1%	254	25.9%	38	22.1%
ない	162	83.1%	248	76.1%	195	78.9%	460	65.9%	725	74.1%	134	77.9%

	北海道 n=33		東北 n=78		北関東 n=52		東京 n=238		南関東 n=254		甲信越 n=38	
過去 6 ヶ月間に男性と性交渉(セックス)したとき、あなた自身の HIV ステイタスをその相手に話しましたか。												
ほぼ全員に伝えた / すでに知っていた	6	18.2%	13	16.7%	14	26.9%	46	19.3%	49	19.3%	8	21.1%
一部に伝えた / すでに知っていた	4	12.1%	11	14.1%	8	15.4%	40	16.8%	45	17.7%	8	21.1%
誰にも伝えなかった	10	30.3%	27	34.6%	16	30.8%	73	30.7%	61	24.0%	9	23.7%
自分自身の HIV ステイタスを知らない	11	33.3%	23	29.5%	11	21.2%	58	24.4%	72	28.3%	9	23.7%
覚えていない	2	6.1%	4	5.1%	3	5.8%	21	8.8%	27	10.6%	4	10.5%
過去 6 ヶ月間に男性と性交渉(セックス)したとき、その相手の HIV ステイタスを知っていましたか。												
ほぼすべての相手が HIV 陰性であった	9	27.3%	18	23.1%	18	34.6%	71	29.8%	66	26.0%	11	28.9%
一部の相手が HIV 陽性であった	0	0.0%	7	9.0%	3	5.8%	20	8.4%	21	8.3%	5	13.2%
ほぼすべての相手が HIV 陽性であった	1	3.0%	5	6.4%	5	9.6%	5	2.1%	9	3.5%	2	5.3%
まったくわからない	20	60.6%	37	47.4%	20	38.5%	119	50.0%	122	48.0%	15	39.5%
覚えていない	3	9.1%	11	14.1%	6	11.5%	23	9.7%	36	14.2%	5	13.2%
過去 6 ヶ月間に、外国籍の人と性交渉(セックス)をしたことがありますか。												
ある	9	27.3%	14	17.9%	17	32.7%	76	31.9%	55	21.7%	10	26.3%
ない(すべて日本人だった)	24	72.7%	56	71.8%	31	59.6%	146	61.3%	185	72.8%	24	63.2%
相手の国籍はわからない	0	0.0%	8	10.3%	4	7.7%	16	6.7%	14	5.5%	4	10.5%
過去 6 ヶ月間に、複数人(自分を含む 3 人以上)で同時に性交渉(セックス)をしたことがありますか。												
ある	11	33.3%	25	32.1%	22	42.3%	82	34.5%	76	29.9%	15	39.5%
ない	22	66.7%	53	67.9%	30	57.7%	156	65.5%	178	70.1%	23	60.5%
過去 6 ヶ月間に、あなたが性交渉(セックス)をした相手は、以下のどれにあてはまりますか。(複数回答)												
彼氏や恋人	9	27.3%	35	44.9%	13	25.0%	103	43.3%	114	44.9%	11	28.9%
友達やセクフレ	17	51.5%	39	50.0%	28	53.8%	141	59.2%	132	52.0%	24	63.2%
その場限りの相手	15	45.5%	41	52.6%	27	51.9%	122	51.3%	114	44.9%	17	44.7%
その他	0	0.0%	1	1.3%	2	3.8%	2	0.8%	7	2.8%	1	2.6%

北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
35	31.0%	158	26.5%	210	26.2%	79	30.0%	39	28.9%	110	25.9%	16	27.1%	1,323	26.4%	0.01
10	8.8%	42	7.0%	70	8.7%	17	6.5%	14	10.4%	29	6.8%	5	8.5%	401	8.0%	
68	60.2%	396	66.4%	522	65.1%	167	63.5%	82	60.7%	286	67.3%	38	64.4%	3,286	65.6%	
29	25.7%	127	21.3%	168	20.9%	60	22.8%	31	23.0%	92	21.6%	14	23.7%	1,093	21.8%	0.10
11	9.7%	34	5.7%	59	7.4%	17	6.5%	8	5.9%	25	5.9%	4	6.8%	316	6.3%	
73	64.6%	435	73.0%	575	71.7%	186	70.7%	96	71.1%	308	72.5%	41	69.5%	3,601	71.9%	
65	57.5%	320	53.7%	450	56.1%	148	56.3%	81	60.0%	235	55.3%	31	52.5%	2,708	54.1%	
48	42.5%	276	46.3%	352	43.9%	115	43.7%	54	40.0%	190	44.7%	28	47.5%	2,302	45.9%	
16	14.2%	92	15.4%	111	13.8%	34	12.9%	26	19.3%	75	17.6%	8	13.6%	760	15.2%	
97	85.8%	504	84.6%	691	86.2%	229	87.1%	109	80.7%	350	82.4%	51	86.4%	4,250	84.8%	
59	52.2%	279	46.8%	357	44.5%	124	47.1%	60	44.4%	197	46.4%	16	27.1%	2,168	43.3%	0.00
14	12.4%	86	14.4%	113	14.1%	34	12.9%	20	14.8%	68	16.0%	10	16.9%	694	13.9%	
8	7.1%	78	13.1%	129	16.1%	37	14.1%	13	9.6%	51	12.0%	13	22.0%	730	14.6%	
32	28.3%	153	25.7%	203	25.3%	68	25.9%	42	31.1%	109	25.6%	20	33.9%	1,418	28.3%	
22	19.5%	136	22.8%	167	20.8%	59	22.4%	31	23.0%	93	21.9%	19	32.2%	1,220	24.4%	0.00
91	80.5%	460	77.2%	635	79.2%	204	77.6%	104	77.0%	332	78.1%	40	67.8%	3,790	75.6%	

北陸 n=22		東海 n=136		近畿 n=167		中国 n=59		四国 n=31		九州 n=93		沖縄 n=19		合計 n=1220		Pearson カイ２乗
6	27.3%	28	20.6%	25	15.0%	12	20.3%	4	12.9%	12	12.9%	2	10.5%	225	18.4%	0.96
3	13.6%	22	16.2%	34	20.4%	11	18.6%	4	12.9%	16	17.2%	3	15.8%	209	17.1%	
5	22.7%	35	25.7%	40	24.0%	12	20.3%	8	25.8%	33	35.5%	6	31.6%	335	27.5%	
6	27.3%	38	27.9%	54	32.3%	19	32.2%	11	35.5%	21	22.6%	4	21.1%	337	27.6%	
2	9.1%	13	9.6%	14	8.4%	5	8.5%	4	12.9%	11	11.8%	4	21.1%	114	9.3%	
6	27.3%	39	28.7%	46	27.5%	21	35.6%	3	9.7%	21	22.6%	5	26.3%	334	27.4%	0.57
4	18.2%	11	8.1%	11	6.6%	6	10.2%	3	9.7%	8	8.6%	1	5.3%	100	8.2%	
1	4.5%	5	3.7%	4	2.4%	3	5.1%	1	3.2%	7	7.5%	0	0.0%	48	3.9%	
9	40.9%	54	39.7%	82	49.1%	24	40.7%	19	61.3%	45	48.4%	11	57.9%	577	47.3%	
2	9.1%	27	19.9%	24	14.4%	5	8.5%	5	16.1%	12	12.9%	2	10.5%	161	13.2%	
10	45.5%	29	21.3%	40	24.0%	16	27.1%	4	12.9%	30	32.3%	8	42.1%	318	26.1%	0.06
12	54.5%	102	75.0%	116	69.5%	39	66.1%	25	80.6%	60	64.5%	11	57.9%	831	68.1%	
0	0.0%	5	3.7%	11	6.6%	4	6.8%	2	6.5%	3	3.2%	0	0.0%	71	5.8%	
10	45.5%	49	36.0%	63	37.7%	23	39.0%	8	25.8%	40	43.0%	4	21.1%	428	35.1%	0.42
12	54.5%	87	64.0%	104	62.3%	36	61.0%	23	74.2%	53	57.0%	15	78.9%	792	64.9%	
9	40.9%	58	42.6%	61	36.5%	27	45.8%	19	61.3%	38	40.9%	9	47.4%	506	41.5%	0.06
12	54.5%	73	53.7%	95	56.9%	30	50.8%	15	48.4%	59	63.4%	7	36.8%	672	55.1%	0.51
8	36.4%	51	37.5%	85	50.9%	19	32.2%	12	38.7%	44	47.3%	10	52.6%	565	46.3%	0.16
1	4.5%	6	4.4%	4	2.4%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	25	2.0%	0.46

表 2.9　地域別分析　相手別性行動

	北海道		東北		北関東		東京		南関東		甲信越	
過去 6 ヶ月間にセックスした、彼氏や恋人等の特定の相手は、何人くらいですか。												
1 人	4	44.4%	6	17.1%	3	23.1%	33	32.0%	34	29.8%	4	36.4%
2 人	2	22.2%	5	14.3%	2	15.4%	14	13.6%	21	18.4%	2	18.2%
3-5 人	2	22.2%	14	40.0%	2	15.4%	35	34.0%	29	25.4%	3	27.3%
6-9 人	0	0.0%	2	5.7%	2	15.4%	5	4.9%	9	7.9%	0	0.0%
10 人以上	1	11.1%	8	22.9%	4	30.8%	16	15.5%	21	18.4%	2	18.2%
合計	9	100%	35	100%	13	100%	103	100%	114	100%	11	100%
過去 6 ヶ月間の彼氏や恋人等の特定の相手との肛門性交(アナルセックス)												
ない	1	11.1%	2	5.7%	0	0.0%	16	15.5%	22	19.3%	2	18.2%
ある	8	88.9%	33	94.3%	13	100%	87	84.5%	92	80.7%	9	81.8%
合計	9	100%	35	100%	13	100%	103	100%	114	100%	11	100%
過去 6 ヶ月間の彼氏や恋人等の特定の相手との肛門性交(アナルセックス)におけるコンドーム使用状況												
非常用	5	62.5%	19	57.6%	9	69.2%	57	65.5%	64	69.6%	5	55.6%
常用	3	37.5%	14	42.4%	4	30.8%	30	34.5%	28	30.4%	4	44.4%
合計	8	100%	33	100%	13	100%	87	100%	92	100%	9	100%
過去 6 ヶ月間にセックスした、友達やセクフレ等の特定のセックス相手は、何人くらいですか。												
1 人	5	29.4%	8	20.5%	7	25.0%	21	14.9%	29	22.0%	5	20.8%
2 人	6	35.3%	6	15.4%	2	7.1%	35	24.8%	30	22.7%	5	20.8%
3-5 人	3	17.6%	10	25.6%	11	39.3%	43	30.5%	50	37.9%	10	41.7%
6-9 人	1	5.9%	6	15.4%	2	7.1%	15	10.6%	5	3.8%	0	0.0%
10 人以上	2	11.8%	9	23.1%	6	21.4%	27	19.1%	18	13.6%	4	16.7%
合計	17	100%	39	100%	28	100%	141	100%	132	100%	24	100%
過去 6 ヶ月間の友達やセクフレ等の特定のセックス相手との肛門性交(アナルセックス)												
ない	3	17.6%	2	5.1%	2	7.1%	23	16.3%	15	11.4%	4	16.7%
ある	14	82.4%	37	94.9%	26	92.9%	118	83.7%	117	88.6%	20	83.3%
合計	17	100%	39	100%	28	100%	141	100%	132	100%	24	100%
過去 6 ヶ月間の友達やセクフレ等の特定のセックス相手との肛門性交(アナルセックス)におけるコンドーム使用状況												
非常用	9	64.3%	24	64.9%	18	69.2%	86	72.9%	87	74.4%	15	75.0%
常用	5	35.7%	13	35.1%	8	30.8%	32	27.1%	30	25.6%	5	25.0%
合計	14	100%	37	100%	26	100%	118	100%	117	100%	20	100%
過去 6 ヶ月間にセックスした、その場限りの相手は、何人くらいですか。												
1 人	7	46.7%	6	14.6%	4	14.8%	19	15.6%	13	11.4%	3	17.6%
2 人	1	6.7%	7	17.1%	5	18.5%	18	14.8%	19	16.7%	2	11.8%
3-5 人	2	13.3%	16	39.0%	11	40.7%	40	32.8%	39	34.2%	8	47.1%
6-9 人	2	13.3%	4	9.8%	2	7.4%	8	6.6%	8	7.0%	2	11.8%
10 人以上	3	20.0%	8	19.5%	5	18.5%	37	30.3%	35	30.7%	2	11.8%
合計	15	100%	41	100%	27	100%	122	100%	114	100%	17	100%
過去 6 ヶ月間のその場限りの相手との肛門性交(アナルセックス)												
ない	2	13.3%	6	14.6%	7	25.9%	24	19.7%	23	20.2%	3	17.6%
ある	13	86.7%	35	85.4%	20	74.1%	98	80.3%	91	79.8%	14	82.4%
合計	15	100%	41	100%	27	100%	122	100%	114	100%	17	100%
過去 6 ヶ月間のその場限りの相手との肛門性交(アナルセックス)におけるコンドーム使用状況												
非常用	10	76.9%	21	60.0%	10	50.0%	71	72.4%	56	61.5%	10	71.4%
常用	3	23.1%	14	40.0%	10	50.0%	27	27.6%	35	38.5%	4	28.6%
合計	13	100%	35	100%	20	100%	98	100%	91	100%	14	100%
あなたは過去 6 ヶ月間に、男性と肛門性交(アナルセックス)をしたことがありますか。												
ない	5	15.2%	9	11.5%	9	17.3%	47	19.7%	51	20.1%	6	15.8%
ある	28	84.8%	69	88.5%	43	82.7%	191	80.3%	203	79.9%	32	84.2%
合計	33	100%	78	100%	52	100%	238	100%	254	100%	38	100%
過去 6 ヶ月間の男性との肛門性交(アナルセックス)におけるコンドーム使用状況												
非常用	19	67.9%	44	63.8%	26	60.5%	137	71.7%	147	72.4%	22	68.8%
常用	9	32.1%	25	36.2%	17	39.5%	54	28.3%	56	27.6%	10	31.3%
合計	28	100%	69	100%	43	100%	191	100%	203	100%	32	100%

北陸		東海		近畿		中国		四国		九州		沖縄		合計		Pearson カイ２乗
0	0.0%	25	43.1%	23	37.7%	12	44.4%	8	42.1%	10	26.3%	5	55.6%	167	33.0%	0.34
4	44.4%	11	19.0%	7	11.5%	4	14.8%	3	15.8%	5	13.2%	2	22.2%	82	16.2%	
1	11.1%	13	22.4%	17	27.9%	7	25.9%	7	36.8%	9	23.7%	2	22.2%	141	27.9%	
0	0.0%	1	1.7%	5	8.2%	2	7.4%	0	0.0%	2	5.3%	0	0.0%	28	5.5%	
4	44.4%	8	13.8%	9	14.8%	2	7.4%	1	5.3%	12	31.6%	0	0.0%	88	17.4%	
9	100%	58	100%	61	100%	27	100%	19	100%	38	100%	9	100%	506	100%	
2	22.2%	10	17.2%	7	11.5%	4	14.8%	4	21.1%	3	7.9%	3	33.3%	76	15.0%	0.44
7	77.8%	48	82.8%	54	88.5%	23	85.2%	15	78.9%	35	92.1%	6	66.7%	430	85.0%	
9	100%	58	100%	61	100%	27	100%	19	100%	38	100%	9	100%	506	100%	
5	71.4%	28	58.3%	37	68.5%	14	60.9%	9	60.0%	24	68.6%	3	50.0%	279	64.9%	0.97
2	28.6%	20	41.7%	17	31.5%	9	39.1%	6	40.0%	11	31.4%	3	50.0%	151	35.1%	
7	100%	48	100%	54	100%	23	100%	15	100%	35	100%	6	100%	430	100%	
3	25.0%	13	17.8%	20	21.1%	9	30.0%	2	13.3%	8	13.6%	0	0.0%	130	19.3%	0.28
2	16.7%	17	23.3%	19	20.0%	3	10.0%	3	20.0%	13	22.0%	4	57.1%	145	21.6%	
5	41.7%	27	37.0%	33	34.7%	14	46.7%	6	40.0%	17	28.8%	3	42.9%	232	34.5%	
0	0.0%	9	12.3%	7	7.4%	0	0.0%	1	6.7%	4	6.8%	0	0.0%	50	7.4%	
2	16.7%	7	9.6%	16	16.8%	4	13.3%	3	20.0%	17	28.8%	0	0.0%	115	17.1%	
12	100%	73	100%	95	100%	30	100%	15	100%	59	100%	7	100%	672	100%	
1	8.3%	9	12.3%	8	8.4%	2	6.7%	3	20.0%	4	6.8%	1	14.3%	77	11.5%	0.55
11	91.7%	64	87.7%	87	91.6%	28	93.3%	12	80.0%	55	93.2%	6	85.7%	595	88.5%	
12	100%	73	100%	95	100%	30	100%	15	100%	59	100%	7	100%	672	100%	
8	72.7%	40	62.5%	60	69.0%	19	67.9%	7	58.3%	43	78.2%	4	66.7%	420	70.6%	0.87
3	27.3%	24	37.5%	27	31.0%	9	32.1%	5	41.7%	12	21.8%	2	33.3%	175	29.4%	
11	100%	64	100%	87	100%	28	100%	12	100%	55	100%	6	100%	595	100%	
2	25.0%	12	23.5%	15	17.6%	7	36.8%	4	33.3%	9	20.5%	0	0.0%	101	17.9%	0.45
0	0.0%	12	23.5%	11	12.9%	1	5.3%	3	25.0%	6	13.6%	2	20.0%	87	15.4%	
5	62.5%	11	21.6%	31	36.5%	7	36.8%	4	33.3%	11	25.0%	4	40.0%	189	33.5%	
0	0.0%	4	7.8%	7	8.2%	1	5.3%	0	0.0%	2	4.5%	1	10.0%	41	7.3%	
1	12.5%	12	23.5%	21	24.7%	3	15.8%	1	8.3%	16	36.4%	3	30.0%	147	26.0%	
8	100%	51	100%	85	100%	19	100%	12	100%	44	100%	10	100%	565	100%	
4	50.0%	9	17.6%	13	15.3%	6	31.6%	1	8.3%	9	20.5%	3	30.0%	110	19.5%	0.53
4	50.0%	42	82.4%	72	84.7%	13	68.4%	11	91.7%	35	79.5%	7	70.0%	455	80.5%	
8	100%	51	100%	85	100%	19	100%	12	100%	44	100%	10	100%	565	100%	
3	75.0%	24	57.1%	44	61.1%	7	53.8%	9	81.8%	26	74.3%	6	85.7%	297	65.3%	0.38
1	25.0%	18	42.9%	28	38.9%	6	46.2%	2	18.2%	9	25.7%	1	14.3%	158	34.7%	
4	100%	42	100%	72	100%	13	100%	11	100%	35	100%	7	100%	455	100%	
6	27.3%	27	19.9%	19	11.4%	10	16.9%	6	19.4%	8	8.6%	6	31.6%	209	17.1%	0.10
16	72.7%	109	80.1%	148	88.6%	49	83.1%	25	80.6%	85	91.4%	13	68.4%	1,011	82.9%	
22	100%	136	100%	167	100%	59	100%	31	100%	93	100%	19	100%	1,220	100%	
13	81.3%	67	61.5%	97	65.5%	33	67.3%	17	68.0%	62	72.9%	9	69.2%	693	68.5%	0.66
3	18.8%	42	38.5%	51	34.5%	16	32.7%	8	32.0%	23	27.1%	4	30.8%	318	31.5%	
16	100%	109	100%	148	100%	49	100%	25	100%	85	100%	13	100%	1,011	100%	

表 2.10　地域別分析　コンドーム不使用の理由、性交時の併用

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
あなたが性交渉(セックス)するするときにコンドームを使わない、または使えないと思う理由は、次のうち、どれにあてはまりますか。(複数回答)												
コンドームの使い方を知らないから	10	5.1%	9	2.8%	3	1.2%	13	1.9%	22	2.2%	5	2.9%
コンドームを使ったことがないから	5	2.6%	17	5.2%	11	4.5%	16	2.3%	33	3.4%	4	2.3%
コンドームを使うのがめんどうだと思うから	20	10.3%	37	11.3%	25	10.1%	65	9.3%	110	11.2%	24	14.0%
コンドームをつけない方が一体感があるから	20	10.3%	58	17.8%	46	18.6%	96	13.8%	156	15.9%	33	19.2%
コンドームをつけない方が気持ちよいから	45	23.1%	83	25.5%	57	23.1%	140	20.1%	228	23.3%	38	22.1%
コンドームを使うとイケないから	13	6.7%	28	8.6%	21	8.5%	42	6.0%	65	6.6%	12	7.0%
タイプの人とできるならコンドームをつけなくてもいいと思う	14	7.2%	16	4.9%	13	5.3%	40	5.7%	58	5.9%	9	5.2%
今まで大丈夫だったから、今後もきっと大丈夫だと思う	13	6.7%	22	6.7%	14	5.7%	32	4.6%	53	5.4%	13	7.6%
相手につけてって言えないから	8	4.1%	11	3.4%	2	0.8%	34	4.9%	28	2.9%	5	2.9%
相手は特定の一人と決めているから	14	7.2%	41	12.6%	27	10.9%	49	7.0%	95	9.7%	12	7.0%
PrEP を服用しているから	1	0.5%	7	2.1%	2	0.8%	16	2.3%	15	1.5%	1	0.6%
定期的に検査しているから	4	2.1%	4	1.2%	3	1.2%	15	2.1%	17	1.7%	2	1.2%
もし、HIV に感染しても治療方法があるから	2	1.0%	9	2.8%	0	0.0%	11	1.6%	10	1.0%	2	1.2%
HIV 陽性で、治療を継続しているから	2	1.0%	6	1.8%	2	0.8%	11	1.6%	14	1.4%	2	1.2%
相手次第で、どちらでもよい	27	13.8%	43	13.2%	40	16.2%	123	17.6%	134	13.7%	31	18.0%
その他	5	2.6%	9	2.8%	4	1.6%	26	3.7%	30	3.1%	12	7.0%
過去 6 ヶ月間に、性交渉(セックス)する直前や、性交渉(セックス)するとき同時に使用したものはありますか。(複数回答)												
うがい薬	38	19.5%	69	21.2%	54	21.9%	159	22.8%	232	23.7%	28	16.3%
水溶性ローション(潤滑剤)	31	15.9%	72	22.1%	48	19.4%	167	23.9%	201	20.5%	34	19.8%
ぼっき薬(バイアグラなど)	23	11.8%	41	12.6%	26	10.5%	97	13.9%	106	10.8%	20	11.6%
ラッシュ	4	2.1%	13	4.0%	9	3.6%	26	3.7%	27	2.8%	6	3.5%
5MEO-DIPT	4	2.1%	6	1.8%	5	2.0%	10	1.4%	22	2.2%	3	1.7%
MDMA	2	1.0%	10	3.1%	5	2.0%	11	1.6%	13	1.3%	2	1.2%
GHB	5	2.6%	14	4.3%	6	2.4%	11	1.6%	16	1.6%	0	0.0%
覚せい剤	2	1.0%	5	1.5%	8	3.2%	12	1.7%	14	1.4%	1	0.6%
大麻	4	2.1%	12	3.7%	5	2.0%	5	0.7%	12	1.2%	1	0.6%
ヘロイン	1	0.5%	3	0.9%	3	1.2%	4	0.6%	6	0.6%	2	1.2%
コカイン	2	1.0%	5	1.5%	1	0.4%	1	0.1%	6	0.6%	3	1.7%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
いずれも使用していない	127	65.1%	179	54.9%	142	57.5%	386	55.3%	580	59.2%	111	64.5%

北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
3	2.7%	16	2.7%	14	1.7%	7	2.7%	3	2.2%	9	2.1%	0	0.0%	114	2.3%	0.39
4	3.5%	14	2.3%	20	2.5%	9	3.4%	6	4.4%	10	2.4%	2	3.4%	151	3.0%	0.39
17	15.0%	65	10.9%	86	10.7%	26	9.9%	23	17.0%	66	15.5%	9	15.3%	573	11.4%	0.07
13	11.5%	99	16.6%	124	15.5%	48	18.3%	30	22.2%	78	18.4%	8	13.6%	809	16.1%	0.08
24	21.2%	141	23.7%	198	24.7%	65	24.7%	39	28.9%	109	25.6%	13	22.0%	1,180	23.6%	0.61
9	8.0%	40	6.7%	60	7.5%	19	7.2%	6	4.4%	31	7.3%	3	5.1%	349	7.0%	0.93
8	7.1%	24	4.0%	44	5.5%	10	3.8%	11	8.1%	28	6.6%	2	3.4%	277	5.5%	0.66
11	9.7%	33	5.5%	39	4.9%	22	8.4%	10	7.4%	26	6.1%	3	5.1%	291	5.8%	0.41
3	2.7%	15	2.5%	18	2.2%	6	2.3%	3	2.2%	12	2.8%	2	3.4%	147	2.9%	0.16
8	7.1%	55	9.2%	83	10.3%	22	8.4%	12	8.9%	46	10.8%	5	8.5%	469	9.4%	0.26
0	0.0%	5	0.8%	9	1.1%	4	1.5%	0	0.0%	5	1.2%	1	1.7%	66	1.3%	0.29
1	0.9%	12	2.0%	19	2.4%	2	0.8%	2	1.5%	5	1.2%	0	0.0%	86	1.7%	0.78
3	2.7%	8	1.3%	9	1.1%	1	0.4%	0	0.0%	7	1.6%	0	0.0%	62	1.2%	0.15
0	0.0%	5	0.8%	9	1.1%	3	1.1%	1	0.7%	4	0.9%	0	0.0%	59	1.2%	0.91
24	21.2%	74	12.4%	115	14.3%	37	14.1%	21	15.6%	62	14.6%	9	15.3%	740	14.8%	0.26
1	0.9%	21	3.5%	17	2.1%	5	1.9%	4	3.0%	15	3.5%	3	5.1%	152	3.0%	0.09
21	18.6%	117	19.6%	142	17.7%	42	16.0%	28	20.7%	72	16.9%	7	11.9%	1,009	20.1%	0.02
21	18.6%	104	17.4%	147	18.3%	52	19.8%	23	17.0%	71	16.7%	11	18.6%	982	19.6%	0.14
11	9.7%	55	9.2%	72	9.0%	31	11.8%	10	7.4%	43	10.1%	9	15.3%	544	10.9%	0.19
3	2.7%	14	2.3%	18	2.2%	4	1.5%	3	2.2%	14	3.3%	2	3.4%	143	2.9%	0.74
3	2.7%	8	1.3%	13	1.6%	5	1.9%	2	1.5%	9	2.1%	0	0.0%	90	1.8%	0.97
2	1.8%	11	1.8%	13	1.6%	2	0.8%	2	1.5%	8	1.9%	0	0.0%	81	1.6%	0.76
1	0.9%	14	2.3%	16	2.0%	5	1.9%	1	0.7%	10	2.4%	0	0.0%	99	2.0%	0.12
1	0.9%	10	1.7%	11	1.4%	3	1.1%	3	2.2%	8	1.9%	0	0.0%	78	1.6%	0.73
0	0.0%	10	1.7%	17	2.1%	5	1.9%	2	1.5%	9	2.1%	1	1.7%	83	1.7%	0.11
1	0.9%	5	0.8%	5	0.6%	2	0.8%	3	2.2%	8	1.9%	0	0.0%	43	0.9%	0.49
1	0.9%	5	0.8%	7	0.9%	1	0.4%	0	0.0%	4	0.9%	0	0.0%	36	0.7%	0.44
0	0.0%	1	0.2%	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.1%	0.93
71	62.8%	374	62.8%	515	64.2%	168	63.9%	79	58.5%	280	65.9%	40	67.8%	3,052	60.9%	0.00

表 2.11　地域別分析　性感染症および HIV に関する知識

	北海道 n=195		東北 n=326		北関東 n=247		東京 n=698		南関東 n=979		甲信越 n=172	
過去 6 ヶ月間の薬物併用経験(再掲)												
いずれもない	162	83.1%	256	78.5%	198	80.2%	561	80.4%	816	83.4%	146	84.9%
ぼっき薬のみ	19	9.7%	34	10.4%	21	8.5%	86	12.3%	97	9.9%	18	10.5%
薬物併用	14	7.2%	36	11.0%	28	11.3%	51	7.3%	66	6.7%	8	4.7%
性感染症や検査に関する知識正答												
最近、わが国の HIV の感染経路は性行為によるものが最も多い	119	61.0%	195	59.8%	169	68.4%	449	64.3%	624	63.7%	116	67.4%
HIV に感染していても、適切な治療を行えば、感染していない人とほぼ同じ寿命を生きることができる	122	62.6%	210	64.4%	170	68.8%	500	71.6%	664	67.8%	121	70.3%
HIV に感染していても、服薬を継続することで血液中から HIV がほとんど見つからなくなるレベルに減少する	71	36.4%	111	34.0%	104	42.1%	336	48.1%	404	41.3%	76	44.2%
HIV に感染していても、適切に治療を継続することにより、他の人へ感染させる可能性は事実上ない	70	35.9%	93	28.5%	79	32.0%	252	36.1%	313	32.0%	53	30.8%
HIV 感染症の治療には 1 日 1 回 1 錠の服薬ですむ方法や注射もある	53	27.2%	95	29.1%	82	33.2%	276	39.5%	332	33.9%	59	34.3%
HIV 感染により免疫が低下すると、さまざまな性感染症や悪性腫瘍にかかりやすくなる	105	53.8%	194	59.5%	162	65.6%	480	68.8%	628	64.1%	115	66.9%
HIV に感染したばかりの頃は、風邪の症状とよく似ているが違う部分もある	70	35.9%	124	38.0%	112	45.3%	359	51.4%	428	43.7%	83	48.3%
性感染症(性病)に感染していると、HIV に感染しやすくなる	65	33.3%	108	33.1%	111	44.9%	343	49.1%	413	42.2%	79	45.9%
通常の HIV 抗体検査では、HIV に感染してから 2～3 ヶ月経過しないと感染しているかどうかわからない	69	35.4%	119	36.5%	101	40.9%	339	48.6%	394	40.2%	70	40.7%
HIV 即日検査や郵送検査キットでは感染していなくても陽性と結果が出ることがある	57	29.2%	104	31.9%	106	42.9%	277	39.7%	370	37.8%	69	40.1%
HIV 即日検査や郵送検査キットでは、検査結果を確認するために病院や保健所などで再度検査が必要になる場合がある	73	37.4%	139	42.6%	120	48.6%	352	50.4%	464	47.4%	88	51.2%
保健所では名前を言わずに無料で HIV 抗体検査ができる	105	53.8%	183	56.1%	155	62.8%	473	67.8%	603	61.6%	106	61.6%

	北陸 n=113		東海 n=596		近畿 n=802		中国 n=263		四国 n=135		九州 n=425		沖縄 n=59		合計 n=5010		Pearson カイ２乗
	97	85.8%	511	85.7%	693	86.4%	223	84.8%	116	85.9%	357	84.0%	49	83.1%	4,185	83.5%	0.03
	9	8.0%	47	7.9%	59	7.4%	27	10.3%	8	5.9%	34	8.0%	7	11.9%	466	9.3%	
	7	6.2%	38	6.4%	50	6.2%	13	4.9%	11	8.1%	34	8.0%	3	5.1%	359	7.2%	
	70	61.9%	384	64.4%	521	65.0%	166	63.1%	81	60.0%	254	59.8%	35	59.3%	3,183	63.5%	0.51
	77	68.1%	388	65.1%	528	65.8%	183	69.6%	89	65.9%	279	65.6%	43	72.9%	3,374	67.3%	0.27
	33	29.2%	221	37.1%	326	40.6%	96	36.5%	52	38.5%	158	37.2%	19	32.2%	2,007	40.1%	0.00
	39	34.5%	172	28.9%	243	30.3%	78	29.7%	44	32.6%	139	32.7%	19	32.2%	1,594	31.8%	0.33
	31	27.4%	177	29.7%	270	33.7%	85	32.3%	44	32.6%	121	28.5%	21	35.6%	1,646	32.9%	0.01
	68	60.2%	360	60.4%	479	59.7%	177	67.3%	82	60.7%	261	61.4%	34	57.6%	3,145	62.8%	0.00
	48	42.5%	243	40.8%	340	42.4%	106	40.3%	46	34.1%	154	36.2%	20	33.9%	2,133	42.6%	0.00
	50	44.2%	242	40.6%	303	37.8%	102	38.8%	50	37.0%	165	38.8%	25	42.4%	2,056	41.0%	0.00
	38	33.6%	238	39.9%	321	40.0%	111	42.2%	47	34.8%	149	35.1%	24	40.7%	2,020	40.3%	0.00
	35	31.0%	196	32.9%	265	33.0%	91	34.6%	39	28.9%	133	31.3%	13	22.0%	1,755	35.0%	0.00
	49	43.4%	263	44.1%	364	45.4%	117	44.5%	57	42.2%	185	43.5%	25	42.4%	2,296	45.8%	0.07
	63	55.8%	354	59.4%	505	63.0%	160	60.8%	77	57.0%	259	60.9%	41	69.5%	3,084	61.6%	0.01

表 2.12　商業施設利用別分析　基本属性

	□これまでのコミュニティ×ネット利用												Pearson
	いずれもない		ネットのみ利用		コミュニティのみ利用		いずれも利用		合計				
	n=2168		n=694		n=730		n=1418		n=5010				カイ 2 乗
これまでの商業施設利用													
ゲイバー	0	0.0%	0	0.0%	464	63.6%	1,124	79.3%	1,588	31.7%			0.00
ゲイナイト(クラブ)	0	0.0%	0	0.0%	232	31.8%	724	51.1%	956	19.1%			0.00
ゲイショップ	0	0.0%	0	0.0%	237	32.5%	844	59.5%	1,081	21.6%			0.00
ゲイ向け乱パ	1	0.0%	4	0.6%	90	12.3%	430	30.3%	525	10.5%			0.00
有料のハッテン場	0	0.0%	0	0.0%	182	24.9%	891	62.8%	1,073	21.4%			0.00
野外のハッテン場	0	0.0%	0	0.0%	142	19.5%	686	48.4%	828	16.5%			0.00
ハッテン場で有名な公共施設	0	0.0%	0	0.0%	164	22.5%	739	52.1%	903	18.0%			0.00
売り専やマッサージ	0	0.0%	0	0.0%	295	40.4%	598	42.2%	893	17.8%			0.00
過去 6 ヶ月間の商業施設利用													
ゲイバー	0	0.0%	0	0.0%	69	9.5%	322	22.7%	391	7.8%			0.00
ゲイナイト(クラブ)	0	0.0%	0	0.0%	18	2.5%	139	9.8%	157	3.1%			0.00
ゲイショップ	0	0.0%	0	0.0%	23	3.2%	137	9.7%	160	3.2%			0.00
ゲイ向け乱パ	0	0.0%	1	0.1%	11	1.5%	94	6.6%	106	2.1%			0.00
有料のハッテン場	0	0.0%	0	0.0%	37	5.1%	246	17.3%	283	5.6%			0.00
野外のハッテン場	0	0.0%	0	0.0%	23	3.2%	178	12.6%	201	4.0%			0.00
ハッテン場で有名な公共施設	0	0.0%	0	0.0%	31	4.2%	203	14.3%	234	4.7%			0.00
売り専やマッサージ	0	0.0%	0	0.0%	56	7.7%	156	11.0%	212	4.2%			0.00
スマートフォンの位置情報のあるアプリ	0	0.0%	65	9.4%	4	0.5%	376	26.5%	445	8.9%			0.00
出会い系サイト / 掲示板	0	0.0%	213	30.7%	26	3.6%	634	44.7%	873	17.4%			0.00
SNS	0	0.0%	36	5.2%	5	0.7%	202	14.2%	243	4.9%			0.00
年齢階級													
29 歳以下	197	9.1%	115	16.6%	70	9.6%	195	13.8%	577	11.5%			0.00
30-39 歳	481	22.2%	213	30.7%	170	23.3%	426	30.0%	1,290	25.7%			
40-49 歳	745	34.4%	221	31.8%	227	31.1%	482	34.0%	1,675	33.4%			
50 歳以上	745	34.4%	145	20.9%	263	36.0%	315	22.2%	1,468	29.3%			
あなたは、現在結婚していますか。													
女性と結婚	1,385	63.9%	359	51.7%	328	44.9%	412	29.1%	2,484	49.6%			0.00
パートナーと養子縁組	3	0.1%	3	0.4%	12	1.6%	38	2.7%	56	1.1%			
パートナーシップ制度の利用	16	0.7%	8	1.2%	22	3.0%	55	3.9%	101	2.0%			
離別	108	5.0%	58	8.4%	55	7.5%	76	5.4%	297	5.9%			
死別	13	0.6%	3	0.4%	16	2.2%	16	1.1%	48	1.0%			
未婚	643	29.7%	263	37.9%	297	40.7%	821	57.9%	2,024	40.4%			
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。													
中心市街地	753	34.7%	244	35.2%	256	35.1%	621	43.8%	1,874	37.4%			0.00
郊外住宅地	1,205	55.6%	394	56.8%	384	52.6%	650	45.8%	2,633	52.6%			
農村地域・漁村地域	138	6.4%	43	6.2%	45	6.2%	103	7.3%	329	6.6%			
山間部	53	2.4%	11	1.6%	26	3.6%	28	2.0%	118	2.4%			
離島	17	0.8%	2	0.3%	18	2.5%	14	1.0%	51	1.0%			
その他	2	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.1%	5	0.1%			
あなたは、現在、一人暮らしですか。													
はい(一人暮らし)	462	21.3%	212	30.5%	232	31.8%	640	45.1%	1,546	30.9%			0.00
いいえ	1,694	78.1%	481	69.3%	485	66.4%	764	53.9%	3,424	68.3%			
定住している家はない	12	0.6%	1	0.1%	13	1.8%	14	1.0%	40	0.8%			
あなたの性別を表す表現として最も近いのはどれですか。													
男性	2,105	97.1%	663	95.5%	668	91.5%	1,283	90.5%	4,719	94.2%			0.00
女性として生まれたが男性(FtM)	21	1.0%	10	1.4%	15	2.1%	44	3.1%	90	1.8%			
男性として生まれたが女性(MtF)	20	0.9%	14	2.0%	35	4.8%	67	4.7%	136	2.7%			
女性	14	0.6%	2	0.3%	8	1.1%	11	0.8%	35	0.7%			
その他	8	0.4%	5	0.7%	4	0.5%	13	0.9%	30	0.6%			
あなたのセクシュアリティ（性的指向、どの性別の人に性的に惹かれるか)を表す表現として最も近いのはどれですか。													
ゲイ・レズビアン(同性愛者)	35	1.6%	57	8.2%	112	15.3%	613	43.2%	817	16.3%			0.00
バイセクシュアル(両性愛者)	92	4.2%	97	14.0%	158	21.6%	370	26.1%	717	14.3%			
ヘテロセクシュアル(異性愛者)	1,527	70.4%	435	62.7%	304	41.6%	248	17.5%	2,514	50.2%			
わからない	369	17.0%	74	10.7%	107	14.7%	120	8.5%	670	13.4%			
決めたくない	138	6.4%	29	4.2%	48	6.6%	66	4.7%	281	5.6%			
その他	7	0.3%	2	0.3%	1	0.1%	1	0.1%	11	0.2%			
最終学歴													
中学校	60	2.8%	21	3.0%	19	2.6%	53	3.7%	153	3.1%			0.06
高等学校	470	21.7%	172	24.8%	148	20.3%	305	21.5%	1,095	21.9%			
専門学校 / 短大 / 高専	316	14.6%	110	15.9%	124	17.0%	258	18.2%	808	16.1%			
大学 / 大学院	1,318	60.8%	391	56.3%	437	59.9%	801	56.5%	2,947	58.8%			
その他	4	0.2%	0	0.0%	2	0.3%	1	0.1%	7	0.1%			

表 2.13　商業施設利用別分析　就業形態・この 1 年間の経験

	□これまでのコミュニティ×ネット利用																Pearson
	いずれもない			ネットのみ利用			コミュニティのみ利用			いずれも利用			合計				
	n=2168			n=694			n=730			n=1418			n=5010				カイ 2 乗
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか。																	
学生	36	1.7%		16	2.3%		4	0.5%		33	2.3%		89	1.8%			0.00
企業・団体の役員	100	4.6%		22	3.2%		38	5.2%		57	4.0%		217	4.3%			
企業団体の正規社員 / 職員	1,317	60.7%		403	58.1%		350	47.9%		726	51.2%		2,796	55.8%			
公務員	247	11.4%		84	12.1%		66	9.0%		112	7.9%		509	10.2%			
自営業主(個人・家族経営)	166	7.7%		42	6.1%		92	12.6%		136	9.6%		436	8.7%			
事業主(従業員を雇用)	22	1.0%		6	0.9%		22	3.0%		29	2.0%		79	1.6%			
臨時・契約・嘱託社員 / 職員	37	1.7%		32	4.6%		23	3.2%		59	4.2%		151	3.0%			
派遣社員 / 職員	30	1.4%		18	2.6%		36	4.9%		54	3.8%		138	2.8%			
請負社員 / 職員	7	0.3%		5	0.7%		6	0.8%		11	0.8%		29	0.6%			
パート・アルバイト	68	3.1%		33	4.8%		39	5.3%		89	6.3%		229	4.6%			
専業主婦・主夫	5	0.2%		5	0.7%		6	0.8%		7	0.5%		23	0.5%			
その他	48	2.2%		9	1.3%		18	2.5%		23	1.6%		98	2.0%			
働いていない	85	3.9%		19	2.7%		30	4.1%		82	5.8%		216	4.3%			
この 1 年間の状況について、あなたが経験したこと																	
1. 普段の生活において経済的なことや生活で困ること																	
ない	1,532	70.7%		408	58.8%		423	57.9%		713	50.3%		3,076	61.4%			0.00
1 回ある	154	7.1%		55	7.9%		63	8.6%		174	12.3%		446	8.9%			
2 回か 3 回ある	198	9.1%		91	13.1%		114	15.6%		205	14.5%		608	12.1%			
4 回か 5 回ある	45	2.1%		21	3.0%		22	3.0%		68	4.8%		156	3.1%			
6 回以上ある	239	11.0%		119	17.1%		108	14.8%		258	18.2%		724	14.5%			
2. 医療費の支払いに不安を感じたこと																	
ない	1,626	75.0%		459	66.1%		455	62.3%		791	55.8%		3,331	66.5%			0.00
1 回ある	167	7.7%		72	10.4%		112	15.3%		204	14.4%		555	11.1%			
2 回か 3 回ある	189	8.7%		88	12.7%		85	11.6%		212	15.0%		574	11.5%			
4 回か 5 回ある	42	1.9%		17	2.4%		24	3.3%		54	3.8%		137	2.7%			
6 回以上ある	144	6.6%		58	8.4%		54	7.4%		157	11.1%		413	8.2%			
3. 給与や年金の支給前に、暮らしに困ること																	
ない	1,544	71.2%		427	61.5%		430	58.9%		720	50.8%		3,121	62.3%			0.00
1 回ある	156	7.2%		49	7.1%		63	8.6%		165	11.6%		433	8.6%			
2 回か 3 回ある	189	8.7%		76	11.0%		105	14.4%		223	15.7%		593	11.8%			
4 回か 5 回ある	53	2.4%		25	3.6%		36	4.9%		64	4.5%		178	3.6%			
6 回以上ある	226	10.4%		117	16.9%		96	13.2%		246	17.3%		685	13.7%			
4. 家計の支払い(税金、保険料、通信費、電気代、クレジットカードなど)に困ったこと																	
ない	1,505	69.4%		399	57.5%		405	55.5%		673	47.5%		2,982	59.5%			0.00
1 回ある	187	8.6%		62	8.9%		91	12.5%		179	12.6%		519	10.4%			
2 回か 3 回ある	200	9.2%		91	13.1%		87	11.9%		247	17.4%		625	12.5%			
4 回か 5 回ある	50	2.3%		27	3.9%		37	5.1%		82	5.8%		196	3.9%			
6 回以上ある	226	10.4%		115	16.6%		110	15.1%		237	16.7%		688	13.7%			
5. 食事に費やすお金が足りないために、家族の誰かが空腹な思いをしたこと																	
ない	1,807	83.3%		543	78.2%		536	73.4%		974	68.7%		3,860	77.0%			0.00
1 回ある	110	5.1%		46	6.6%		48	6.6%		139	9.8%		343	6.8%			
2 回か 3 回ある	85	3.9%		40	5.8%		63	8.6%		130	9.2%		318	6.3%			
4 回か 5 回ある	33	1.5%		16	2.3%		31	4.2%		47	3.3%		127	2.5%			
6 回以上ある	133	6.1%		49	7.1%		52	7.1%		128	9.0%		362	7.2%			
6. 経済的な理由で衣類購入を控えたこと																	
ない	1,519	70.1%		429	61.8%		418	57.3%		694	48.9%		3,060	61.1%			0.00
1 回ある	178	8.2%		57	8.2%		75	10.3%		175	12.3%		485	9.7%			
2 回か 3 回ある	174	8.0%		73	10.5%		93	12.7%		217	15.3%		557	11.1%			
4 回か 5 回ある	60	2.8%		17	2.4%		33	4.5%		83	5.9%		193	3.9%			
6 回以上ある	237	10.9%		118	17.0%		111	15.2%		249	17.6%		715	14.3%			

表 2.14　商業施設利用別分析　性感染症既往、PrEP 利用、コンドーム購入・所持、クリニック受診行動

	□これまでのコミュニティ×ネット利用										
	いずれもない		ネットのみ利用		コミュニティのみ利用		いずれも利用		合計		Pearson
	n=2168		n=694		n=730		n=1418		n=5010		カイ 2 乗
これまでにかかったことのある性感染症はどれですか。											
いずれかある	310	14.3%	217	31.3%	258	35.3%	780	55.0%	1,565	31.2%	0.00
いずれもない	1,858	85.7%	477	68.7%	472	64.7%	638	45.0%	3,445	68.8%	
これまでにかかったことのある性感染症はどれですか。（複数回答・再掲）											
梅毒	22	1.0%	19	2.7%	42	5.8%	252	17.8%	335	6.7%	0.00
A 型肝炎	6	0.3%	3	0.4%	9	1.2%	63	4.4%	81	1.6%	0.00
B 型肝炎	14	0.6%	9	1.3%	21	2.9%	118	8.3%	162	3.2%	0.00
C 型肝炎	10	0.5%	5	0.7%	14	1.9%	53	3.7%	82	1.6%	0.00
尖圭コンジローマ	32	1.5%	19	2.7%	32	4.4%	144	10.2%	227	4.5%	0.00
クラミジア	126	5.8%	105	15.1%	85	11.6%	239	16.9%	555	11.1%	0.00
淋病	73	3.4%	55	7.9%	60	8.2%	160	11.3%	348	6.9%	0.00
性器ヘルペス	38	1.8%	31	4.5%	29	4.0%	121	8.5%	219	4.4%	0.00
アメーバ赤痢	7	0.3%	0	0.0%	11	1.5%	46	3.2%	64	1.3%	0.00
HIV 感染症	6	0.3%	7	1.0%	20	2.7%	118	8.3%	151	3.0%	0.00
性器カンジタ症	27	1.2%	26	3.7%	16	2.2%	58	4.1%	127	2.5%	0.00
膣トリコモナス症	3	0.1%	2	0.3%	5	0.7%	36	2.5%	46	0.9%	0.00
毛じらみ症	48	2.2%	37	5.3%	51	7.0%	262	18.5%	398	7.9%	0.00
サル痘	7	0.3%	0	0.0%	5	0.7%	28	2.0%	40	0.8%	0.00
その他の性感染症	3	0.1%	3	0.4%	3	0.4%	9	0.6%	18	0.4%	0.11
「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP）」に関する上記のような情報について、知っていましたか。											
とてもよく知っている	88	4.1%	54	7.8%	72	9.9%	362	25.5%	576	11.5%	0.00
具体的には知らないが、聞いたことはある	499	23.0%	199	28.7%	245	33.6%	651	45.9%	1,594	31.8%	
まったく知らなかった	1,581	72.9%	441	63.5%	413	56.6%	405	28.6%	2,840	56.7%	
これまでに「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP）」をしたことがありますか。											
ある	71	3.3%	42	6.1%	89	12.2%	317	22.4%	519	10.4%	0.00
ない	2,097	96.7%	652	93.9%	641	87.8%	1,101	77.6%	4,491	89.6%	
過去 6 ヶ月間に「HIV 感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP）」をしたことがありますか。											
ある	11	0.5%	13	1.9%	12	1.6%	144	10.2%	180	3.6%	0.00
ない	2,157	99.5%	681	98.1%	718	98.4%	1,274	89.8%	4,830	96.4%	
あなたは、過去 6 ヶ月間に、コンドームを購入したことがありますか。											
ある	390	18.0%	228	32.9%	190	26.0%	594	41.9%	1,402	28.0%	0.00
ない	1,778	82.0%	466	67.1%	540	74.0%	824	58.1%	3,608	72.0%	
過去 6 ヶ月間、あなたはコンドームをすぐに使えるようにいつも身近に持っていましたか。											
すぐ使える場所に置いていた	350	16.1%	143	20.6%	131	17.9%	348	24.5%	972	19.4%	0.00
いつも身近に持っていた	164	7.6%	116	16.7%	122	16.7%	317	22.4%	719	14.4%	
時々は身近に持っていた	291	13.4%	121	17.4%	122	16.7%	275	19.4%	809	16.1%	
まったく身近にはなかった	1,363	62.9%	314	45.2%	355	48.6%	478	33.7%	2,510	50.1%	
あなたは、次のうちいずれかのワクチンの予防接種をしたことがありますか。											
いずれかある	189	8.7%	84	12.1%	134	18.4%	359	25.3%	766	15.3%	0.00
いずれもない	1,979	91.3%	610	87.9%	596	81.6%	1,059	74.7%	4,244	84.7%	
あなたは、次のうちいずれかのワクチンの予防接種をしたことがありますか。（複数回答・再掲）											
A 型肝炎	48	2.2%	27	3.9%	35	4.8%	172	12.1%	282	5.6%	0.00
B 型肝炎	159	7.3%	65	9.4%	80	11.0%	242	17.1%	546	10.9%	0.00
HPV（ヒトパピローマウィルス）	26	1.2%	18	2.6%	41	5.6%	120	8.5%	205	4.1%	0.00
これまでに、性感染症の診断や治療のために病院やクリニックを受診したことがありますか。											
ある	288	13.3%	224	32.3%	215	29.5%	713	50.3%	1,440	28.7%	0.00
ない	1,880	86.7%	470	67.7%	515	70.5%	705	49.7%	3,570	71.3%	
過去 1 年間に、性感染症の診断や治療のために病院やクリニックを受診したことがありますか。											
全くない	214	9.9%	140	20.2%	138	18.9%	337	23.8%	829	16.5%	0.00
1 回だけある	46	2.1%	57	8.2%	51	7.0%	180	12.7%	334	6.7%	
2 回ある	16	0.7%	15	2.2%	13	1.8%	73	5.1%	117	2.3%	
3 回以上ある	12	0.6%	12	1.7%	13	1.8%	123	8.7%	160	3.2%	
これまでにない	1,880	86.7%	470	67.7%	515	70.5%	705	49.7%	3,570	71.3%	
これまでに、医療機関（病院、クリニック）で医療職者から、HIV 抗体検査（エイズ検査）をすすめられたことはありますか。											
すすめられて、受検した	40	1.8%	41	5.9%	53	7.3%	250	17.6%	384	7.7%	0.00
すすめられたが、そのときは受検しなかった	31	1.4%	21	3.0%	50	6.8%	151	10.6%	253	5.0%	
すすめられたことはない	1,920	88.6%	586	84.4%	573	78.5%	923	65.1%	4,002	79.9%	
おぼえていない	177	8.2%	46	6.6%	54	7.4%	94	6.6%	371	7.4%	

表 2.15　商業施設利用別分析　HIV 検査受検行動

	□これまでのコミュニティ×ネット利用										
	いずれもない		ネットのみ利用		コミュニティのみ利用		いずれも利用		合計		Pearson
	n=2168		n=694		n=730		n=1418		n=5010		カイ 2 乗
これまでに、HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	259	11.9%	191	27.5%	217	29.7%	873	61.6%	1,540	30.7%	0.00
ない	1,909	88.1%	503	72.5%	513	70.3%	545	38.4%	3,470	69.3%	
あなたがこれまでに受けた、HIV 抗体検査(エイズ検査)の場所はどこですか。(複数回答)											
保健所(再掲)	113	5.2%	98	14.1%	110	15.1%	522	36.8%	843	16.8%	0.00
保健所の即日検査	83	3.8%	71	10.2%	73	10.0%	364	25.7%	591	11.8%	0.00
保健所の夜間検査	18	0.8%	18	2.6%	17	2.3%	112	7.9%	165	3.3%	0.00
保健所の即日・夜間検査以外	28	1.3%	22	3.2%	34	4.7%	174	12.3%	258	5.1%	0.00
病院・クリニック(再掲)	90	4.2%	76	11.0%	74	10.1%	367	25.9%	607	12.1%	0.00
病院	52	2.4%	42	6.1%	46	6.3%	232	16.4%	372	7.4%	0.00
クリニック・医院・診療所	44	2.0%	44	6.3%	31	4.2%	191	13.5%	310	6.2%	0.00
郵送検査・自己検査キット(再掲)	24	1.1%	18	2.6%	21	2.9%	165	11.6%	228	4.6%	0.00
郵送検査	11	0.5%	13	1.9%	9	1.2%	94	6.6%	127	2.5%	0.00
自己検査キット	14	0.6%	9	1.3%	13	1.8%	99	7.0%	135	2.7%	0.00
その他(再掲)	57	2.6%	33	4.8%	59	8.1%	237	16.7%	386	7.7%	0.00
HIV 検査イベント	7	0.3%	8	1.2%	14	1.9%	101	7.1%	130	2.6%	0.00
健康診断のオプション	16	0.7%	9	1.3%	17	2.3%	49	3.5%	91	1.8%	0.00
献血	26	1.2%	16	2.3%	18	2.5%	62	4.4%	122	2.4%	0.00
新宿や大阪の公的検査機関	10	0.5%	5	0.7%	17	2.3%	90	6.3%	122	2.4%	0.00
その他	5	0.2%	2	0.3%	5	0.7%	9	0.6%	21	0.4%	0.00
あなたが一番最近に HIV 検査(エイズ検査)を受けたのはいつでしたか。											
6 ヶ月以内	20	0.9%	31	4.5%	18	2.5%	182	12.8%	251	5.0%	0.00
6 ヶ月から 1 年の間	20	0.9%	17	2.4%	11	1.5%	125	8.8%	173	3.5%	
1 年から 3 年の間	33	1.5%	24	3.5%	33	4.5%	184	13.0%	274	5.5%	
3 年から 5 年の間	36	1.7%	38	5.5%	38	5.2%	117	8.3%	229	4.6%	
5 年以上前	150	6.9%	81	11.7%	117	16.0%	265	18.7%	613	12.2%	
これまでにない	1,909	88.1%	503	72.5%	513	70.3%	545	38.4%	3,470	69.3%	
過去 1 年間に HIV 検査(エイズ検査)を受けたことがありますか。											
ある	38	1.8%	45	6.5%	28	3.8%	258	18.2%	369	7.4%	0.00
ない	2,124	98.0%	642	92.5%	682	93.4%	1,042	73.5%	4,490	89.6%	
すでに HIV 陽性を確認している	6	0.3%	7	1.0%	20	2.7%	118	8.3%	151	3.0%	
定期的に、HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けていますか。											
定期的に受けていない	2,038	94.0%	582	83.9%	584	80.0%	731	51.6%	3,935	78.5%	0.00
3 ヶ月に 1 回以上は受けている	3	0.1%	9	1.3%	10	1.4%	101	7.1%	123	2.5%	
6 ヶ月に 1 回は受けている	6	0.3%	14	2.0%	15	2.1%	93	6.6%	128	2.6%	
1 年に 1 回は受けている	20	0.9%	19	2.7%	32	4.4%	113	8.0%	184	3.7%	
感染リスクのある行為の後に受けている	87	4.0%	60	8.6%	63	8.6%	244	17.2%	454	9.1%	
その他	8	0.4%	3	0.4%	6	0.8%	18	1.3%	35	0.7%	
すでに HIV 陽性を確認している	6	0.3%	7	1.0%	20	2.7%	118	8.3%	151	3.0%	
定期的に、HIV 抗体検査(エイズ検査)を受けていますか。(再掲)											
定期的に受けていない	2,046	94.4%	585	84.3%	589	80.7%	746	52.6%	3,966	79.2%	0.00
定期的に受けている	116	5.4%	102	14.7%	121	16.6%	554	39.1%	893	17.8%	
すでに HIV 陽性を確認している	6	0.3%	7	1.0%	20	2.7%	118	8.3%	151	3.0%	

表 2.16　商業施設別分析　対話経験、感染可能性、HIV 感染の身近さ

	□これまでのコミュニティ×ネット利用																Pearson
	いずれもない				ネットのみ利用				コミュニティのみ利用				いずれも利用				合計				カイ 2 乗
	n=2168				n=694				n=730				n=1418				n=5010				
あなたは、これまでに次にあげる関係の人と HIV 感染症やエイズ、性感染症について話したことがありますか。																					
両親や兄弟姉妹と																					
6 ヶ月以内にある	22		1.0%		13		1.9%		42		5.8%		134		9.4%		211		4.2%		0.00
6 ヶ月以上前にある	71		3.3%		30		4.3%		72		9.9%		165		11.6%		338		6.7%		
まったくない	1,068		49.3%		338		48.7%		365		50.0%		688		48.5%		2,459		49.1%		
いない	1,007		46.4%		313		45.1%		251		34.4%		431		30.4%		2,002		40.0%		
恋人やパートナーと																					
6 ヶ月以内にある	44		2.0%		33		4.8%		43		5.9%		201		14.2%		321		6.4%		0.00
6 ヶ月以上前にある	221		10.2%		94		13.5%		170		23.3%		405		28.6%		890		17.8%		
まったくない	891		41.1%		260		37.5%		245		33.6%		371		26.2%		1,767		35.3%		
いない	1,012		46.7%		307		44.2%		272		37.3%		441		31.1%		2,032		40.6%		
友達や知り合いと																					
6 ヶ月以内にある	31		1.4%		31		4.5%		45		6.2%		219		15.4%		326		6.5%		0.00
6 ヶ月以上前にある	238		11.0%		109		15.7%		207		28.4%		441		31.1%		995		19.9%		
まったくない	926		42.7%		279		40.2%		262		35.9%		441		31.1%		1,908		38.1%		
いない	973		44.9%		275		39.6%		216		29.6%		317		22.4%		1,781		35.5%		
性交渉(セックス)した相手と																					
6 ヶ月以内にある	26		1.2%		37		5.3%		40		5.5%		205		14.5%		308		6.1%		0.00
6 ヶ月以上前にある	143		6.6%		97		14.0%		146		20.0%		419		29.5%		805		16.1%		
まったくない	990		45.7%		281		40.5%		305		41.8%		461		32.5%		2,037		40.7%		
いない	1,009		46.5%		279		40.2%		239		32.7%		333		23.5%		1,860		37.1%		
医師や看護師などの医療職者と																					
6 ヶ月以内にある	28		1.3%		16		2.3%		40		5.5%		200		14.1%		284		5.7%		0.00
6 ヶ月以上前にある	77		3.6%		53		7.6%		97		13.3%		287		20.2%		514		10.3%		
まったくない	1,048		48.3%		319		46.0%		346		47.4%		550		38.8%		2,263		45.2%		
いない	1,015		46.8%		306		44.1%		247		33.8%		381		26.9%		1,949		38.9%		
職場の人や仕事関係の人と																					
6 ヶ月以内にある	30		1.4%		15		2.2%		30		4.1%		113		8.0%		188		3.8%		0.00
6 ヶ月以上前にある	133		6.1%		55		7.9%		105		14.4%		188		13.3%		481		9.6%		
まったくない	1,007		46.4%		322		46.4%		346		47.4%		686		48.4%		2,361		47.1%		
いない	998		46.0%		302		43.5%		249		34.1%		431		30.4%		1,980		39.5%		
あなたは、周りの友達や知り合いに HIV に感染している人はいると思いますか。																					
いる	27		1.2%		24		3.5%		39		5.3%		304		21.4%		394		7.9%		0.00
いると思う	220		10.1%		126		18.2%		152		20.8%		395		27.9%		893		17.8%		
いないと思う	819		37.8%		273		39.3%		262		35.9%		352		24.8%		1,706		34.1%		
いない	387		17.9%		79		11.4%		84		11.5%		82		5.8%		632		12.6%		
わからない	715		33.0%		192		27.7%		193		26.4%		285		20.1%		1,385		27.6%		
過去 6 ヶ月間の行動を振り返って、あなたは自分自身が HIV に感染している可能性があると思いますか。																					
全く可能性はなかった	1,449		66.8%		384		55.3%		413		56.6%		519		36.6%		2,765		55.2%		0.00
あまり可能性はなかった	131		6.0%		115		16.6%		83		11.4%		298		21.0%		627		12.5%		
どちらとも言えない	75		3.5%		52		7.5%		63		8.6%		209		14.7%		399		8.0%		
少し可能性があった	32		1.5%		31		4.5%		31		4.2%		132		9.3%		226		4.5%		
かなり可能性があった	26		1.2%		15		2.2%		25		3.4%		39		2.8%		105		2.1%		
わからない	449		20.7%		90		13.0%		95		13.0%		103		7.3%		737		14.7%		
すでに HIV 陽性を確認している	6		0.3%		7		1.0%		20		2.7%		118		8.3%		151		3.0%		
過去 6 ヶ月間の行動を振り返って、HIV を除いて、梅毒などの性感染症にあなたは自分自身が感染する可能性があると思いますか。																					
全く可能性はなかった	1,451		66.9%		360		51.9%		397		54.4%		521		36.7%		2,729		54.5%		0.00
あまり可能性はなかった	145		6.7%		115		16.6%		101		13.8%		296		20.9%		657		13.1%		
どちらとも言えない	87		4.0%		54		7.8%		79		10.8%		249		17.6%		469		9.4%		
少し可能性があった	35		1.6%		54		7.8%		45		6.2%		171		12.1%		305		6.1%		
かなり可能性があった	21		1.0%		16		2.3%		17		2.3%		83		5.9%		137		2.7%		
わからない	429		19.8%		95		13.7%		91		12.5%		98		6.9%		713		14.2%		
周りには、HIV や性感染症に関連した話しや悩みごとについて相談ができると思う人はいますか。																					
誰にも相談したくはない	564		26.0%		158		22.8%		141		19.3%		228		16.1%		1,091		21.8%		0.00
いない	639		29.5%		178		25.6%		168		23.0%		227		16.0%		1,212		24.2%		
いる	965		44.5%		358		51.6%		421		57.7%		963		67.9%		2,707		54.0%		
周りには、男性同性間で性交渉(セックス)に関連した話しや悩みごとについて相談ができると思う人はいますか。																					
誰にも相談したくはない	623		28.7%		196		28.2%		154		21.1%		217		15.3%		1,190		23.8%		0.00
いない	1,024		47.2%		264		38.0%		261		35.8%		263		18.5%		1,812		36.2%		
いる	521		24.0%		234		33.7%		315		43.2%		938		66.1%		2,008		40.1%		
もしも付添や介助が必要なくらい体調が悪くなったときに病院への付き添いや介助をしてくれる人はいますか。																					
誰にも相談したくはない	404		18.6%		114		16.4%		107		14.7%		172		12.1%		797		15.9%		0.00
いない	472		21.8%		138		19.9%		147		20.1%		286		20.2%		1,043		20.8%		
いる	1,292		59.6%		442		63.7%		476		65.2%		960		67.7%		3,170		63.3%		

表 2.17　商業施設利用別分析　性行動

	□これまでのコミュニティ×ネット利用												Pearson
	いずれもない		ネットのみ利用		コミュニティのみ利用		いずれも利用		合計				
	n=2168		n=694		n=730		n=1418		n=5010				カイ 2 乗
これまでに、ゲイ向けアプリのバナー広告を活用したセックスライフやゲイライフに関する WEB アンケートに回答したことがありますか。													
6 ヶ月以内にある	14	0.6%	25	3.6%	34	4.7%	219	15.4%	292	5.8%			0.00
6 ヶ月から 1 年の間にある	12	0.6%	16	2.3%	30	4.1%	150	10.6%	208	4.2%			0.00
1 年から 3 年の間にある	17	0.8%	22	3.2%	35	4.8%	161	11.4%	235	4.7%			0.00
3 年から 5 年の間にある	16	0.7%	8	1.2%	23	3.2%	89	6.3%	136	2.7%			0.00
5 年以上前にある	39	1.8%	27	3.9%	32	4.4%	91	6.4%	189	3.8%			0.00
まったくない	2,072	95.6%	608	87.6%	585	80.1%	835	58.9%	4,100	81.8%			0.00
あなたは、これまでに相手にお金を払って性交渉(セックス)をしたことがありますか。													
ある	996	45.9%	459	66.1%	448	61.4%	805	56.8%	2,708	54.1%			0.00
ない	1,172	54.1%	235	33.9%	282	38.6%	613	43.2%	2,302	45.9%			
あなたは、これまでに相手からお金をもらって性交渉(セックス)をしたことがありますか。													
ある	91	4.2%	85	12.2%	116	15.9%	468	33.0%	760	15.2%			0.00
ない	2,077	95.8%	609	87.8%	614	84.1%	950	67.0%	4,250	84.8%			
これまでに性交渉(セックス)をした相手の性別は次のどれに該当しますか。													
同性のみ	1,579	72.8%	312	45.0%	296	40.5%	627	44.2%	2,814	56.2%			0.00
同性と異性の両方	589	27.2%	382	55.0%	434	59.5%	791	55.8%	2,196	43.8%			
あなたは過去 6 ヶ月間に、男性と性交渉(セックス)をしたことがありますか。													
ある	72	3.3%	136	19.6%	141	19.3%	871	61.4%	1,220	24.4%			0.00
ない	2,096	96.7%	558	80.4%	589	80.7%	547	38.6%	3,790	75.6%			

	□これまでのコミュニティ×ネット利用												Pearson
	いずれもない		ネットのみ利用		コミュニティのみ利用		いずれも利用		合計				
	n=72		n=136		n=141		n=871		n=1220				カイ 2 乗
過去 6 ヶ月間に男性と性交渉(セックス)したとき、あなた自身の HIV ステイタスをその相手に話しましたか。													
ほぼ全員に伝えた、あるいはすでに知っていた	5	6.9%	26	19.1%	13	9.2%	181	20.8%	225	18.4%			0.00
一部に伝えた、あるいはすでに知っていた	5	6.9%	16	11.8%	15	10.6%	173	19.9%	209	17.1%			
誰にも伝えなかった	13	18.1%	28	20.6%	46	32.6%	248	28.5%	335	27.5%			
自分自身の HIV ステイタスを知らない	29	40.3%	46	33.8%	51	36.2%	211	24.2%	337	27.6%			
覚えていない	20	27.8%	20	14.7%	16	11.3%	58	6.7%	114	9.3%			
過去 6 ヶ月間に男性と性交渉(セックス)したとき、その相手の HIV ステイタスを知っていましたか。													
ほぼすべての相手が HIV 陰性であった	10	13.9%	29	21.3%	31	22.0%	264	30.3%	334	27.4%			0.00
一部の相手が HIV 陽性であった	1	1.4%	6	4.4%	5	3.5%	88	10.1%	100	8.2%			
ほぼすべての相手が HIV 陽性であった	4	5.6%	4	2.9%	7	5.0%	33	3.8%	48	3.9%			
相手が HIV 陽性か陰性かまったくわからない	30	41.7%	69	50.7%	77	54.6%	401	46.0%	577	47.3%			
覚えていない	27	37.5%	28	20.6%	21	14.9%	85	9.8%	161	13.2%			
過去 6 ヶ月間に、外国籍の人と性交渉(セックス)をしたことがありますか。													
ある	4	5.6%	25	18.4%	16	11.3%	273	31.3%	318	26.1%			0.00
ない(すべて日本人だった)	66	91.7%	107	78.7%	115	81.6%	543	62.3%	831	68.1%			
相手の国籍はわからない	2	2.8%	4	2.9%	10	7.1%	55	6.3%	71	5.8%			
過去 6 ヶ月間に、複数人(自分を含む 3 人以上)で同時に性交渉(セックス)をしたことがありますか。													
ある	7	9.7%	32	23.5%	31	22.0%	358	41.1%	428	35.1%			0.00
ない	65	90.3%	104	76.5%	110	78.0%	513	58.9%	792	64.9%			
過去 6 ヶ月間に、あなたが性交渉(セックス)をした相手は、以下のどれにあてはまりますか。(複数回答)													
彼氏や恋人	33	45.8%	54	39.7%	54	38.3%	365	41.9%	506	41.5%			0.71
友達やセクフレ	29	40.3%	73	53.7%	53	37.6%	517	59.4%	672	55.1%			0.00
その場限りの相手	15	20.8%	56	41.2%	72	51.1%	422	48.5%	565	46.3%			0.00
その他	4	5.6%	3	2.2%	4	2.8%	14	1.6%	25	2.0%			0.13

表 2.18　商業施設利用別分析　相手別性行動

	□これまでのコミュニティ×ネット利用												
	いずれもない		ネットのみ利用		コミュニティのみ利用		いずれも利用		合計				Pearson
	n=72		n=136		n=141		n=871		n=1220				カイ 2 乗
過去 6 ヶ月間にセックスした、彼氏や恋人等の特定の相手は、何人くらいですか。													
1 人	22	66.7%	22	40.7%	24	44.4%	99	27.1%	167	33.0%			0.00
2 人	9	27.3%	10	18.5%	7	13.0%	56	15.3%	82	16.2%			
3-5 人	2	6.1%	14	25.9%	12	22.2%	113	31.0%	141	27.9%			
6-9 人	0	0.0%	4	7.4%	4	7.4%	20	5.5%	28	5.5%			
10 人以上	0	0.0%	4	7.4%	7	13.0%	77	21.1%	88	17.4%			
合計	33	100.0%	54	100.0%	54	100.0%	365	100.0%	506	100.0%			
過去 6 ヶ月間の彼氏や恋人等の特定の相手との肛門性交(アナルセックス)													
ない	7	21.2%	6	11.1%	7	13.0%	56	15.3%	76	15.0%			0.60
ある	26	78.8%	48	88.9%	47	87.0%	309	84.7%	430	85.0%			
合計	33	100.0%	54	100.0%	54	100.0%	365	100.0%	506	100.0%			
過去 6 ヶ月間の彼氏や恋人等の特定の相手との肛門性交(アナルセックス)におけるコンドーム使用状況													
非常用	14	53.8%	26	54.2%	28	59.6%	211	68.3%	279	64.9%			0.11
常用	12	46.2%	22	45.8%	19	40.4%	98	31.7%	151	35.1%			
合計	26	100.0%	48	100.0%	47	100.0%	309	100.0%	430	100.0%			
過去 6 ヶ月間にセックスした、友達やセクフレ等の特定のセックス相手は、何人くらいですか。													
1 人	13	44.8%	14	19.2%	11	20.8%	92	17.8%	130	19.3%			0.01
2 人	8	27.6%	23	31.5%	13	24.5%	101	19.5%	145	21.6%			
3-5 人	4	13.8%	20	27.4%	19	35.8%	189	36.6%	232	34.5%			
6-9 人	2	6.9%	6	8.2%	4	7.5%	38	7.4%	50	7.4%			
10 人以上	2	6.9%	10	13.7%	6	11.3%	97	18.8%	115	17.1%			
合計	29	100.0%	73	100.0%	53	100.0%	517	100.0%	672	100.0%			
過去 6 ヶ月間の友達やセクフレ等の特定のセックス相手との肛門性交(アナルセックス)													
ない	3	10.3%	10	13.7%	9	17.0%	55	10.6%	77	11.5%			0.51
ある	26	89.7%	63	86.3%	44	83.0%	462	89.4%	595	88.5%			
合計	29	100.0%	73	100.0%	53	100.0%	517	100.0%	672	100.0%			
過去 6 ヶ月間の友達やセクフレ等の特定のセックス相手との肛門性交(アナルセックス)におけるコンドーム使用状況													
非常用	14	53.8%	37	58.7%	26	59.1%	343	74.2%	420	70.6%			0.00
常用	12	46.2%	26	41.3%	18	40.9%	119	25.8%	175	29.4%			
合計	26	100.0%	63	100.0%	44	100.0%	462	100.0%	595	100.0%			
過去 6 ヶ月間にセックスした、その場限りの相手は、何人くらいですか。													
1 人	8	53.3%	19	33.9%	14	19.4%	60	14.2%	101	17.9%			0.00
2 人	1	6.7%	6	10.7%	19	26.4%	61	14.5%	87	15.4%			
3-5 人	5	33.3%	16	28.6%	22	30.6%	146	34.6%	189	33.5%			
6-9 人	1	6.7%	3	5.4%	3	4.2%	34	8.1%	41	7.3%			
10 人以上	0	0.0%	12	21.4%	14	19.4%	121	28.7%	147	26.0%			
合計	15	100.0%	56	100.0%	72	100.0%	422	100.0%	565	100.0%			
過去 6 ヶ月間のその場限りの相手との肛門性交(アナルセックス)													
ない	3	20.0%	9	16.1%	19	26.4%	79	18.7%	110	19.5%			0.43
ある	12	80.0%	47	83.9%	53	73.6%	343	81.3%	455	80.5%			
合計	15	100.0%	56	100.0%	72	100.0%	422	100.0%	565	100.0%			
過去 6 ヶ月間のその場限りの相手との肛門性交(アナルセックス)におけるコンドーム使用状況													
非常用	3	25.0%	27	57.4%	23	43.4%	244	71.1%	297	65.3%			0.00
常用	9	75.0%	20	42.6%	30	56.6%	99	28.9%	158	34.7%			
合計	12	100.0%	47	100.0%	53	100.0%	343	100.0%	455	100.0%			
あなたは過去 6 ヶ月間に、男性と肛門性交(アナルセックス)をしたことがありますか。													
ある	55	76.4%	117	86.0%	109	77.3%	730	83.8%	1,011	82.9%			0.08
ない	17	23.6%	19	14.0%	32	22.7%	141	16.2%	209	17.1%			
合計	72	100.0%	136	100.0%	141	100.0%	871	100.0%	1,220	100.0%			
過去 6 ヶ月間の男性との肛門性交(アナルセックス)におけるコンドーム使用状況													
非常用	25	45.5%	71	60.7%	56	51.4%	541	74.1%	693	68.5%			0.00
常用	30	54.5%	46	39.3%	53	48.6%	189	25.9%	318	31.5%			
合計	55	100.0%	117	100.0%	109	100.0%	730	100.0%	1,011	100.0%			

表 2.19　商業施設利用別分析　コンドーム不使用の理由、性交時の併用、知識、予防啓発の認知

	□これまでのコミュニティ（売り専のみ含まず）×ネット利用										
	いずれもない		ネットのみ利用		コミュニティのみ利用		いずれも利用		合計		Pearson
	n=2168		n=694		n=730		n=1418		n=5010		カイ２乗
過去６ヶ月間に、性交渉（セックス）する直前や、性交渉（セックス）するとき同時に使用したものはありますか。（複数回答）											
うがい薬	300	13.8%	127	18.3%	166	22.7%	416	29.3%	1,009	20.1%	0.00
水溶性ローション（潤滑剤）	150	6.9%	125	18.0%	142	19.5%	565	39.8%	982	19.6%	0.00
ぼっき薬（バイアグラなど）	96	4.4%	81	11.7%	81	11.1%	286	20.2%	544	10.9%	0.00
ラッシュ	17	0.8%	13	1.9%	28	3.8%	85	6.0%	143	2.9%	0.00
5MEO-DIPT	6	0.3%	3	0.4%	18	2.5%	63	4.4%	90	1.8%	0.00
MDMA	4	0.2%	3	0.4%	17	2.3%	57	4.0%	81	1.6%	0.00
GHB	10	0.5%	9	1.3%	24	3.3%	56	3.9%	99	2.0%	0.00
覚せい剤	5	0.2%	5	0.7%	17	2.3%	51	3.6%	78	1.6%	0.00
大麻	5	0.2%	6	0.9%	20	2.7%	52	3.7%	83	1.7%	0.00
ヘロイン	4	0.2%	2	0.3%	6	0.8%	31	2.2%	43	0.9%	0.00
コカイン	2	0.1%	3	0.4%	8	1.1%	23	1.6%	36	0.7%	0.00
その他	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%	4	0.1%	0.21
いずれも使用していない	1,713	79.0%	428	61.7%	404	55.3%	507	35.8%	3,052	60.9%	0.00
過去６ヶ月間の薬物併用経験											
いずれもない	2,033	93.8%	591	85.2%	578	79.2%	983	69.3%	4,185	83.5%	0.00
ぼっき薬のみ	95	4.4%	76	11.0%	67	9.2%	228	16.1%	466	9.3%	
薬物併用	40	1.8%	27	3.9%	85	11.6%	207	14.6%	359	7.2%	
性感染症や検査に関する知識正答											
最近、わが国の HIV の感染経路は性行為によるものが最も多い	1,206	55.6%	444	64.0%	461	63.2%	1,072	75.6%	3,183	63.5%	0.00
HIV に感染していても、適切な治療を行えば、感染していない人とほぼ同じ寿命を生きることができる	1,339	61.8%	457	65.9%	493	67.5%	1,085	76.5%	3,374	67.3%	0.00
HIV に感染していても、服薬を継続することで血液中から HIV がほとんど見つからなくなるレベル（検出限界以下）に減少する	694	32.0%	239	34.4%	272	37.3%	802	56.6%	2,007	40.1%	0.00
HIV に感染していても、適切に治療を継続することにより、他の人へ感染させる可能性は事実上ない	588	27.1%	176	25.4%	239	32.7%	591	41.7%	1,594	31.8%	0.00
HIV 感染症の治療には１日１回１錠の服薬ですむ方法や注射もある	543	25.0%	198	28.5%	243	33.3%	662	46.7%	1,646	32.9%	0.00
HIV 感染により免疫が低下すると、さまざまな性感染症（性病）や悪性腫瘍（がん）にかかりやすくなる	1,188	54.8%	453	65.3%	470	64.4%	1,034	72.9%	3,145	62.8%	0.00
HIV に感染したばかりの頃は、風邪の症状とよく似ているが違う部分もある	748	34.5%	299	43.1%	310	42.5%	776	54.7%	2,133	42.6%	0.00
性感染症（性病）に感染していると、HIV に感染しやすくなる	719	33.2%	264	38.0%	291	39.9%	782	55.1%	2,056	41.0%	0.00
通常の HIV 抗体検査（エイズ検査）では、HIV に感染してから２～３ヶ月経過しないと感染しているかどうかわからない	641	29.6%	272	39.2%	295	40.4%	812	57.3%	2,020	40.3%	0.00
HIV 即日検査や郵送検査キットでは感染していなくても陽性と結果が出ることがある	610	28.1%	235	33.9%	255	34.9%	655	46.2%	1,755	35.0%	0.00
HIV 即日検査や郵送検査キットでは、検査結果を確認するために病院や保健所などで再度検査が必要になる場合がある	830	38.3%	316	45.5%	331	45.3%	819	57.8%	2,296	45.8%	0.00
保健所では名前を言わずに無料で HIV 抗体検査（エイズ検査）ができる	1,110	51.2%	429	61.8%	469	64.2%	1,076	75.9%	3,084	61.6%	0.00
これまでの HIV やエイズに関するできことについての経験（複数回答）											
授業や講義等で HIV 陽性者当事者の生の話を聞いた	536	24.7%	212	30.5%	227	31.1%	516	36.4%	1,491	29.8%	0.00
テレビ・ラジオなどで HIV 陽性者に関する番組を視聴した	1,236	57.0%	419	60.4%	526	72.1%	967	68.2%	3,148	62.8%	0.00
HIV 陽性者が登場する映画や演劇を観た	787	36.3%	279	40.2%	388	53.2%	820	57.8%	2,274	45.4%	0.00
HIV 陽性者が登場する小説や本を読んだ	511	23.6%	198	28.5%	283	38.8%	589	41.5%	1,581	31.6%	0.00
HIV にかかわるイベントに参加した	221	10.2%	90	13.0%	160	21.9%	416	29.3%	887	17.7%	0.00
HIV 陽性者当事者の書いた手記を読んだり聞いたりした	416	19.2%	171	24.6%	261	35.8%	607	42.8%	1,455	29.0%	0.00
予防啓発に取り組んでいるコミュニティセンター（6 ヶ所）に行った	217	10.0%	95	13.7%	151	20.7%	442	31.2%	905	18.1%	0.00
コミュニティセンター ZEL	160	7.4%	67	9.7%	81	11.1%	242	17.1%	550	11.0%	0.00
コミュニティセンター akta	150	6.9%	67	9.7%	116	15.9%	317	22.4%	650	13.0%	0.00
コミュニティセンター rise	150	6.9%	65	9.4%	95	13.0%	254	17.9%	564	11.3%	0.00
コミュニティセンター dista	156	7.2%	68	9.8%	93	12.7%	277	19.5%	594	11.9%	0.00
コミュニティセンター HACO	150	6.9%	63	9.1%	92	12.6%	247	17.4%	552	11.0%	0.00
コミュニティセンター mabui	143	6.6%	63	9.1%	92	12.6%	238	16.8%	536	10.7%	0.00

（3）MSMを対象とした健康のためのコミュニケーション支援ツールの開発と評価

◢ 研究分担者：野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科）
◢ 研究協力者：生島 嗣（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
山口 正純（博慈会長寿リハビリセンター病院）
三輪 岳史（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
吉田 博美（駒澤大学）

研究要旨

MSM の HIV 感染と薬物使用を予防するうえで、リスク行動を避け健康に生活するためのコミュニケーションスキルの向上が求められる。とくにトラウマや逆境体験の影響により感情の表出や調整、安定した対人関係構築が困難な若年 MSM に考慮した支援が必要と考えられ、文献調査をふまえ、セルフスタディ用の支援ツールを作成した。MSM のコミュニケーション支援として、昨年度に作成した 2 本の動画（「コミュニケーションのタイプ」「感情の理解」）に加え、「境界線（バウンダリー）」と「I(アイ) メッセージ」の動画を作成し、公開した。これらの動画教材を用いた 4 回のオンライン講座を実施し、のべ HIV 陽性者 25 名が参加した。また、HIV 支援に関わるコミュニティのスタッフ計 12 名へのフォーカスグループインタビューを実施し、当事者および現場のニーズと課題を把握した。

A 研究目的

MSM の HIV 感染と薬物使用を予防する上で、リスク行動を避け健康に生活するためのコミュニケーションスキルの向上が求められるが、とくにトラウマや逆境体験の影響により、感情の表出や調整、安定した対人関係構築が困難な若年 MSM に考慮した支援を行う必要がある。そこで、安全で健康的な関係性に必要な内容を含むセルフスタディ用の支援ツールを開発し、評価を行う。

これにより、若年の MSM、とくにコミュニケーションスキルの課題によって HIV 感染や薬物使用の予防行動がとりづらい集団に、スキル向上のセルフスタディの機会を提供することで、健康な生活を支援することが期待できる。

B 研究方法

文献調査によって把握された MSM の HIV 感染と薬物使用の関連性や行動傾向をふまえて、コミュニケーションスキルをテーマとしたセルフスタディツールの構成要素を検討する。自分自身のコミュニケーションタイプの自覚（self-awareness）を高めるための自己学習ツールを開発するために、1 年目に実施した MSM を対象とした「アサーション・トレーニング」「ストレス・マネジメント講座」から抽出されたコミュニケーション上の課題に基づき、自己学習ツールをさらに 2 本作成し、【1】コミュニケーションのタイプ、【2】感情の理解、【3】境界線、【4】アサーションをテーマとする全 4 本のシリーズとした。

さらに、動画への反応や課題を明らかにするために、MSM を対象に本動画を教材としたオンライン講座を実施し、参加者（のべ 25 名）の反応を分析した。また、コミュニティ支援者（計 12 名）を対象としたフォーカスグループインタビューを実施し、現場のニーズと課

題を把握した。

（倫理面への配慮）

本研究は、大阪大学大学院人間科学研究科教育学系の倫理審査を受けて行われた。方法および結果において、調査対象者の個人情報に触れることはない。

C 研究結果

1．コミュニケーション支援ツールの開発

昨年度に作成した『ひげおとひげじのおしゃべりしま SHOW』と題する各 15 分程度の動画の【1】よりよいコミュニケーションってなに？ ～爽やか・アサーション～、【2】気持ちに気づこう！ 怒りの氷山ってなに？に続き、下記 2 本を追加し、Web 上で視聴できるようにした（Stay Healthy のサイトにて公開 https://stayhealthy.tokyo/：図 1）。いずれも動画の内容の解説や自己学習用のワークが掲載されている冊子がダウンロードでき、視聴者向けの web アンケートも設定した。

【3】適切な境界線とは？（バウンダリー）

昨年度調査より、コミュニケーションやストレス・マネジメントに関するプログラムに参加した MSM のなかでは、「他者からの依頼を断れない」「自分の意見をうまく伝えられずに相手に押し付けてしまう」といった自他の境界線にまつわる課題が多く挙げられた。トラウマや逆境も、安全や尊重といった「自分の大切な領域」を揺るがすものであり、境界線を破られたことで境界線が脆弱になりやすい。よって、動画では心理的境界線、物理的境界線、社会的境界線の具体例を挙げながら、シリーズ【1】で取り上げたコミュニケーションのタイプとの関連性を示した。

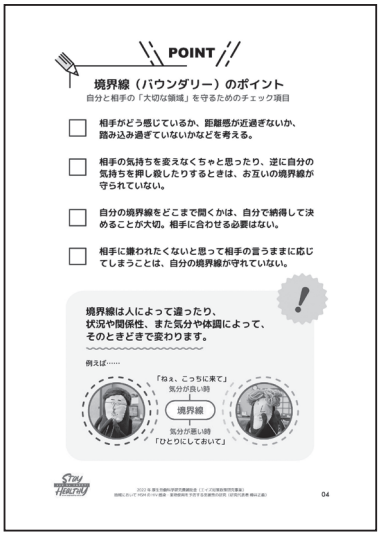

図 3.1　自己学習用ワーク：境界線（バウンダリー）

【4】I（アイ）メッセージ（アサーション）

動画のまとめとして、コミュニケーションのスキルの一つである「I（アイ）メッセージ」を紹介した。これは他者を非難する言いかた（You メッセージ）ではなく、自分の考えや気持ちを相手を慮りつつ率直に伝えるものであり、【2】感情の理解とつながる課題である。また、自分の境界線（意思や権利）が侵害されたときに、自己主張するスキルであり【3】の境界線とも関連している。

シナリオでは、日常的なコミュニケーション場面を中心にしながら、「コンドームを使用しないセックスを求められたとき」の言い方も例示し、性の安全や健康を守るためのコミュニケーションスキルの学習効果をめざすものとした。

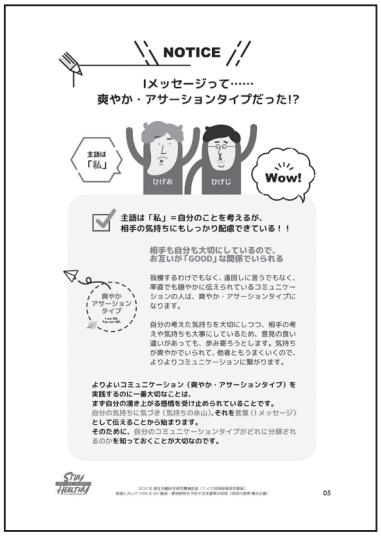

図 3.2　I（アイ）メッセージ（アサーション）

2．HIV 陽性者を対象としたオンライン講座

調査協力団体である NPO において「ストレス・マネジメント講座」と題するオンライン講座を開催し、上記 1. で作成した動画 4 本を教材にした。

講座は計 4 回、各回 90 分（19:30 ～ 21:00）で講師は教材の開発者（臨床心理士）、運営は NPO 団体職員 2 名だった。日程と参加者は、① 9 月 20 日（7 名）、② 10 月 25 日（8 名）、③ 11 月 22 日（5 名）、④ 12

月 20 日(5 名)、のべ 25 名だった。

動画の視聴後、参加者同士が小グループでワークを行い、意見や感想の共有を行なった。教材はセルフワークとして使用できるが、「ピアの立場から体験談や違う意見が聞けてよかった」等、対話による学びへの評価が高かった。

3. 支援者を対象としたグループインタビュー

都市部で HIV や薬物使用に関わる支援を行なっている 2 ヵ所の民間団体にて、支援者 12 名を対象に計 2 回、のべ 5 時間のフォーカスグループインタビューを実施した。

対象者の所感として、コミュニケーションが苦手で「言いなり(non-assertive)」のタイプが多い MSM には、動画の内容が適しているという意見が多かった。MSM の課題や性的場面に特化していない点は、汎用性があるというメリットとともに焦点化されていないことでの限界が指摘された。

また、ゲイコミュニティならではのカルチャーを反映させたり、MSM に限らず若者の「直接的な対話を好まない」コミュニケーションスタイルの傾向を考慮したりすることの工夫が挙げられた。

個人での視聴よりもワークショップ等で話し合う資材としての活用可能性が示唆され、それに向けた支援者向けの解説も必要と考えられた。

D 考察

MSM を主な対象とした動画教材と冊子の作成とその評価を行い、ツールの活用法について検討した。ワークショップ等での活用が示唆された。

E 結論

HIV と薬物使用のある MSM への支援のために、MSM のコミュニケーションの特徴とニーズをトラウマインフォームドケアの観点から理解し、ニーズに即した教材や機会の提供を行う必要がある。次年度は、教材を使用した支援のありかたについて検討する予定である。

F 研究発表

なし

G 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

（４）薬物使用の問題を抱えるHIV陽性者への支援のための精神保健福祉センターとのネットワークモデルの検討

研究分担者：大木 幸子（杏林大学保健学部）
研究協力者：樽井 正義（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
生島 嗣（特定非営利法人ぷれいす東京）

研究要旨

本調査では、MSMあるいはHIV陽性者の精神保健福祉センターの薬物相談の利用経験を質的に分析し、当事者にとっての精神保健福祉センターの薬物相談の利用動機、利点、課題等を抽出した。それらの結果から、異性愛者の薬物相談への支援と共通する支援方法並びに特徴的な支援方法を明らかにすることを目的とした。さらにMSMあるいはHIV陽性者の薬物依存に関する相談支援にあたっての精神保健福祉センターにおける薬物相談の活用について考察した。そのために、精神保健福祉センターの薬物相談の利用経験にあるMSMあるいはHIV陽性者４名にインタビュー調査を行った。インタビュー調査で得られた語りのデータを質的に分析し、(1)「利用動機」４概念、(2)「利用継続理由」３概念、(3)「継続利用のためのストラテジー」１概念、(4)「課題」１概念が抽出された。さらに抽出された概念と、精神保健福祉センター相談担当者のインタビュー調査から抽出された支援方法に関する概念の関連性を検討した。これらの結果から、精神保健福祉センターでの薬物相談は、MSMであるHIV陽性者にとって多様な選択肢として意義があると思われた。その一方で、セクシュアリティやHIV陽性であることは薬物使用からの回復に向けての根幹の要素であり、より具体的な場面も含めてプログラムで扱える体制や職員のスキルの向上の重要性が示唆された。

A 研究目的

我が国の新規HIV/AIDS報告の８割は、MSM（men who have sex with men）が占めている。加えて近年、MSMの薬物使用／依存の問題が注目されている。MSMの薬物使用は、いわゆるchemsexといわれる性行為での使用が中心であることが、国内外で報告されている[1) 2)]。国内の調査においてはHIV陽性者の74．5%が薬物使用の経験があると回答している[3)]。こうした背景から「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」（2012年改定）では、個別施策層に薬物乱用者を指定し、薬物関係施策との連携強化を謳っている。

一方、薬物相談の専門機関には、精神保健福祉センター（以下センター）が位置づけられ、「地域依存症対策支援事業」において、SMARPP（薬物依存症者に対する集団認知行動療法プログラム）等の実施が推進されている。2021年度現在、全国69センターのうち42か所（全センターの61%）が実施している。薬物依存症の回復のための専門機関は全国的にも少なく、47都道府県及び22政令指定都市に設置されているセンターが、薬物依存専門相談機関として果たす役割への期待は大きい。

2021年度の大木らの調査では、MSMあるいはHIV陽性者の薬物相談の経験のあるセンター担当者５名にインタビュー調査[4)]を行い、「生きづらさ」に着目した支援という点が一般的な薬物依存症者への支援と共通した要因であり、セクシュアリティに伴う性行動に関する情報は、MSMやHIV陽性である相談者のもつセクシュアリティやHIV陽性であることの「生きづらさ」を理解する重要な情報として捉えられていた。

そこで、本調査では、異性愛者の薬物相談への支援と共通する支援方法並びに特徴的な支援方法を明らかにするために、MSMあるいはHIV陽性者の精神保健福祉センターの薬物相談の利用経験を質的に分析

し、当事者にとっての精神保健福祉センターの薬物相談の利用動機、利点、課題等を抽出することを目的とした。

B 研究方法

1．調査対象者のリクルート方法

精神保健福祉センター長会をとおして、文書にて精神保健福祉センターの利用者に対し、MSM あるいは HIV 陽性者を対象とした精神保健福祉センターの薬物相談の経験についてのインタビュー調査協力の周知を依頼した。あわせて、薬物依存症回復プログラムを実施しているセンター 42 か所には、直接文書を送付し、調査協力の周知を依頼した。また、ＨＩＶ陽性者を支援している NPO 団体の広報紙（web サイト）に、調査協力依頼を掲載した。

2．データ収集方法

協力申し出のあった HIV 陽性者 4 名に、個別インタビューを実施した。インタビュー方法は、調査対象者の希望に応じて、2 名は対面で、2 名はオンラインで実施した。

インタビュー内容は対象者の了解を得て、対面の場合は IC レコーダーで、オンランの場合はビデオ会議機能で録音を実施した。

3．インタビュー内容

インタビュー内容は、以下のとおりである。

①精神保健福祉センターの回復プログラム参加に至った経過やきっかけはどのようなことだったか。

②参加し、どのような印象をもったか。

③継続して参加している理由はどのようなことか。

④継続参加する中で、変化したことがあるか。それはどのようなことか。

⑤セクシュアリティ等についてプログラム内で伝える、伝えないという点については、どのように考えているか。

⑥精神保健福祉センターのプログラムを利用する過程で、気になった点があったか。それはどのようなことか。

⑦精神保健福祉センターのプログラムは、自分の回復にとってどのような意味を持っていると思うか。

⑧薬物の不使用の選択あるいは使用からの回復のためには、どのような時期に、どのような情報、支援、かかわりがあれば、効果的だと思うか。

4．分析方法

音声データの逐語録を作成し、質的に分析を行った。分析にあたってのリサーチクエッションは、「精神保健福祉センターでの薬物相談利用経験は、地域の自助グループや回復プログラムと比較して異なる点はどのようなことか。特徴的な利用要因はどのようなものか」である。

C 研究結果

1．インタビュー対象者の概要

インタビュー対象者 4 名の概要は以下のとおりであった。いずれも MSM であり HIV 陽性であった。

表 4.1 インタビュー対象者の概要

性別	
男性	4
女性	0
年代	
30 歳代	1
40 歳代	1
50 歳代	2
精神保健福祉センターへの相談経路	
刑務所での紹介	1
精神科医療機関でのポスター掲示や紹介	2
インターネットで検索	1

2．利用経験に関するカテゴリー

収集したデータを質的に分析した結果は、以下のとおりであった。抽出された概念ごとに、概念の意味、導出された一次データの例を記載した。なお、一次データをイタリック体で表示した。

(1)利用動機

①公的機関として安心感

公的機関であることへの安心感が、利用動機の要因の一つとなっていた。安心感の内容には、セクシュア

リティやＨＩＶ陽性であることなどの個人情報が保護されること、さらにそれらについての偏見がないこと、さらに無料であることなどがあった。こうした公的機関としての姿勢や制度のあり方が、利用動機の大きな要素となっていた。

「*こういうことをしかも無料で提供してくれるんだっていうことで、結構そのときはすんなりとすがるように連絡しました。*」

②「通報」されないことへの安心感

薬物使用については、通報をされることの不安が対象者にはある。そのため、通報しないということは、利用を後押しする大きな要因である。

「*ここは絶対、たとえ今日使って、そのままぷらっと来ても通報はしないからと。そんな場所が世の中にあるんだと思ってびっくりしましたけど、お役所がまさか通報しないなんてみたいな、衝撃で*」

③神保健相談の専門機能への期待

精神保健福祉センターは、薬物相談の相談拠点であると同時に精神保健福祉相談の専門拠点である。すなわち薬物相談以外にもプログラムやサービスを持っている。そうした精神保健相談全般の専門機能を活用する可能性も考えたことが、精神保健福祉センターの利用動機の一つとなっていた。また、専門医療機関や福祉サービスの紹介など、他のサービスや機関への入り口機能への期待も見られた。

「*精神疾患の関係の就労支援だとかショートステイ事業とかやってるじゃないですか。なのでそういうサービスもちょっと念頭に置きながらっていうこともあります。*」

④「ゲイ・コミュニティ」のネットワーク外であることの安心感

精神保健福祉センターの薬物相談プログラムの参加にあたっては、「ゲイ・コミュニティ」のネットワークに直接つながっていないことへの安心感がある。地域には、セクシュアルマイノリティを対象としたＮＡや薬物相談ミーティングの場もある。そうした場は、セクシュアリティを共有できるため性行為に伴う薬物使用に関する話題も具体的に話しをしやすい、共感を持ちやすいというメリットがあるといずれの対象者も認めていた。しかしその一方で、同じセクシュアリティの利用者の中には、自分の知人や知人につながる人脈をもつ人がいるかもしれないという点が不安要素となる場合も少なくない。薬物相談プログラムに参加していることを知人や知人につながるネットワークをとおして知人に知られてしまう、さらには「ゲイ・コミュニティ」で広がってしまうといった不安である。精神保健福祉センターの利用者としても同じセクシュアリティの人に出会う可能性はあるが、セクシュアルマイノリティを対象とした場に比して、その可能性が低いことが参加動機となっていた。

「*過去に一緒に薬物を使った人がいたらどうしようっていう恐れが一番強かったりとか。セクマイのグループも狭いっちゃ狭いので。薬物使ってる人結構、MSM では多いと思いますし。そうするとなんか気まずいなみたいなところはあるのかなっていうのがあって、たぶん行けてないのもあるし。*」

(2)継続参加理由

①利用者のもつ課題の共通性への共感

精神保健福祉センターのプログラムの利用者は、セクシュアリティや薬物の使用場面等多様な背景をもっている。すなわち自分とは異なる背景をもつ利用者である。プログラムの中での利用者の語りをとおして、異性愛者の状況が自らの状況と異なっていることに対する新鮮さや興味深さを感じていた。その一方で、それらの異なる要素に関わらず、抱える生きづらさには共有している面があることが見出される。このような気づきや共感は、薬物相談プログラムがもつ支援機能そのものである。そうしたプログラムの有効性が継続参加の重要な要因となっていた。

「*しんどさはほんとに伝わってきてて。同じ依存なんだけど、その依存の形態は違うんだけど、その形態の仕方は理解できないとこもあるんだけど、ここまで飲むとか。自分も、自分もいっぱい飲んじゃったけど、もっとひどくまで飲んでる人もいるし。ギャンブルにのめり込むっていう傾向の仕方も知らないんだけど、なんかどっかしんどいとこは似てるところがあって。そういったところでなんかたまにいとおしく思ったりとか、なんか親近感湧いたりとかするところはあったりとかはありました。*」

②プログラム内容の参加しやすさや楽しさ

今回の調査対象者は、テキストを用いたミーティングプログラムや作業療法とミーティングを組み合わせたプログラムに参加していた。対象者は、こうしたプログラム内容を確認した上で参加し、それが継続参加の理由となっていた。例えば、フリーなミーティングへの苦手意識があったためテキストのあるミーティングへのなじみやすさがある、作業療法のプログラムに興味がもて楽しみとなったなどである。薬物依存症の専門医療機関や自助グループなどでは、AA スタイルのミーティングが多い。それらと異なるプログラムである点が、精神保健福祉センターの薬物相談プログラムへの参加動機であるとともに、参加しやすいまたは楽しいと思えることでの継続参加の要素となっていた。

「*どうしても NA が苦手なので、それだったらやっぱプログラム的なもの、テキスト使ったものが自分にはいいだろうから、せめてここはそういう居場所にしようと思えました。*」

③プログラム利用と連動した個別の伴走支援

薬物相談プログラムを利用すると同時に個別の相談が提供されていた。そのような個別相談の中で、福祉サービスの利用や就労の支援が展開されている。このように、集団でおこなわれるプログラムのみではなく、個別相談に基づくケースワーク支援をとおして生活の支援を行われる点は、精神保健福祉センターでの薬物相談継続利用の重要な要素であった。

「*そうですね。それこそ生活保護になる時にちょっと、仕組みはこうなっててとか、どうやって今後生計、生活していくかとかの相談とか乗ってくれて、まだあんた、あんまり具合が悪そうだからしばらくはおとなしくしてたほうがいいよって言われて、そうだなと思って、ちょっとおとなしくしとこうかなと思って。*」

(3)継続参加のためのストラテジー

① HIV ステータス / セクシュアリティの開示の判断

対象者は、精神保健福祉センターの集団プログラムの参加にあたって、グループ内ではＨＩＶステータスやセクシュアリティについて開示せずに参加する場合が少なくない。それは、それらに対する理解が必ずしも十分でない可能性があるためである。しかし、相談担当者に対しては初回相談においては、自らの HIV ステータスおよびセクシュアリティを開示していた。それらの要素は自分の薬物使用と密接に関連した要素であり、そうした情報に触れないで回復のための継続的相談を行うことは難しいという認識がその背景となっていた。また、相談担当職員に対しては、HIV 陽性であることやセクシュアルマイノリティであることへの偏見はないだろうという信頼が基盤となっていた。

一方グループ内では、他の利用者との個別の会話の中で偏った受け止め方をしないと予想できた場合や同じセクシュアリティの利用者が参加していることが分かった場合など、グループ内が安心できる場であると認識できた場合は、セクシュアルマイノリティであることがイメージされる表現を用いるなど、緩やかな開示を選択する場合もみられた。

「*スタッフ、職員に関しては、まあやっぱり何も抵抗なく受け入れてくれて、話も聞いてくれるって感じなんですけれども、無理に皆の前で話さなくていいよ的な雰囲気をつくってくれて、で、性格的にもそんなにすぐに言えるようなタイプでもないので。まあ、そうですかね。それでも、最初から言えたわけではなく、1 ～ 2 年過ぎたぐらいで、仲良くなれた人から話すようになったっていうのもありますね。*」

(4)回復にあたっての課題

①性に関する話題の出しにくさや深まりにくさ

集団プログラムでは、異なるセクシュアリティを持つ利用者の中で、具体的な性行動や性行為に伴う使用欲求などを話題にすることは、難しいと感じていた。セクシュアリティについて、すでに相談担当者に伝えている場合であっても、グループ内で具体的な話題に触れることは、担当者が対応に困るのではないかと考え、他の利用者と共有できる話にとどめて話していた。これは、その場を継続利用するためのストラテジーである。しかし、一方で薬物使用や使用欲求に関連する具体的な行動まで触れることができないことで、自分の内省も深まりにくさを感じていた。

前述したように、異なるセクシュアリティをもつ利用者と自分の共通点への気づきや、自分と異なる経験の新鮮さは、継続参加の要素となっていた。しかし性

行動に焦点化して取り上げる場合は、同じセクシュアリティである利用者のグループであることでの話しやすさを感じていた。

「*そうですね。やっぱ避けては通れない話題なので、その部分を正直に言える場があれば回復には結構役立つかなとは思います。*」「*でも、基本的に皆の前でそういうことを言う自体、結構タブー化されてるような、今まで振り返って。「あ、そっか。女性でもやっぱりあるんじゃん」とかって正直思えて。で、そこ掘り下げないっていうのも、ちょっともんもんとするところがあります。*」

3．精神保健福祉センターの支援者の支援意図と利用者の経験との関連

表 4.2 の左側は、昨年度に本研究班で実施した精神保健福祉センターの薬物相談担当者が HIV 陽性であるＭＳＭの薬物使用に関する相談支援を行った経験から支援方法や支援での配慮点の導出結果である。これらの支援者側の認識と今回の利用者の経験について、カテゴリーの意味内容からその関連性を検討し、線で結んだ(表 4.2)。なお本文では、利用者の経験から抽出された概念を＜＞で、精神保健福祉センターの相談担当者の支援方法および配慮点に関する概念を「」、大カテゴリーを『』で示した。

利用者の利用動機である＜公的機関への安心感＞や＜通報がなされないことへの安心感＞は、相談担当者の「公的機関としてニュートラルな立場を維持する」と「通報に関する立場をはじめに説明し安心できる場であることを伝える」といった『支援姿勢』とも合致している内容であった。また、＜精神保健相談としての専門機能への期待＞といった利用動機は、相談担当者が認識している「治療や回復支援の導入機関として役割を果たす」という点と関連していた。

継続利用理由では、自分と異なるセクシュアリティをもつ利用者とともにプログラムに参加することで、その共通性や相違点をとおして気づきや内省につながっており、それらは、相談担当者が「薬物相談の基盤である「生きづらさへの支援」は共通していると捉え」て相談支援を展開している支援の姿勢と合致するものであった。また、＜プログラム利用と連動した個別の伴走支援＞は、「個別の相談を主におき、支援ツールであるグループプログラムや他の地域資源を活用す

表 4.2　精神保健福祉センターの薬物相談利用者の経験と相談担当者の支援方法や配慮点

薬物相談利用者の経験		関連性	相談担当者の支援方法や配慮点	
(1)利用の動機	①公的機関として安心感		①公的機関としてニュートラルな立場を維持する	(1)支援の姿勢
	②「通報」されないことへの安心感		②通報に関する立場をはじめに説明し安心できる場であることを伝える	
	③精神保健相談としての専門機能への期待		③薬物相談の基盤である「生きづらさへの支援」は共通していると捉える	
	④「ゲイ・コミュニティ」のネットワーク外であることの安心感		④つながり続けることをめざす	(2)相談者との相談関係を築くための支援方法
(2)継続利用理由	①利用者のもつ課題の共通性への共感		⑤相談者の相談行動をねぎらい相談者に伴奏する	
	②プログラムの参加しやすさや楽しさ		⑥リスク行為や性行為に伴う薬物使用の話題に対しても非審判的態度に徹し、ありのままを受け止める	
	③プログラム利用と連動した個別の伴走支援		⑦セクシュアリティに関する情報は相談者を理解するための重要な情報として扱う	
(3)継続利用のためのストラテジー	① HIV ステータス / セクシュアリティ開示の判断		⑧性行動や性行為に関連する話題を踏み込んで扱える場の設定を考える	
(4)利用にあたっての課題	①性に関する話題を出しにくさや深まりにくさ		⑨治療や回復支援の導入機関として役割を果たす	(3)地域との連携と連携方法
			⑩生活支援のために地域の支援機関と連携する	
			⑪セクシュアリティは薬物使用に影響する重要な情報として連携機関への開示を話し合う	
			⑫支援者の葛藤へのスーパーバイズ体制	(4)相談継続のための支援体制
			⑬個別の相談を主におき、支援ツールであるグループプログラムや他の地域資源を活用する	

る」という体制の下で行われている「相談者の相談行動をねぎらい相談者に伴奏する」支援方法や「生活支援のために地域の支援機関と連携する」連携方法との関連があった。

利用者は継続利用のためのストラテジーとして、＜HIV ステータス / セクシュアリティ開示の判断＞を行い、相談担当者には開示をしていた。この点に関連している相談担当者側の要素には、「リスク行為や性行為に伴う薬物使用の話題に対しても非審判的態度に徹し、ありのままを受け止める」があった。

利用者は精神保健福祉センターの薬物相談プログラムがセクシュアルマイノリティに限定した場ではないことでの利用しやすさやメリットを感じている一方で、「性に関する話題の出しにくさや深まりにくさ」を感じていた。この点に関連している相談担当者が意識している支援方法は、「セクシュアリティに関する情報は相談者を理解するための重要な情報として扱う」や「性行動や性行為に関連する話題を踏み込んで扱える場の設定を考える」であった。

D 考察

1．MSMであるＨＩＶ陽性者の利用経験から捉えた精神保健福祉センターが果たしている機能

2021 年度に実施した本研究班の精神保健福祉センターの相談担当者への調査結果から、精神保健福祉センターの機能は、次の 3 点が考えられた。すなわち、①回復支援への入り口としての機能、②安心して相談できる場としての機能、③いつでも戻ってくることのできる場としての機能である。これらのうち、①回復支援への入り口としての機能、②安心して相談できる場としての機能は、利用者の経験に関する調査結果においても、見出された。とりわけ②安心して相談できる場としての機能において公的機関であることへの信頼が基盤にあると考えられる。公的機関であることへの信頼には、情報の秘匿や「通報」に関すること、無料であることなどが含まれており、これらはセクシュアリティに関わらず、薬物相談にあたっての共通した機能と考えられる。

また、利用者が精神保健福祉センターを利用する理由では＜「ゲイ・コミュニティ」のネットワーク外であることの安心感＞が、継続利用理由では AA スタイルではない＜プログラムの参加しやすさや楽しさ＞が抽出された。これらは精神保健福祉センターが意図したものではないが、利用者にとっては重要な選択肢となっていた。ゲイ・コミュニティの社会関係の狭さへの不安やフリーな語りを中心としたミーティングへの苦手意識を持つ場合などは少なくなく、地域においては多様な薬物依存症の回復プログラムや場が求められていると考えられる。

2．ＨＩＶ陽性であるＭＳＭの薬物相談にあたってのセクシュアリティやＨＩＶステータスの持つ意味

調査対象者は、精神保健福祉センターでの相談を開始するにあたって、自らの HIV ステータスやセクシュアリティについて相談担当者に開示をしている。これは、薬物使用が性行為に伴うであること、セクシュアリティや HIV の受け止めやそれに伴う社会的関係が薬物使用と関連しており、セクシュアリティや HIV 陽性であることは、薬物使用の問題の根幹にかかわることであるという認識によるものであった。それはプログラム参加後、異性愛者の薬物使用経験の話しを聞き、共通する点の気づきを得ながらも、性行為に伴う薬物使用に関して、具体的な話ができないことで、自らの問題を深めていくことが難しいと感じている。また HIV 陽性であることをグループ内で共有することを申し出たが、その機会がなかったことについて、薬物使用と HIV 感染についてより深く扱ってほしいという声が聴かれた。すなわち、性行為や HIV 感染に関する話題は、薬物使用からの回復にとって根幹にあると認識していることを意味していると考えられた。同じセクシュアリティのメンバーが参加しているプログラムに薬物使用や薬物欲求に関連して具体的な性行為が共有できる場へのニーズも高いと考えられる。

精神保健福祉センター相談担当者は、MSM あるいは HIV 陽性者への支援にあたっては「セクシュアリティに関する情報は相談者を理解するための重要な情報として扱う」、「性行動や性行為に関連する話題を踏み込んで扱える場の設定を考える」という点を重視していた。一方で、利用者の経験では、具体的な性行為に関連する話題を出すことは、相談担当者が困るのではないかと考え控えるという面がみられていた。相談担当者がセクシュアリティやＨＩＶ陽性であることに関する知識をもつことや自らの性に関する認識、価値

意識等を対象化し、準備性を高めることは、利用者が率直に話をできる相談展開において重要であると考えられる。さらに、セクシュアルマイノリティの利用者が複数参加している精神保健福祉センターでは、性行為を扱う回のみ、セクシュアリティを分けてプログラムを実施しており、そのような集団プログラムの工夫、他のミーティングとの併用などの検討が求められる。

3. 本調査の限界と今後の課題

本調査は 4 名の精神保健福祉センター利用者の経験であり、MSM である HIV 陽性者の精神保健福祉センターにおける薬物相談の利用経験が網羅的に抽出されたとは言えない。また、全国の精神保健福祉センターの体制は多様であり、地域によってその経験もさまざまであると考えられる。

今後、本調査および昨年度の精神保健福祉センターの相談担当者調査の結果を踏まえ、精神保健福祉センターでの MSM である HIV 陽性者の薬物相談にあたってのより効果的な支援方法について、精神保健福祉センターや地域の支援機関、当事者等とともに検討を重ねる予定である。

E 結論

精神保健福祉センターでの薬物相談経験のある MSM である HIV 陽性者に精神保健福祉センターでの相談経験に関するインタビュー調査を行った。インタビューデータの質的分析をとおして、MSM である HIV 陽性者にとっての精神保健福祉センターの薬物相談の意義と課題を抽出した。

その結果、利用動機で 4 概念、利用継続理由で 3 概念、継続利用のためのストラテジー 1 概念、回復に向けた課題で 1 概念が抽出された。さらに抽出された概念と、精神保健福祉センター相談担当者のインタビュー調査から抽出された支援方法に関する概念の関連性を検討した。

これらの結果から、精神保健福祉センターでの薬物相談は、MSM である HIV 陽性者にとって多様な選択肢として意義があると思われた。さらに性行動と薬物使用に関して具体的に扱うことができるように、プログラムの体制の工夫や職員の準備性の向上が求められると考えられる。

＜ 引用文献 ＞

1）Maxwell S.，Shahmanesh M.，Gafos M.：Chemsex behaviours among men who have sex with men: A systematic review of the literature. Int. J. Drug Policy 63，74-89，2019.

2)戸ヶ里 泰典，井上 洋士，細川 陸也，他：HIV 陽性男性における薬物使用状況と抗 HIV 薬内服状況およびハイリスク性行動との関連．日エイズ会誌 17，407，2015.

3)生島嗣，岡本学，池田和子，渡部恵子，遠藤知之，伊藤ひとみ，若林チヒロブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」 薬物使用の状況．日本エイズ学会誌，16(4)，580，2014.

4)大木幸子：精神保健福祉センターにおける MSM および HIV 陽性者への相談対応の現状と課題に関する調査，令和 3 年度 総括・分担研究報告書 地域において MSM の HIV 感染・薬物使用を予防する支援策の研究，p59-66，2022.

F 研究発表

なし

G 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1．特許取得

なし

2．実用新案登録

なし

3．その他

なし

（5）HIV 陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討

◢ 研究分担者：樽井 正義（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
◢ 研究協力者：生島 嗣（特定非営利活動法人ぷれいす東京）
徐 淑子（新潟県立看護大学）
田中 五八生（新潟ダルク）
林 神奈（サイモン・フレイザー大学）
山本 大（特定非営利活動法人アパリ、藤岡ダルク）

研究要旨

目的　HIV 陽性者と薬物使用者への生活上、医療上の問題に関わる支援策、感染と薬物使用の予防策を策定して実施し、効果を検討する。

方法　３年計画の２年目である本年度は、(1)文献調査と面接調査を踏まえて、薬物使用と感染症罹患とを予防する情報を必要とする対象集団を特定し、情報の伝達方法を検討した。(2)必要とされる情報を整理し、パンフレットを作成した。

結果　薬物使用と感染症罹患とを予防する情報を提供する対象集団は、前年度に行った文献調査と面接調査を踏まえ、情報提供の必要性と可能性を考慮して、薬物事犯保護観察対象者とした。パンフレットの内容は、感染症、感染予防、検査の基礎情報および相談と支援の窓口とした。

考察　薬物使用は chemsex と注射を介して感染症のリスクを伴うが、その危害を少なくする方策はほとんどなされていない。薬物使用者に感染症のリスクの情報を提供することは、ハーム・リダクションに含まれるもっとも基本的な方策である。

結論　薬物使用と感染症罹患とを予防する情報を提供する対象集団は、その必要性と可能性とを考慮して、薬物事犯保護観察対象者とし、感染症、感染予防、検査の基礎情報および相談と支援の窓口を内容とするパンフレットを作成した。

A 研究目的

HIV 陽性者と薬物使用者への生活上、医療上の問題に関わる支援策、感染（HIV、HBV、HCV）と薬物使用の予防策を、当事者と支援者への面接調査により策定して実施し、効果を検討する。薬物使用と感染を予防する情報は一般を対象に提供されているが、陽性者と使用者に必要とされる支援と予防の情報の提供は不足しており、情報を整理した資料を作成し、支援者の協力を得てその伝達方法を検討し実施する。

B 研究方法

３年計画の１年目（昨年度）に、(1)先行研究を調査し、薬物使用者と HIV 陽性者の現状（対象者概数、所在、状況等）を把握した。(2)薬物使用者と HIV 陽性者への支援提供者（エイズ治療拠点病院医療者、HIV 陽性者支援組織職員、薬物依存回復施設職員 各２名、薬物依存研究者 １名）に面接調査を行い、薬物使用者と HIV 陽性者が直面している生活上、医療上の問題、感染と薬物使用の予防と支援の現状について情報を収集し、求められる情報とその提供可能性を検討した。

２年目には、(1)薬物使用と感染症罹患とを予防す

る情報の提供がとくに必要とされる対象集団を特定し、情報の伝達方法を検討した。また、(2)薬物使用に関連して注意すべき感染症とその予防策、使用に起因するさまざまな思いや問題を安心して相談できる窓口について、必要とされる情報を整理し、パンフレットを作成した。

3年目には、対象集団にパンフレットを配布し、対象者とその支援者への面接調査を通じて情報提供の効果について検討する。

C 研究結果

薬物使用と感染症罹患とを予防する情報提供の対象集団は、前年度に行った文献調査と面接調査とを踏まえ、情報提供の必要性と可能性を考慮して、薬物事犯保護観察対象者とし、パンフレットの内容は、感染症、感染予防、検査の基礎情報および相談と支援の窓口とした。

(1) 対象者と情報提供の方法　薬物使用者には、感染症の罹患リスクがあり、健康危害を少なくするために、疾患とその予防に関する情報が必要とされていることが確認された。しかし、薬物使用はもっぱら犯罪と見なされているため、使用者は逮捕や社会的非難を恐れて身を隠さざるをえないので、使用者を特定して情報を届けることは容易ではなく、その方法に工夫が求められる。

そこで、情報を届けることが可能な使用者のグループとして、薬物事犯保護観察対象者を本研究の対象者とした。精神保健福祉センターを通じて保護観察対象者の転帰を定期的に(3年間で8回)電話で調査し、地域資源への連携促進プログラムの構築を目指す「声の架け橋プロジェクト(Voice Bridges Project)」(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部、松本俊彦部長)[1]の協力を得て、保護観察所におけるプロジェクトへの参加者募集の際に、本研究で作成する情報パンフレットを配布することを依頼した。

(2) 提供する情報　薬物使用に関連する感染症についての基礎情報と相談と支援の窓口を紹介する情報を、A4表裏にまとめたパンフレットを作成した。

表面は「知っていただきたい感染症があります」という表題のもとに、とくに気をつけたい感染症としてHIV感染症、B型肝炎、C型肝炎を挙げ、感染経路、予防法、検査機関、治療の現状、感染症に関わる情報のウエブサイトを紹介した。

裏面は「安心して話せるところ、困りごとを相談できるところがあります」という表題のもとに、NGOによる相談窓口、自助グループNA、回復支援施設ダルク、行政による相談窓口(精神保健福祉センター)、薬物使用に関わる支援情報のウエブサイトを紹介した(別紙)。

D 考察

(1) 本研究の意義　薬物使用には、chemsexと注射を介して感染症のリスクが伴うので、感染予防の対策が求められる。実際、たとえばC型肝炎ウイルス(hepatitis C virus: HCV)抗体の陽性率は日本の社会全体では1～2%と言われているが、2015年に実施された薬物事犯者調査によれば、C型肝炎罹患経験は46%と極めて高い[2]。しかしこれまでのところ、この健康危害を少なくする方策(harm reduction)はほとんどなされていない。ハーム・リダクションという言葉からは注射針・注射器交換やメサドン代替療法が連想されるが、それだけではなく、それ以前により基本的な方策として、情報提供、教育、相談(information, education and counseling)が求められる。本研究は、対象者数は多くはないが、アウトリーチ可能な集団に情報を提供する試みである。

(2) 本研究の限界　薬物を使用している人はおよそ20万人[3]と推測されるが、その所在は知られていない。僅かに知られている集団の一つは刑事施設に収容されている人であり、施設内では使用が止められているが、出所後に再使用は起こりえる。覚醒剤取締法違反の場合、同一罪名再犯者率(検挙人員に占める再犯者の比率)は70.1%であり、刑法犯全体の49.1%に比して高い[4]。Voice Bridges Projectに参加した薬物事犯保護観察対象者の場合は、違法薬物再使用率は低く、1年後で3.2%、3年後で7.9%、つまり累積断薬継続率は高く、1年後で約90%、3年後で約80%であった[5]。したがって、このプロジェクトには使用と感染の予防においても一定の効果が認められ、その協力のもとで実施される本研究の効果は限られたものとなる。情報提供はこのプロジェクトに参加

しない保護観察対象者にも行われる。

E 結論

薬物使用と感染症罹患とを予防する情報を提供する対象集団は、その必要性と実施可能性とを考慮して薬物事犯保護観察対象者とし、感染症、感染予防、検査の基礎情報および相談と支援の窓口情報を内容とするパンフレットを作成した。

＜ 引用文献 ＞

(1) 松本俊彦 , 保護観察所―保護観察所と精神保健福祉センターが連携した新しい薬物依存症地域支援システム― . 精神科治療学 36. 7. 2021.7.

(2) 法務総合研究所 , 薬物事犯者に関する研究 , 研究部報告 62, 2020.
https://www.moj.go.jp/housouken/housouken03_00025.html

(3) 樽井正義 , 薬物使用者の状況と求められる情報 , HIV 陽性者と薬物使用者 , HIV 陽性者と薬物使用者への支援策と感染・薬物使用予防策の検討 ,2022, 厚生労働省エイズ対策政策研究事業 , 地域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防 m 策と支援策の研究(研究代表者：樽井正義)分担研究 ,
https://chiiki-shien.jp/admin/wp-content/uploads/R03hokoku_05.pdf

嶋根拓也 , 薬物使用に関する全国住民調査(通称：飲酒・喫煙・くすりの使用についてのアンケート調査第 13 回) , 2020. 厚生労働行政推進調査事業費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究(研究代表者：嶋根拓也)分担研究 .
https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/J_NGPS_2019.pdf

(4) 令和 3 年版犯罪白書 , 2022, https://www.moj.go.jp/content/001365734.pdf

(5) 松本俊彦 , 保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査システムの開発とその転帰に関する研究 . 厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業 , 再犯防止推進計画における薬物依存症者の地域支援を推進するための政策研究(研究代表者：松本俊彦)分担研究 . https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/pdf/2022_0221_R2-2.pdf

F 研究発表

なし

G 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

知っていただきたい感染症があります。

**薬物使用に関連してとくに気をつけたいのは、HIV感染症とB型肝炎、C型肝炎です。
感染して重症化すれば、HIVは肺炎などの感染症や悪性腫瘍などを起こし、
肝炎は肝硬変から肝がんに進み、ともに生命に関わることもあります。**

どのように感染するのか

① 薬物を注射で使用するとき、他の人が使った注射器・注射針を使うと、
② 薬物を使用してセックスするとき、コンドームの着用がおろそかになると、
他の人の血液・体液に含まれる原因ウイルス（HIV、HBV、HCV）が自分の体のなかに入り、感染することがあります。

どうしたら感染を防げるのか

① 他の人が使った注射器・注射針を使わない、注射をしない、
② 必ずコンドームを使う、
これをお勧めします。

治療の進歩

B型肝炎ではウイルスが増えるのを抑えることができます。
C型肝炎ではウイルスを体内からほとんどなくすことができます。
HIV感染症ではウイルスが増えて発症するのを抑え、きちんと治療を続けていればセックスで感染させることはありません。

感染しているかいないか、どうしたらわかるのか

感染しても気づかないことがあるので、検査を受けることをお勧めします。早期に感染が分かれば、治療を受けることができます。感染してないと分かれば安心し、気をつけることができます。

HIV検査は、全国の保健所や自治体の特設検査施設で、無料・匿名で受けられます。
HIV検査・相談マップ
https://www.hivkensa.com
「B型肝炎」「C型肝炎」、また「梅毒」の検査施設も、キーワード検索できます。

感染症と治療の情報

HIVマップ　https://hiv-map.net
　HIV／エイズガイド
　HIVポジティブを支える社会制度
なるほどB型肝炎　https://hbv-pt.jp
　B型肝炎とは　医療費助成について
C型肝炎サポートネット
https://cgatakanen-support.net
　C型肝炎とは　医療費助成が受けられます

制作：令和3～5年度厚生労働科学研究費補助金
（エイズ対策政策研究事業）
地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究
（代表：樽井正義）
地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト
https://www.chiiki-shien.jp
問い合わせ先：特定非営利活動法人ぷれいす東京 研究・研修部門
research-office@ptokyo.org
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ403
発行：2023年2月

安心して話せるところ、
困りごとを相談できるところがあります。

**薬物に関わることは一人の手には余るのに、なによりも人には話しにくい、
また、人はそれぞれですから、あうこと、あわないこともあるでしょう。
しかし、とじこもらず、話をしてみることをお勧めします。**

NPOによる相談

OKチャット　https://hrtokyo.net/okchat
クスリ・ドラッグ・薬物を使うことがある、と安心して話せるチャットです。
LINE・ツイッター・テレグラムで対応
月·火·木·金　14:00～18:00

ぷれいす東京　http://ptokyo.org
HIVとセクシュアルヘルスに取り組むNGOです。
HIV陽性者専用　☎ 0120-02-8341
月～土　13:00～19:00
事務所　☎ 03-3361-8964　月～土　12:00～19:00

自助グループ

ナルコティクスアノニマス日本
地域に根ざした当事者によるミーティングを、全国で200以上のグループが毎週行っています。メンバーに求められるのは、使うのを止めたいという願望だけです。
全国NAミーティングリスト
http://najapan.org/pdf/NALIST_J.pdf

回復支援施設

ダルク
薬物からの回復を支援するプログラム（入所・通所）を、全国約70の施設が独自に行っています。
日本全国のマック/ダルク所在地　日本ダルク
http://darc-ic.com/darc-list
施設一覧　日本カトリック依存症者のための会
http://jcca-catholic.jp/shisetsu.html

ダルクマッチングサポート　アパリ
6つのダルクの中から最適の受け入れ先を紹介します。
https://apari.or.jp/matching
☎ 03-5925-8848　月～土　9:30～17:00
info@apari.or.jp

ダルク女性ハウス
女性専用施設です。
http://womensdarc.org
☎ 03-3822-7658　月～金　10:30～16:00

行政による相談

都道府県と指定都市の精神保健福祉センターで、薬物使用について相談できます。
全国の精神保健福祉センター一覧
https://www.zmhwc.jp/centerlist.html

情報サイト

ASK
アルコール、依存性薬物、様々な依存関連問題の予防
https://www.ask.or.jp

HIVマップ
こころのケア・薬物・アルコール
https://www.hiv-map.net/navi/mental-care

Futures JAPAN
ドラッグ（薬物）を使用している人へ
https://futures-japan.jp/pickup/ドラッグ（薬物）を使用している人へ

Stay Healthy and be Happy
身近な人から薬物使用について相談されたら
https://stayhealthy.tokyo

PrEP in JAPAN
プレップ（HIV予防内服）について
https://prep.ptokyo.org

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

なし

雑誌

なし

ウェブサイト

「地域におけるHIV陽性者等支援のためのウェブサイト」

地域でHIV陽性者やその周囲の人の相談・支援業務に従事する人たちのために役立つ情報をまとめたポータルサイト。職場での研修に役立つ情報やリンク集のほか、当研究班の成果物のデジタル版がダウンロード、閲覧できる。

https://www.chiiki-shien.jp/

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）

地域におけるＭＳＭのＨＩＶ感染・薬物使用予防策と支援策の研究

令和４年度 総括・分担研究報告書

発 行 日　令和5(2023)年3月31日
発 行 者　研究代表者　樽井 正義
特定非営利活動法人ぷれいす東京　研究・研修部門
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-5-403
TEL.03-3361-8964　FAX.03-3361-8835
https://www.chiiki-shien.jp/
research-office@ptokyo.org
表紙写真　GAKU

令和５年３月３１日

厚生労働大臣
~~（国立医薬品食品衛生研究所長）~~ 殿
~~（国立保健医療科学院長）~~

機関名　特定非営利活動法人ぷれいす東京

所属研究機関長　職　名　代表

氏　名　生島 嗣

次の職員の令和４年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）

２．研究課題名　地域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防策と支援策の研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　特定非営利活動法人ぷれいす東京・理事

（氏名・フリガナ）　樽井 正義（タルイ　マサヨシ）

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□　■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和５年３月３１日

厚生労働大臣
~~（国立医薬品食品衛生研究所長）~~ 殿
~~（国立保健医療科学院長）~~

機関名　特定非営利活動法人ぷれいす東京

所属研究機関長　職　名　代表

氏　名　生島 嗣

次の職員の令和４年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）

２．研究課題名　地域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防策と支援策の研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　特定非営利活動法人ぷれいす東京・代表

（氏名・フリガナ）　生島 嗣（イクシマ　ユズル）

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□　■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2023年　5　月　19　日

厚生労働大臣
~~（国立医薬品食品衛生研究所長）~~ 殿
~~（国立保健医療科学院長）~~

機関名　杏林大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　渡邊　卓

次の職員の（令和）４年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　エイズ対策政策研究事業

２．研究課題名　地域においてMSMのHIV感染・薬物使用を予防する支援策の研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　杏林大学　保健学部看護学科看護学専攻　教授

（氏名・フリガナ）　大木幸子（オオキサチコ）

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■	□	■	杏林大学保健学部倫理審査委員会	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和５年３月１日

厚生労働大臣
~~（国立医薬品食品衛生研究所長）~~ 殿
~~（国立保健医療科学院長）~~

機関名　大阪大学大学院人間科学研究科

所属研究機関長　職　名　研究科長・教授

氏　名　渥美　公秀

次の職員の令和４年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）

２．研究課題名　地域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防策と支援策の研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　大阪大学大学院人間科学研究科・教授

（氏名・フリガナ）　野坂　祐子　（ノサカ　サチコ）

４．倫理審査の状況

	該当性の有無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有　無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□　■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 5 年　　3月　　31日

厚生労働大臣　殿

機関名　大阪青山大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　篠原　厚

次の職員の令和４年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　エイズ対策政策研究事業

２．研究課題名　地域における MSM の HIV 感染・薬物使用予防策と支援策の研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　健康科学部　看護学科　准教授

（氏名・フリガナ）　塩野　徳史・シオノ　サトシ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有　無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。